

平成26年度 歴史的風致維持向上推進等調査

「伝統的歩行者空間（こみせ）維持のための利用方策の実践及び

その波及効果検証調査（青森県黒石市）」

報告書

平成27年2月

国土交通省都市局

■本報告書の活用に当たって

この報告書は、「歴史的風致維持向上推進等調査」として、調査団体である「黒石市」が国土交通省に対して行った報告・提出書類をそのまま記録しているものであり、この前提に留意の上、本報告書が活用されることが望まれる。

平成26年度 歴史的風致維持向上推進等調査
「伝統的歩行者空間（こみせ）維持のための利用方策の実践及び
その波及効果検証調査（青森県黒石市）」報告書 目次

序章 調査の目的	
1. 調査の目的	1
2. 調査の内容とフロー	2
3. 調査のスケジュール	4
第1章 伝統的空間維持のための利用方策アイデアの課題検討	
1. 平成25年度調査の課題等の整理	5
2. 解決する手法の検討	17
第2章 伝統的空間維持のための利用方策実施箇所選定	
1. 実施地区の選定	25
2. 実施箇所の選定	27
第3章 伝統的空間維持のための利用方策モデル計画の策定及びその試行	
1. モデル計画の策定	31
2. アンケートの実施	39
3. モデル計画の課題抽出及びその汎用性の検討	69
第4章 伝統的空間の連続性確保による波及効果の検討	
1. 歩行者の増減等のヒアリングの実施	71
2. 歩行者の動線確保につながる波及効果の検討	74
3. 設置の効果とにぎわい創出につながる社会実験等の実施	75
第5章 伝統的空間維持のための利用方策実施効果の検証及び地域の将来のあり方検討	
1. 地域の将来のあり方に関する検討会の開催	79
2. モデル計画の推進意向や課題の把握	80
3. 将来のあり方の整理	84
第6章 とりまとめ	
1. とりまとめ	87

参考資料

検討会説明資料

序 章 調査の目的

1. 調査の目的

青森県黒石市の中心市街地は近世に形成された城下町の空間構成が強く継承されており、軒先の壁面位置を後退させて庇を設け、これを連続させて積雪しない歩行者空間としている「こみせ」が地域の景観を特徴付けている。「こみせ」は公共空間的な機能を果たしているが、これらに接続する各戸が所有、維持管理する民有空間であるため、各戸で維持管理負担を負うこととなり、行政支援が手厚い重要伝統的建造物群保存地区（以下、「重伝建地区」という。）内では維持保全が進んでいるが、重伝建地区外については減少傾向にある。

また、「こみせ」は連続することでその機能や景観上の特徴を発揮するものであることから、部分的に欠如することが町並みに大きな影響を与えるだけでなく、歩行者の動線を遮断させることが懸念されている。

こうしたことから、黒石市では、平成25年度に歴史的風致維持向上推進等調査（以下、「平成25年度調査」という。）を実施し、維持管理負担軽減につながる収益利用等の新しい空間利用について地域内外に幅広く募り、選定した優秀なアイデアの詳細検討を行い、その実現に向けて地域内での議論を活性化させている。

本調査では、平成25年度調査において、詳細検討したアイデアを実用できる手法として再整理し、地域住民からの意見収集で分かった課題の解決手法を加味したモデル計画として策定するとともに、その計画を重伝建地区外において、「こみせ」の連続性が途切れている箇所に試行する。さらに地域住民や地域外からの来訪者に積雪期とそれ以外の時期それぞれにおいてアンケート調査を行い、その評価を確認するとともに試行した計画が歩行者の動線確保につながる波及効果を生じさせたかどうかを検証し、その成果をもって「こみせ」の維持保存に関する地域の将来のあり方についての意見集約を図る。

これにより地域の特徴的景観要素となっている伝統的空間を保全・活用するために必要な知見を得、もって歴史的風致や良好な景観の維持向上に資することを目的とする。

2. 調査の内容とフロー

(1) 伝統的空間維持のための利用方策アイデアの課題検討

平成25年度調査において詳細検討した伝統的空間維持のための利用方策アイデア(案)について、地域住民からの意見収集からまとめた課題等を整理し、これを解決する手法について検討する。

(2) 伝統的空間維持のための利用方策実施箇所選定

(1)で課題検討した利用方策アイデアの実施に向けて、その実施候補となる重伝建地区外における「こみせ」の連続性が途切れている箇所を調査するとともに、その箇所の土地所有者に対してヒアリングを行い、「こみせ」の設置に対する考え方、課題認識、(3)の実施箇所となることに対する意向を把握する。これら調査の結果を踏まえて、(3)の実施に適した箇所を選定する。

(3) 伝統的空間維持のための利用方策モデル計画の策定及びその試行

(1)で検討した利用方策アイデアを(2)で選定した設置予定箇所で実施するための具体についてモデル計画として策定し、実際に設置予定箇所を借り上げ、試験的に施行する。また、積雪期とそれ以外の時期においては「こみせ」が果たす役割や歩行者の動線も変わることが予測されることから、モデル計画の試行期間は秋季から冬季までの間とし、地域内外からの来訪者に対して、試験施行に対する景観的評価や賑わい創出効果等を含めたアンケートを行い、これらの結果を分析してモデル計画の課題抽出及びその汎用性の検討を行う。

(4) 伝統的空間の連続性確保による波及効果の検討

(3)において試験施行を行った箇所の周辺住民に対して、試験施行の前後において歩行者の増減等の影響があったかどうかのヒアリングを行い、その結果から、「こみせ」の連続性維持による歩行者の動線確保につながる波及効果について検討する。

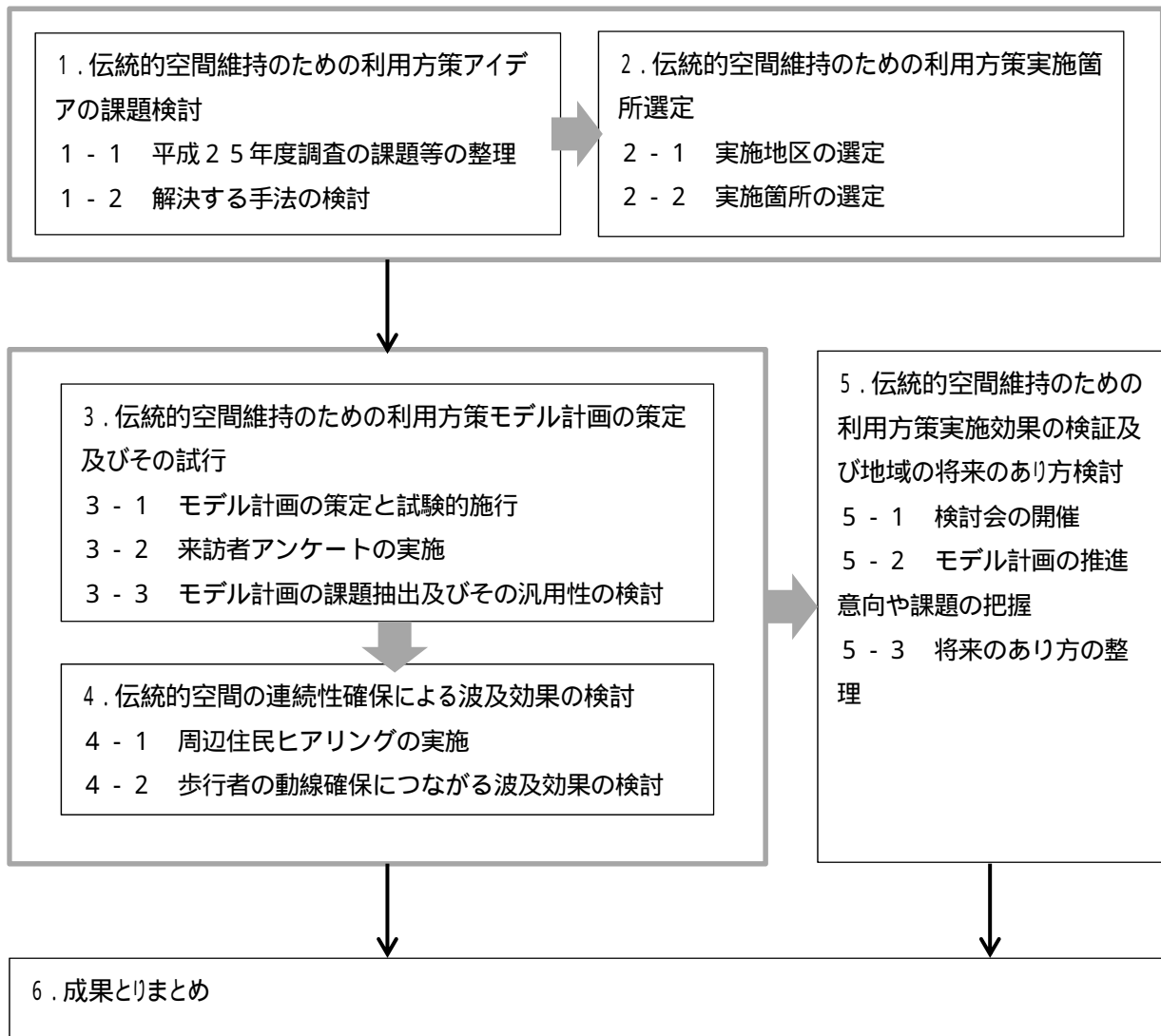
(5) 伝統的空間維持のための利用方策実施効果の検証及び地域の将来のあり方検討

地域住民が参加する地域の将来のあり方に関する検討会を開催し、(3)(4)の調査成果を説明するとともに、建築・まちづくり等の専門家にも意見を求め、地域内の議論を進める。検討会に参加した地域住民に対しては、アンケートを行い、モデル計画の推進意向や課題認識等について調査するとともに、その結果を踏まえて、良好な景観形成と地域活性化の両立を目指した当該地域に適切と判断される将来のあり方を整理する。

(6) 成果とりまとめ

上記成果を報告書にとりまとめる。

図 0-1 調査のフロー



3. 調査のスケジュール

本調査は、次表のスケジュールに基づき実施した。

表0-1 調査のスケジュール

	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1. 伝統的空間維持のための利用方策アイデアの課題検討	←→								
2. 伝統的空間維持のための利用方策実施箇所選定	←→ 実施箇所選定								
3. 伝統的空間維持のための利用方策モデル計画の策定及びその試行		←		仮設こみせ設置			→		
				アンケート			アンケート		
4. 伝統的空間の連続性確保による波及効果の検討			←→						
5. 伝統的空間維持のための利用方策実施効果の検証及び地域の将来のあり方検討						検討会の開催		←→	
6. 成果とりまとめ							←→		

第1章 伝統的空間維持のための利用方策アイデアの課題検討

1. 平成25年度調査の課題等の整理

1) こみせの概要と主な課題

こみせは、「小店」、「小見世」、「こもひ」などが転化したといわれており、青森県や秋田県で呼ばれている。黒石市では、明暦2年（1656年）に黒石初代領主津軽信英が町割をしたときに造られたと伝えられ、まちなかには、総延長4.8kmのこみせがあったといわれている。

こみせの形態は、主屋等の建造物の道路側に一間おきに並ぶ木の柱の上に、板張り（トタン葺）でひさし状の屋根がかけられた通路空間であり、これが連続して回廊状の空間を形成し、雨や夏の強い日差し、そして冬の吹雪から人々を優しく守っている。通る人々に常に快適さを与える空間は、代々受け継がれてきた、雪と上手く付き合う工夫が凝縮された空間である。

しかし、こみせは火災（明治2年の大火等）や道路の拡幅、商店の減少などにより、徐々にその姿を消し、現在では、重伝建地区に指定された中町（こみせ通り）のほか、こみせ通りに連続する前町や横町等では、木造や鉄骨造等の現代的なこみせが現存しているのみである。

「こみせ」は公共空間的な機能を果たしているが、これらに接続する各戸が所有、維持管理する私有空間であるため、各戸で維持管理負担を負う必要がある。また、「こみせ」は連続することでその機能や景観上の特徴を発揮するものであることから、部分的に欠如することが町並みに大きな影響を与えるだけでなく、歩行者の動線を遮断させることが懸念されている。このような黒石のシンボルともいえるこみせの保存と、失われたこみせの再生が、今後のまちなかの活性化等において重要な課題である。

写真 1-1 こみせの様子



かつてのこみせは、建物の用途により平入りと妻入りの形態がみられた（写真は山形町。こみせは現存していない）。

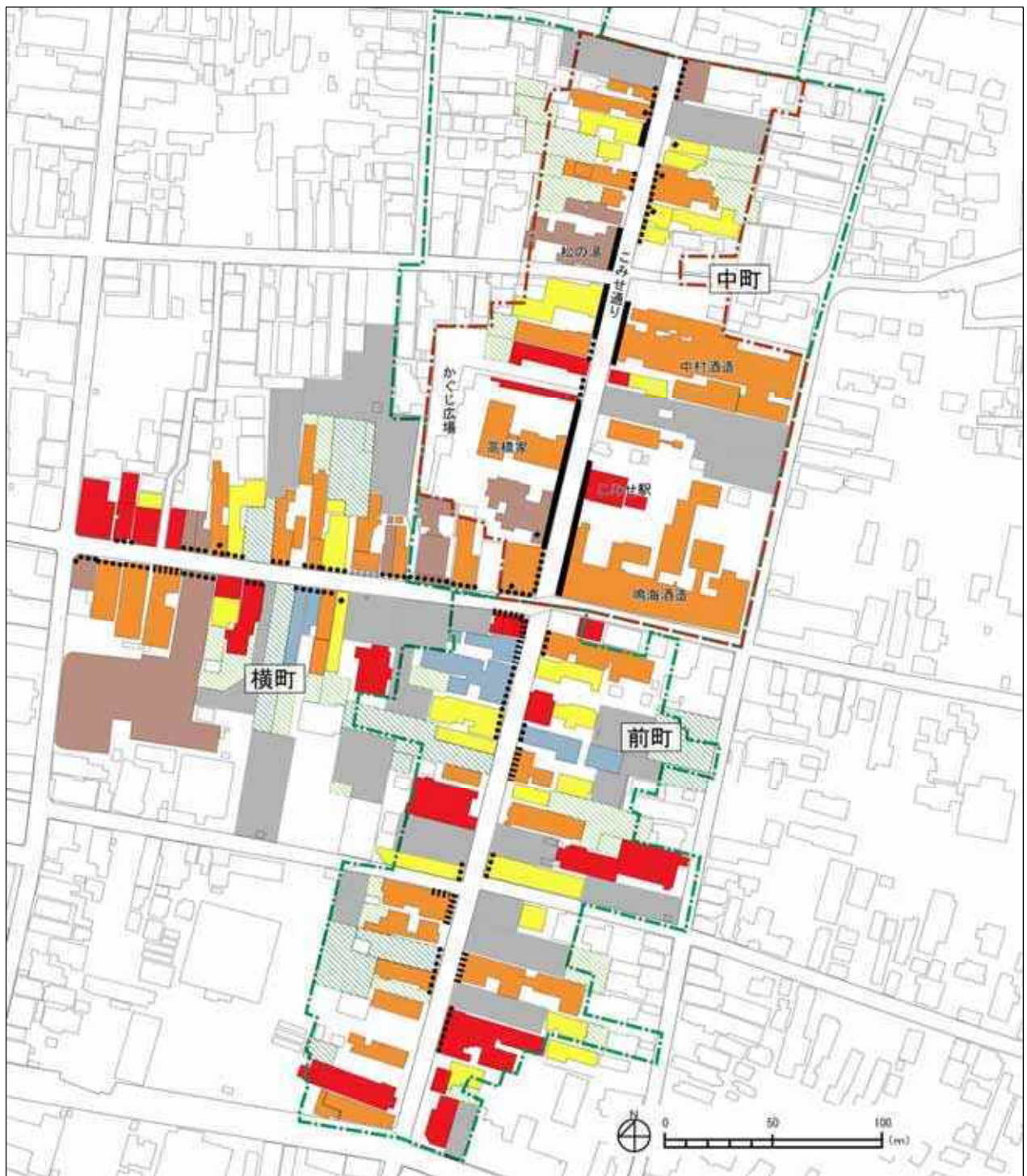


国の重要文化財に指定されている高橋家住宅（中町）。こみせは、一年を通して快適な歩行空間となっている。



横町では、空き地や駐車場が増加することにより、こみせや町並みの連続性が途切れてきている。

図 1-1 こみせの現況（出典：平成 25 年度調査結果）



凡 例			
地区指定	こみせの形態	かくじの用途	建物用途
中町重要伝統的建造物群保存地区	伝統的	庭・畑	専用住宅
歴史的景観形成地区	非伝統的（木造）	空き地	併用住宅
	非伝統的（S造）	駐車場	店舗・事務所
	その他（庇）		空き家
	その他		用途不明※
	屋内駐車スペース		※空き店舗だが、住宅として利用されているか不明な建物

2) 平成 25 年度調査の概要

前述のような課題を解決するため、黒石市では、平成 25 年度に歴史的風致維持向上推進等調査(以下、「平成 25 年度調査」という。)を実施し、「こみせ」の伝統的空間維持に資する収益利用等の新しい空間利用や整備、管理のあり方について、その基本的アイデアを建築士や地域開発プランナー等から地域外を含めて幅広く募った(右:「こみせ」再生提案競技参照)。

その中で、優秀なアイデアを選定し、提案者による説明会を開催し、説明を受けた伝統的空間所有者を含む地域住民がその実現性等をどのように認識するかを把握した。

さらに地域住民により特に実現性等が高いと認識されたアイデアについては具体的な検討箇所を設定してより詳細な検討、空間設計等の作業をその提案者に依頼し、その成果をもって地域住民が地域の将来のあり方について検討を進めることで地域内の議論を活性化できるかを検証した。



図 1-2 「こみせ」再生提案競技チラシ

表 1-1 業務のスケジュール

項目	日程
募集準備	平成 25 年 9 月上旬まで
応募要項配布開始	平成 25 年 9 月 17 日 (火)
応募登録申込受付期間	平成 25 年 9 月 17 日 (火) ~ 10 月 11 日 (金)
質問受付期限	平成 25 年 10 月 18 日 (金)
現地見学会	平成 25 年 10 月 18 日 (金)
応募作品受付期間	平成 25 年 11 月 11 日 (月) ~ 11 月 18 日 (月)
審査結果発表	平成 25 年 12 月 3 日
提案説明会 (住民アンケート、ヒアリング実施)	平成 25 年 12 月 9 日
現地調査【再生部門】	平成 25 年 12 月 9 日
提案の詳細検討【再生部門】	平成 25 年 12 月中旬 ~ 平成 26 年 1 月中旬
景観シンポジウムにて説明 (市民アンケート実施)	平成 26 年 1 月 18 日 (土)
提案調整	平成 26 年 2 月末まで

3) 「こみせ」再生提案競技の優秀作品の概要

「こみせ」再生提案競技の募集の結果、合計 30 件の提案が提出された（A部門が 11 件、B部門が 19 件）。これら応募作品を 7 名の審査員（学識経験者や地域住民代表者）により、1つ1つ審査し、その結果を議論しながら優秀作品を選定した。

その結果、合計 5 作品（A部門が 2 件、B部門が 3 件）が優秀作品として選定された。各作品の評価ポイントは下表のとおりである。

表 1-2 優秀作品の評価ポイント

No.	優秀作品	評価されたポイント
A部門 0201	こみせマネジメントのデザイン～循環型マネジメントによる「こみせ再生」手法～	<ul style="list-style-type: none"> ・道路空間の活用アイデアが面白く、車を気にしないで歩けるのが良い（こみせを大きく変えないことが重要） ・実現の方策の提案が具体的である
A部門 1102	「雪国のえんがわ”こみせん”」計画	<ul style="list-style-type: none"> ・いまあるものを十分に活用した提案である ・さつなぎの活用方法などのアイデアが面白い ・ファンドの提案は比較的軽めであるが、ローコストで提案のバランスが良い
B部門 0209	Co-みせ-多様な主体によるセルフ・リノベーションで、ゆっくり甦る「こみせ」-	<ul style="list-style-type: none"> ・こみせの独立した作り方として評価でき ・青空駐車場の修景としてはローコストで現実的である ・リアリティはあるが、だれがどこから始めるかがポイント
B部門 1202	かぐじガーデンからはじまる「こみせ再生」	<ul style="list-style-type: none"> ・空間・お金をバランス良く提案している ・何も無いところ（空地）の提案として良い ・（実施主体の課題は残るが）対象地は黒石にとって大事な場所であり、こみせとかぐじを一体的に考え、通路の提案もよい ・寄付を受けて名前を入れるマネジメントの仕組みが良い
B部門 0222	かぐじへ繋がる「もうひとつのこみせ通り」	<ul style="list-style-type: none"> ・青空駐車場が多いという実態を踏まえ、地産地消をベースとしており、利益をこみせ再生に還元する、というサイクルができれば、もっとよくなりそう ・青空駐車場や空き地の使い方として良い

【A. 保全修理部門：現存する「こみせ」による歴史的町並みのストリートマネジメント】

- ・重伝建地区（中町）を対象とし、「こみせ」空間を活用した活性化のアイデアの提案を必須とし、「こみせ」の維持管理に使用できる収益利用や持続的保全のためのマネジメント手法の提案

【B. 再生部門：失われた「こみせ」の再生によるストリートマネジメント】

- ・重伝建地区（中町）及び周辺地区（前町、横町）を対象とし、こみせの歴史的・風土的意味合いを継承しながら、失われた「こみせ」再生の空間的アイデアの提案を必須とし、再生された「こみせ」空間を活用した活性化のアイデアや維持管理に使用できる収益利用の提案

Co-みせ

-多様な主体によるセルフ・リノベーションで、ゆっくり甦る「こみせ」-01

Co 見世 Co Musée Commu 瀬

こみせの母体 かくじの会所 回復するせせらぎ

● 自らリノベーションで、継続的「こみせ」が回復される過程

3つの名となるアイデアのイメージ

- ① Co Musée かくじの会所
- ② Commu 瀬 回復するせせらぎ
- ③ Co 見世 こみせの母体

Co-みせ

-多様な主体によるセルフ・リノベーションで、ゆっくり甦る「こみせ」-02

Co 見世 Co Musée Commu 瀬

こみせの母体 かくじの会所 回復するせせらぎ

対象地区

構想は、伝統的な「こみせ」が多く残る町町、中町とは対照的に、雑居ながらその「こみせ」風華は、おもむきに向ける。また通り両側では開口60mほどの空地が広がっている。

構想の、空りに広場への入り口のある付近について「こみせ」風華の回復を提案する。

Co 見世 <セルフ・リノベーション>

通り両側の「前住的こみせ」については、昔の人やまちづくりNPO、地元大学など多様な主体が参加し、セルフビルドでセルフ・リノベーションで、一軒ずつ壊すリと継続的に、「こみせ」のある肌を回復させることを提案する。

Co Musée <存心場>

空地が狭く通りに面している、伝統的な形式、素材を参照した新しい「こみせ」を、やはりセルフビルドで連続的に展開させていく。あわせて街区には新「こみせ」をベースにした、かくじの会所(温泉)を設け、街に「存心場」として活用する。

Commu 瀬 <めぐる流れ>

じょうりから広場、かくじ広場から続く連続のせせらぎは、街を回復する人々の通るべき道である。既存の広場からかくじの会所へせせらぎを導き、せせらぎ(温泉)に繋ぐことで街を「めぐる流れ」を整備する。

継続的「生活」からのまちづくり

セルフビルドは、具体的に「こみせ」の軒天張りを外すことから始める。伝統的な「こみせ」と比較すると、構想的「こみせ」の佇まいを保持している範囲のひとは、角通りに面した「こみせ」の軒天張りを外すように見える。本質と形式のかけをセルフ・リノベーションは、住民主体の、コストを抑えた継続的なまちづくりのイベントであり、住民の街へ思いを込め、日々の生活を豊かに暮らし、記憶の風華に思いをはせる、「継続的「生活」からのまちづくり提案である。

かぐじへ繋がる「もうひとつのこみせ通り」



外観パース

『コンセプト』 遠慮する 個人販売所

道徳的に個人販売所をよく見做りますが、事前に決めて貰う人はあまりいません。

もし、こちらの個人販売所の、遠慮していただくのでしょうか？
何か物に入る様な物が有るか、無事にくらひませんが？
遠慮した方が有るや、貴がら多分さー
そして、それ等一人で管理の出来、経費もあまり掛らないとしたら、

この建物は、道徳的に道徳的なこみせの建物を造ります。
敷地内のみせは、(一階 x 半階) のブースにしています。
このブースを地域の個人レンタルする事にし、管理・運営します。
(次ページのシステムフロー参照)

管理は、一人で管理し、お買物や納品・お掃除など等は、
それぞれがブースのバックヤードで対応します。

小さな店一軒ですが、売り手は意欲を燃らし販売・接客方法で
他の販売店を打ち抜く力をアップしていきます。
それらにより活性化を持った店舗となりそれぞれが
長期継続出来る事を目的とした施設です。

(販売の計画：施設リンクのしごと選択・アップルパイのセット販売
+りんご畑に結びりんごを一個入れたおにぎり等 各自が営業実行)



配置図 9/11/2018

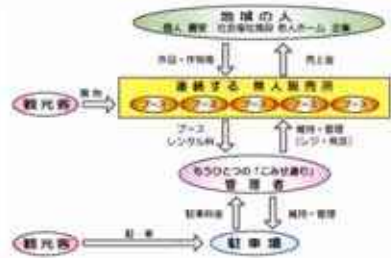
「もうひとつのこみせ通り」 No.01



A-A断面図 9/11/2018

地域の人の作品・作物 例	
個人 (運営も可能)	季節の山菜 地域のもの(あけび・加工・漬物の山菜・他) 野菜などの(漬物・漬物系・他)
個人	季節の野菜 地域に産かない野菜
社会福祉施設	施設で造った木工芸・陶器
個人用ホーム	産地のTPO・TPO・TPO・他
企業	野菜・山菜・産物の加工品

システム フロー



平面図 9/11/2018

「もうひとつのこみせ通り」 No.02

4) 平成25年度調査の課題等の整理

平成25年度調査では、収益利用のアイデア募集とそれを通じた議論の活性化効果の課題については、「こみせの活用または再生の場合、来客や自家用の自動車利用とのすり合わせという、技術的な解決の検討」と「今後、市民や外部の機運をより高め、こみせ所有者等のこみせ再生や活用、景観まちづくりへの参加意欲の向上が必要」としている。

さらに、今後の横町における取組の方向性として、「無人販売所に代表されるような空き家・空き地の活用とともに、こみせを再生していく手法の検討」や「こみせの再生や活用に関するモデル的な取り組みを行い、その成果を広く周知する」ことが挙げられている。

収益利用のアイデア募集結果

把握できたこと	中町では、こみせ活用の地域住民の意識は低く、収益利用より伝統的な景観の維持を望む声が強いです。 横町では、空き地や空き店舗を活用しながら、こみせ再生を進める意識が強いです。
課題	こみせの活用または再生の場合、来客や自家用の自動車利用とのすり合わせを考えてほしいという意見が強く、技術的な解決の検討が必要。

議論の活性化効果の結果

把握できたこと	今後のこみせの再生や活用、景観まちづくりへの取組について、市民の意識や外部の評価や期待の高まりが感じられた。 こみせ所有者等の意識は、さほど高まっておらず、景観まちづくりへや地域づくり活動の参加には、やや消極的であった。
課題	今後、市民や外部の機運をより高めながらも、こみせ所有者等のこみせ再生や活用、景観まちづくりへの参加意欲の向上が必要である。

さらに、平成 26 年度以降の取組として、次のとおり整理している。

こみせ再生のモデル的な実施

中町では、ヒアリング結果等からこみせ再生に意欲がある住民が存在していることを踏まえ、歩行者ネットワーク上重要な場所の 1 つである中町側のかぐじ広場入口の周辺を対象として、自動車利用が可能なこみせの形態や建築物の外観と調和したデザインを検討するなどにより、こみせ再生のモデル的な実施を早期に行う。これにより、今後、新たにこみせを再生する敷地や建て替えなどを予定している敷地における意欲向上を図るとともに、こみせを核にした歩行者ネットワークの形成を促進する。

空き地等を利用したこみせの再生・活用モデルの検討

横町では、住民意向が高かった空き地等を利用したこみせの再生・活用に取り組む。具体的には、歩行者ネットワーク上重要な場所の 1 つである横町側のかぐじ広場入口の周辺を対象として、提案にあった空き地の活用やこみせのリノベーションを進め、中町からこみせ空間の連続性の確保を進める。

かぐじを利用したこみせの再生・活用と歩行者ネットワークの構築

平成 27 年度に旧松の湯と金平成園が再生される見通しであることから、中期的な視点に基づき、中町や横町のこみせ再生・活用と並行して、提案にあった横町を含む一体的な街区を対象として、空き地や空き店舗等を利用したこみせの再生・活用を図るとともに、かぐじを利用した歩行者ネットワークを構築し、中心市街地のにぎわいの再生を進める。

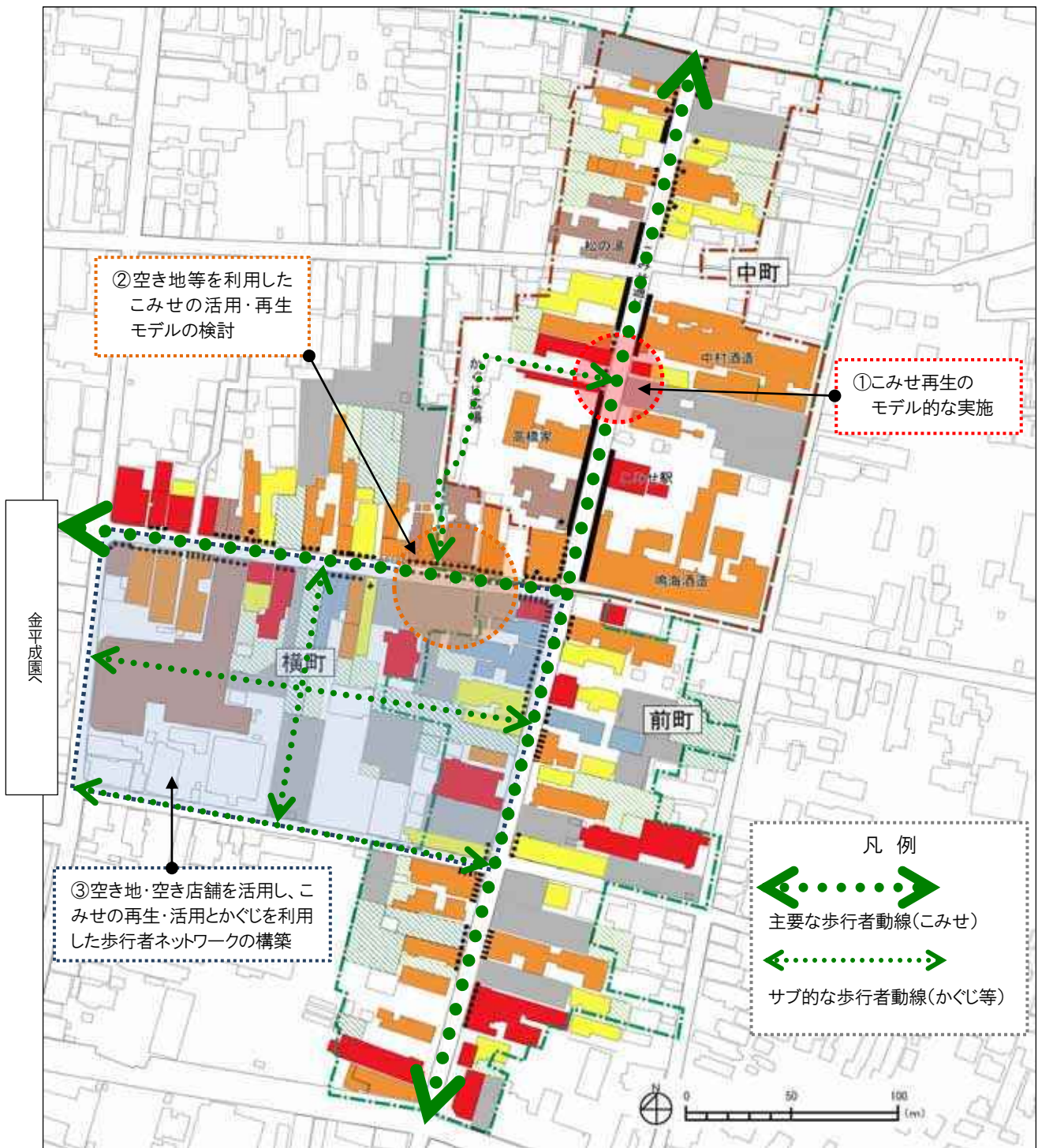


①こみせ再生のモデル的な実施候補地(中町)



②空き地等を活用したこみせの活用・再生モデルの検討候補地(横町)

図 1-4 平成 26 年度以降の取組み（出典：平成 25 年度調査結果）



凡例			
地区指定	こみせの形態	かぐじの用途	建物用途
<ul style="list-style-type: none"> 中町重要伝統的建造物群保存地区 歴史的景観形成地区 	<ul style="list-style-type: none"> 伝統的 非伝統的（木造） 非伝統的（S造） その他（庇） その他 ◆ 屋内駐車スペース 	<ul style="list-style-type: none"> 庭・畑 空き地 駐車場 	<ul style="list-style-type: none"> 専用住宅 併用住宅 店舗・事務所 空き家 用途不明※ <p>※空き店舗だが、住宅として利用されているか不明な建物</p>

2. 解決する手法の検討

平成 25 年度の 3 点の優秀作品（B 部門）うち、2 点（0209 番、1202 番）は対象敷地を空き地等としており、1 点（0222 番）は、敷地は特定していないものの、空き地を対象としているものであった。

この中で、0222 番は、空き地や駐車場として利用されている敷地を対象としており、空き地等を利用したこみせの再生・活用モデルの検討を進める上で、低コストで実施可能であることやモデル的・実験的に実施する上で有効な提案内容を含むものであると考えられる。

この提案を基本として、こみせ再生にあたり「来客や自家用の自動車利用とのすり合わせという技術的な解決」を検討するとともに、「その成果を広く周知すること」により、課題解決が図られると考えられる。

なお、提案内容を全て実現することは時間的にもコスト的にも不可能であることから、仮設的にこみせを設置する対象の絞り込みなどの検討が必要である。また、前記した来客や自家用の自動車利用とのすり合わせという技術的な解決」を検討に加えて、本地域が防火地域であることから準耐火建築物の性能を満たしつつ、伝統的な様式とする工夫なども検討する必要がある。さらに、A 部門で提案された「さつなぎ※を活かした提案（さつなぎ飾り）、p 10、p 23 参照」が採用できるかの検討も必要である。

※さつなぎは、馬の手綱をつなぐための環であり、現在も複数の商家のこみせに残されている

表 1-3 優秀作品の提案内容の活用評価

No.	優秀作品	提案場所と提案内容の活用評価
0209	Co-みせ-多様な主体によるセルフ・リノベーションで、ゆっくり甦る「こみせ」-	<ul style="list-style-type: none"> ・横町の空き地を計画敷地とし、前町までをかぐじで結ぶ範囲を対象 ・セルフビルドによるこみせの再生や、かぐじ「会所」による空地の活用は実施不可能ではないが、平成 25 年度調査の課題解消のモデルとして採用するのは適切ではない
1202	かぐじガーデンからはじまる「こみせ再生」	<ul style="list-style-type: none"> ・横町の南側及びこれらを含む一体的な街区を対象とし、かぐじを結ぶことが示されている ・対象地域が広く、実現までには相当程度の時間とコストを要することから、平成 25 年度調査の課題解消のモデルとして採用するのは適切ではない
0222	かぐじへ繋がる「もうひとつのこみせ通り」	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的な提案場所は示されていないが、現在、空き地や駐車場として利用されている敷地 ・低コストで実施可能であることやモデル的・実験的に実施する上で有効な提案内容を含むものであると考えられることから、採用することが適切であると考えられる

図 1-5 詳細検討等の実施箇所（出典：平成 25 年度調査結果）



第2章 伝統的空間維持のための利用方策実施箇所選定

1. 実施地区の選定

1) こみせの現況と実施地区の選定

中町は、伝統的建造物群保存地区内では、高橋家住宅(国指定重要文化財)や酒造所(鳴海家、中村家)などの商家を中心に、伝統的様式によるこみせが現存している。しかし、商業施設の建て替えなどにより、一部こみせが消失したり鉄骨造で設置されている。なお、伝統的様式により修景が行われた店舗・こみせも見られる。

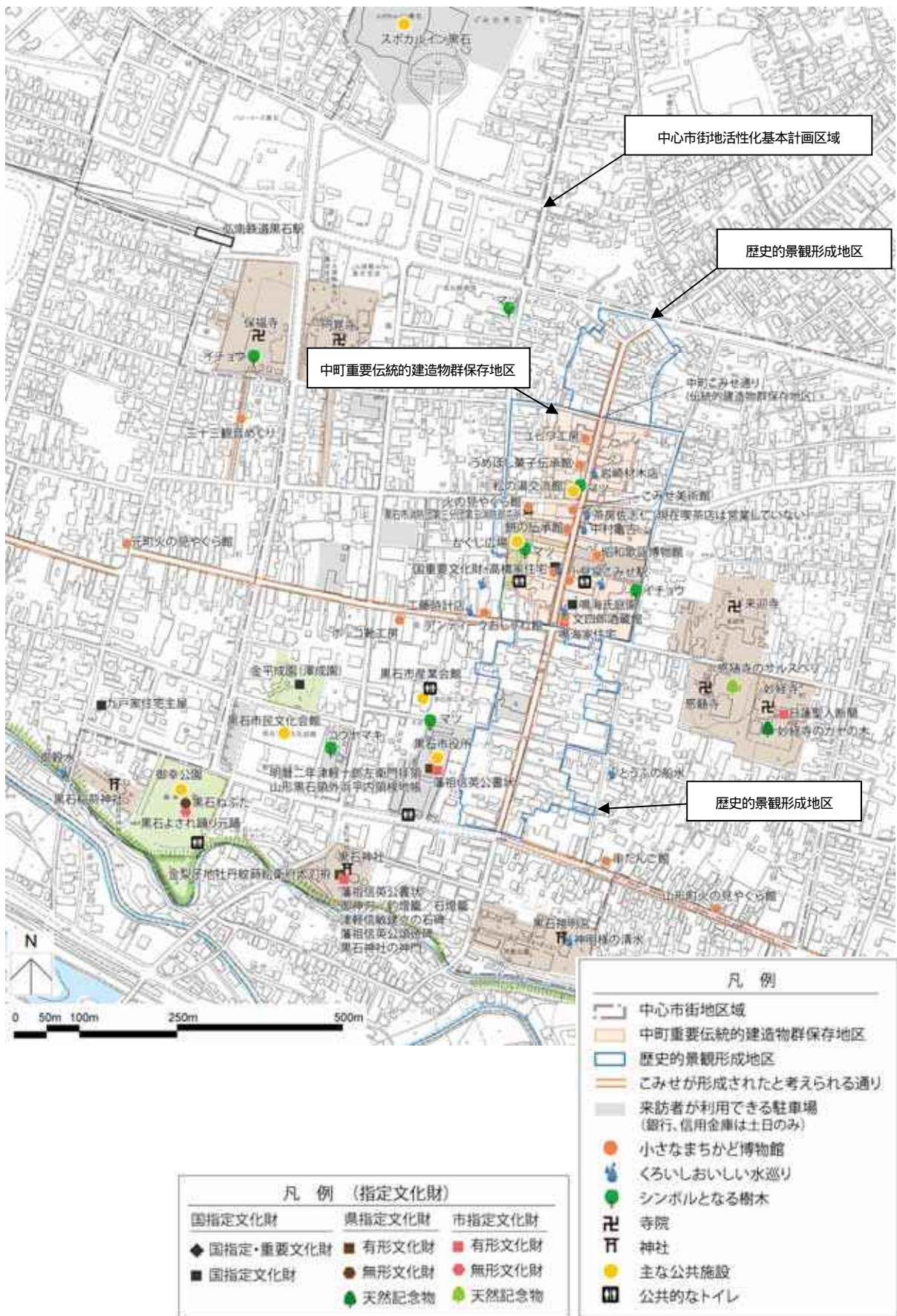
前町は、中町のような伝統的な様式ではないものの、木造や鉄骨造のこみせが現存している。しかし、店舗や業務施設の建て替えなどにより、こみせが設置されていない敷地も点在している。

横町は、中町に隣接した区間では、高度経済成長期に鉄骨造のこみせに変化するなど、木造の伝統的な様式によるこみせは、ほぼ現存していない。また、空き地や駐車場が点在しており、これら敷地にはこみせは設置されていない。

これらより、前町と横町におけるこみせの現況を比較すると、こみせの形態が混在し、空き地や駐車場によりこみせの連続性が失われているのは、前町よりもやや横町が該当しているといえる。

なお、平成 27 年度中には、今後の地域活動や観光・交流施設の拠点としての役割が期待される松の湯交流館と金平成園が再生される予定である。今後、歴史的な資産を活かした中心市街地のにぎわいの再生を進める上では、伝統的建造物群保存地区に指定されている中町を拠点とした回遊性の向上や、空き地や空き店舗等を利用したこみせの再生・活用と歩行者ネットワークの構築において、横町におけるこみせ再生は重要なテーマとなることから、実施地区として横町を対象とする。

図 2-1 中心市街地における景観資源等の実態



2. 実施箇所の選定

1) こみせの試験的設置（候補地）の選定

こみせの試験的設置（候補地）の一次選定

横町において、こみせが設置されていない場所は、次のとおり類型化することができる。

このうち、「1-こみせ部分に建物が立地している」敷地には、こみせを設置する空地がないことから対象外とし、「2-駐車場として利用されている」敷地及び「3-空き地となっている」敷地を一次選定する。

表 2-1 こみせが設置されていない場所の類型化とその概況

類型	概況
1-こみせ部分に建物が立地している	<ul style="list-style-type: none">・ 建て替えにより、こみせ部分に建築物が存在している敷地・ 横町の西側の店舗や事務所等の建築物に多く見られる
2-駐車場として利用されている	<ul style="list-style-type: none">・ 建築物はなく、青空駐車場として利用されている敷地・ 横町の東側に見られ、店舗の駐車場等として利用されている場所もある
3-空き地となっている	<ul style="list-style-type: none">・ 建築物はなく、空き地の状態が続いている敷地。・ 横町の中央部に数か所見られ、時折、商店街や地域のイベントとして利用されている。

こみせの試験的設置（候補地）の二次選定

一次選定の敷地において、かぐじにある駐車スペースの出入り口になっている敷地などのこみせが設置できない敷地を除き、こみせが設置できる可能性がある3敷地を二次候補地区とし、こみせの連続性や現在の利用状況及び地域住民や来訪者へのPR等の観点を整理する。

この結果、候補地Aは、こみせの連続性や住民の認知度（以前は市内で大きな書店であり、その後は、こみせ祭り等のイベント会場となっている）、PR等の観点から、適地であるといえる。また、候補地Bは、こみせの連続性には欠けるものの、かぐじ広場の出入り口という立地特性がPR等の効果が大きいと考えられる。しかし、候補地Cは、候補地Aとほぼ同様の条件にあるが、イベント等の利用がされていなく、PRの観点からは、候補地Aや候補地Bと比較とするやや劣る。

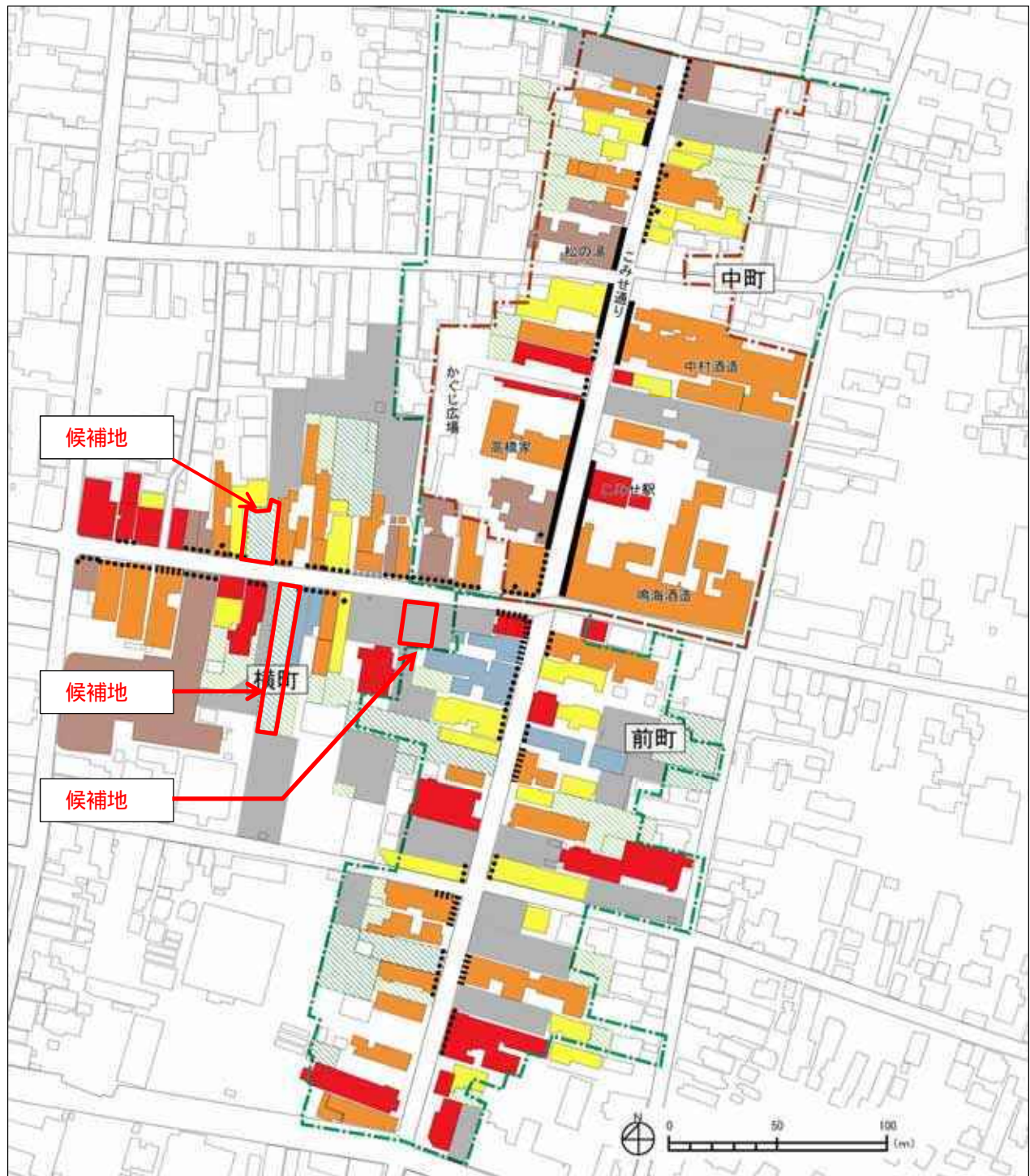
なお、これら候補地区のヒアリングの結果、候補地A及び候補地Bは、こみせ設置に協力が得られるが、候補地Cについては、協力を得ることが困難であることが解った。

これらより、候補地A及び候補地Bを最終候補として二次選定する。

表2-2 二次選定地の状況

	こみせの連続性	現在の利用状況等
候補地A	・隣接地は小規模なこみせが設置されており、一定の連続性が確保できる	・以前は市内で大きな書店であり、現在は、こみせ祭りや商店街のイベント会場として利用されている ・地域住民などが横町と市役所方面を移動する際の歩行者動線上にあることから、歩行者の目に触れやすい
候補地B	・隣接地は空地や駐車場であり、こみせの連続性は確保できない	・イベント会場とし、ときどき利用されている ・地域住民や来訪者が多く利用するかぐじ広場の出入り口にあることから、来訪者の目に触れ、PRできる場所である ・平成25年度の提案場所であった
候補地C	・隣接地は、小規模なこみせが設置されており、一定の連続性が確保できる	・以前は駐車場であったが、現在は空き地の状態が続いており、イベント等の利用もなされていない ・候補地AやBと比較すると、住民の認知度が低い

図 2-2 こみせ・かぐじの現況とこみせの試験的設置（二次候補地）



凡 例			
地区指定	こみせの形態	かぐじの用途	建物用途
中町重要伝統的建造物群保存地区	伝統的	庭・畑	専用住宅
歴史的景観形成地区	非伝統的（木造）	空き地	併用住宅
	非伝統的（S造）	駐車場	店舗・事務所
	その他（底）		空き家
	その他		用途不明※
	屋内駐車スペース		※空き店舗だが、住宅として利用されているか不明な建物

2) 実施箇所の選定

二次選定した敷地の土地所有者の意向を次のとおり把握した。

いずれの敷地も、こみせの試験的な設置に協力が得られるが、候補地 のほうがより積極的な協力が得られ、近い将来に土地活用を進めたい意向をもっている。また、候補地 は、その敷地形状の特性から、平成25年度の優秀作品のうち「0222 かぐじへ繋がる『もうひとつのこみせ通り』」の提案内容を実現することが比較容易であることから、こみせの試験的な設置にはふさわしいと考えられる。

以上より、候補地 をこみせの試験的な設置の実施箇所として選定した。

写真2-1 候補地の写真



実施候補地



実施候補地

表2-3 土地所有者の意向

区分	土地所有者の意向
候補地	<ul style="list-style-type: none">・近い将来の土地活用を検討中である・こみせの試験的な設置に積極的な協力が得られる
候補地	<ul style="list-style-type: none">・中長期的に将来の土地活用を検討中である・こみせの試験的な設置に協力が得られる

第3章 伝統的空間維持のための利用方策モデル計画の策定及びその試行

1. モデル計画の策定

1) モデル計画の策定について

試験的に設置するこみせは、地域住民や来訪者の評価の確認、歩行者の動線確保につながる波及効果を生じさせたかを検証した上で、「こみせ」の維持保存に関する地域の将来のあり方についての意見集約を図ることを目的とする。

そのため、モデル計画を次のとおりとした。

設置期間

地域住民や来訪者の評価の確認等を進めるため、イベントの実施期間や季節（無積雪期と積雪期）を考慮し、平成26年9月から平成27年2月（約半年間）とする。

地域住民や来訪者の評価の確認方法

地域住民に対しては、無積雪期と積雪期の比較ができるよう、12～1月頃にアンケート調査を実施し、評価を把握する。

また、来訪者に対しては、イベント開催時（9月：こみせ祭り、10月：きのご祭り、11月：まち歩き時）の機会を捉え、街頭アンケート調査を実施し、把握する。

アンケート調査の項目

アンケート調査の項目は、回答者の属性に加え、こみせ設置の評価やデザイン、自動車の利便性等を確認するとともに、横町におけるこみせ再生への期待やデザインのあり方等を把握することとする。

アンケート項目			
回答者の属性			
性別	年齢	住所	属性
仮設こみせ等の評価		横町でのこみせ再生等の意見	
問1	こみせの認知度	問6	今後の横町でのこみせ再生
問2	仮設こみせの設置について	問7	こみせを再生するメリット
問3	仮設こみせに設置した花やベンチ	問8	再生するこみせの形態
問4	こみせのデザインについて		
問5	こみせの様式と車の関係		

歩行者の動線確保につながる波及効果を生じさせたかの検証

仮設こみせの前後において、歩行者の増減について把握する、具体的には、2つの個店に対して、毎月、歩行者量の変化等についてヒアリングを行う（詳細は4章）。

仮設こみせの設計ポイント

仮設こみせは、平成25年度に提案された「もうひとつのこみせ通り」を基本とし、次の各点について修正・見直しし、設計を行った。

平面計画

提案内容は、通りに面してこみせを設置し、これに対して垂直方向にもこみせ（無人ブース）を設置する案であった。しかし、敷地内部の無人ブースとしての利用を想定したこみせは、半年間での利用に見合ったが体制などが構築しにくいことやコストとの兼ね合いが解決できなかった。このため、仮設こみせは、通りに面してのみ設置することとした。

立面計画

自動車の荷捌きや出入り口としての機能を確保する必要があることから、中町に見られるようなこみせの土台（柱と基礎を緊結する角材（本こみせの場合は、鉄骨造のため各柱をアンカーボルトで緊結））をなくし、歩行者にとってこみせへの出入りがしやすいように、また自動車が寄りやすいようにした。また、敷地内部に自動車が出入りする必要があるため、幅約4m、高さ約3.3mの空間を確保した。

形態・意匠計画

伝統的な様式を継承した形態・デザインの採用を望む意向が強かったことから、柱の間隔は1間（1,820cm）とした。また、本地域は防火地域であるため、主要構造を木造とすることは困難であることから、柱の構造を鉄骨造とした。その上で、アンケート調査でこみせのデザインの評価が得られるように、一部の柱には木を巻き付け中町と同様の質感となるよう修景した。なお、屋根の色彩は、まちなかで多く見られる赤、緑、青のうち、敷地周辺で多く見られる青を採用した。

その他

平成25年度の優秀作品で提案されていた内容のうち、「さつなぎを利用した飾り」として、こみせの正面に花飾りを設け、「すわり場の提供」として、こみせ内のスペースにベンチを2つ設置した。

2) 仮設こみせの設置

モデル計画に基づき、実施箇所において、9月1日～12日に仮設こみせを設置した。

3) モデル計画の周知

このモデル計画の取り組みを地域住民等に対して周知するため、横町及び周辺の4町(中町、前町、上町、浜町)の全戸にチラシを作成・配布した。また、市役所のホームページと広報に掲載したほか、地元新聞にも紹介された。

写真3-1 仮設こみせ建設の様子



仮設こみせの工事の様子



仮設こみせの建設前



仮設こみせの建設後

図3-3 仮設こみせ設置を周知するチラシ

こみせからはじまるまちそだて

—こみせが途切れた箇所に仮設こみせを設置します！—



※設置イメージ

本市の中心市街地に残る「こみせ」は、連続することでその機能や景観上の特徴を発揮するため、部分的に欠如することがまち並みに大きな影響を与えています。

市ではこれまで、こみせ再生提案競技におけるアイデア募集、住民の方へのヒアリングや景観シンポジウムにおけるアンケートなどを実施し、「こみせ」の再生・維持・活用の方策を検討してきました。

そこで、これまで得られたアイデアや知見を活かし、モデル的に仮設こみせを設置することで、その効果を検証し、実現に向けた検討を進めていきます。

設置場所
黒石市横町 ソフニ跡地

設置期間
2014年 2015年
9月13日～2月8日
※ 設置期間は予定です。こみせ祭りから設置

お願い
仮設こみせの設置期間中、地域にお住まいの方や来訪者の方にアンケート等を実施する予定ですので、よろしくお願いいたします。

設置場所



お問い合わせ先
〒036-0396 黒石市大字市ノ町1 1番地1号
黒石市建設部都市建築課まちそだて推進係（黒石市庁舎2階） ※開庁時間：午前8時15分～午後5時
TEL：0172-52-2111（内線225） FAX：0172-52-6191
E-mail：kuro-machisodate@city.kuroishi.aomori.jp

図3-4 仮設こみせ設置を周知する広報

まちなか活性化の 取り組み

こみせまつり期間中の9月13日から、こみせを中心としたまちなかの活性化を目指す2つの事業が始まりました。

西谷家活用モデル事業

横町十文字まちそだて会は、歴史的建造物を活用した戦略的モデル事業として、西谷家を借り上げ黒石の魅力を紹介しながら、地産品などを販売しています。9月13日にはオープンセレモニーが行われ、高橋市長らがテープカットをしました。西谷家ではさまざまなものを販売し、観光客や地元の人々のニーズや満足度などを検証します。



横町仮設こみせ設置

こみせは連続することでその機能や景観上の特徴を発揮するため、部分的に欠如することが町並みに大きな影響を与えるとして、市は横町に仮設こみせを設置し、中町に隣接する地域におけるこみせの再生・維持・活用について効果を検証しています。設置は平成27年2月8日までで、イベント時には、出店なども行われます。



⑨ 広報くろいし・26年10月1日



◀「宮古復興うまいもの市」では新鮮なさんまなどの海産物を販売

イベントが盛りだくさん

演舞・演奏の披露の他にもたくさんイベントがこみせまつりを盛り上げました。「宮古復興うまいもの市」や「津軽と南部の食対決 黒石の陣」などには、多くの方が訪れ目当ての品物を買って求めていました。また、今回のこみせまつりは、「和服でそぞろ歩けば、ほのかに香る江戸情緒」をテーマに、江戸時代のお殿様やお姫様の格好をした人々が会場を練り歩きました。



◀江戸時代の装いでこみせ通りを歩く人々が多数登場



◀たくさんの方が舌鼓を打った「ギンス流しそうめん」

黒石商業高等学校の生徒による似顔絵屋さん



◀子供たちが集まる金魚すくい

図3-5 仮設こみせ設置を報じる地元紙

黒石市 仮設こみせ 工事急ピッチ

黒石市が初めての試みとして横町のソフニ



黒石市が横町に設置する仮設こみせ、工事が急ピッチだ。6日撮影。

黒石市が初めての試みとして横町のソフニ

仮設こみせは、幅が1.8メートル、長さが13メートル、空き地を利用してこみせが通切れた区間に、期間を設けて設置し、イベント時に物販ができるようにブースを設ける。

伝統的歩行空間（こみせ）維持のための利用方策の波及効果を検証するもので、町並み景観、歩行者の快適性、車の利用者に対する利便性を検証する。9月13日

藤崎町 14日まで水墨画展

藤崎町にある常盤ふもと資料館あすか（小笠原野郎邸）で、5日からあすか水墨画展が開かれている。作品展が開かれている。14日まで。

あすか水墨画会（高木能子代表）が同級で開く画展は今年で7回目。会員20人と講師の横山好美さん（八戸市）が計55点を出展した。

動物、花、人物、風景など多彩な作品が並び、女性が描いたものが多く、今年には風景も多く出品されている。高木代表は、「同会の鈴木能子さんは、会員全員が描きたいものを自分で選んで描いている。観望に行くと描いた人もいれば、

せまふりは今年、市制施行60周年を記念し、「市民が主役/手づくりのまちなか文化祭」として盛り上げる。13、14日に行うこみ

防団の開設式13日のほか、津軽民謡、道歌、見学、よさこい演舞などの数多くのイベントで、にぎわいを演出する。

「西谷家」で集客実験

黒石市で仮設こみせも検証

黒石こみせまつり初の効果を検証する。13日、黒石市中心商店街の西谷家に仮設こみせを設け、二つの事業がスタートする。観光拠点として期待される旧・松の湯重要伝統的建造物群保存地区にある「西谷の家」で行う集客実験。控え、両施設をつなぐ中心商店街の活性化が狙い。

黒石こみせまつり初の効果を検証する。13日、黒石市中心商店街の西谷家に仮設こみせを設け、二つの事業がスタートする。観光拠点として期待される旧・松の湯重要伝統的建造物群保存地区にある「西谷の家」で行う集客実験。控え、両施設をつなぐ中心商店街の活性化が狙い。

西谷家は1913年に弘前から移築されたと伝えられる伝統的建造物。通りを挟んで並ぶ旧・松の湯のオープン時に、市民や観光客が立ち寄れる場所としての可能性を探る。12日のフレオープンでは、手作りのキャンドルやプロトチを販売。同会の村上陽心会長は「街歩き途中に寄ったり、車を止めて訪れたりする人もいた」と手応えを語った。

仮設こみせは市が昨年度行った「こみせ」再生提案競技で提案されたものの一つで、国の歴史的風致維持推進等調査事業を活用して通称・ソフニ跡地に設置。防火地域に指定されているため鉄骨造り

2万件の不正ログイン被害

JR東日本は12日、インターネットサービス「MY JR EAST」のサイトに大量のアクセスがあり、約2万件の不正ログイン被害があったと発表した。

JR東日本は12日、インターネットサービス「MY JR EAST」のサイトに大量のアクセスがあり、約2万件の不正ログイン被害があったと発表した。

①数字選択式全国自治体くじ75回口7 (12日、東京宝くじドリーム館)

【本数字】	04	09	15	17	19	35	37
【ボーナス数字】	10	20					
○1等			434	459	600	700	700
○2等			12	033	700	700	700

だが、一部を木材で覆って雰囲気を出した。延長13メートル、高さは最大3.8メートル。市は来年2月8日まで設置することとし、訪れた人や周辺住民を対象に景観性、快適性などについてアンケートを行い、適切にこみせの再生効果を検証する。(鶴海学)

2. アンケートの実施

1) アンケートの実施について

概要

	日時	方法など	回答数
こみせ祭り	2014年9月13日(土) 14日(日)	・調査員による街頭アンケート ・イベントの来訪者を対象に実施	228通
きのご祭り	2014年10月12日(日)	・調査員による街頭アンケート ・イベントの来訪者を対象に実施	9通
景観フォーラム まち歩き	2014年11月9日(日)	・調査員による街頭アンケート ・まち歩き参加者を対象に実施	15通
地元地権者への 個別訪問	2014年12月8日(月) 9日(火) 不在の方は、17日(水) ~22日(月)に訪問	・調査員による個別訪問によるアンケート(ヒアリング含む) ・横町の地元住民(地権者)を対象に実施	25通
旧正マッコ市	2015年2月1日(日)	・調査員による街頭アンケート ・イベントの来訪者を対象に実施	59通
合計			336通

アンケート調査の項目

アンケート調査の項目は、回答者の属性に加え、こみせ設置の評価やデザイン、自動車の利便性等を確認するとともに、横町におけるこみせ再生への期待やデザインのあり方等を把握することとする。また、旧正マッコ市で行ったアンケートでは、冬期間に設置した雪よけの部(しとみ)に関する意見も伺った。

アンケート項目			
回答者の属性			
性別	年齢	住所	属性
仮設こみせ等の評価		横町でのこみせ再生等の意見	
問1	こみせの認知度	問6	今後の横町でのこみせ再生
問2	仮設こみせの設置について	問7	こみせを再生するメリット
問3	仮設こみせに設置した花やベンチ	問8	再生するこみせの形態
問4	こみせのデザインについて		
4-1	観光PRや案内サインを施した部について		
4-2	部を模した棚について		
問5	こみせの様式と車の関係		

問4-1、4-2は、冬期(旧正マッコ市)のみ

[参考:こみせ祭りにおけるアンケートの実施概要]

日 時：2014年10月13日(土) 14日(日) こみせ祭り期間中 10時～16時

場 所：横町ソフニ書店跡地

方 法：調査員による街頭アンケート

- ・仮設こみせ入口で所用を終えた来訪者に声を掛け、アンケートの協力を要請
- ・来訪者に昨年度のコンペ成果のパネルにより経緯を説明し、仮設こみせの概要を伝えながら、アンケート設問を伝え、回答を得た
- ・調査員は、調査票に氏名、通し番号、記入時間を記入

回答数：228通(13日：120通、14日108通)

写真 3-2 こみせ祭りと街頭アンケートの様子



イベント会場として利用されている様子
好天に恵まれ、多くの来訪者が訪れた



アンケートの様子
こみせの壁面には平成25年度に実施した提案募集のパネルを掲示した。



今後のこみせ活用のヒントを得るため、花やベンチを設置し、来訪者に意見を聞いた



アンケートの様子
こみせのデザインについて意見を聞くため、柱は、鉄骨と木で覆った木造風の仕上げとした

[参考:旧正マッコ市におけるアンケートの実施概要]

日 時：2015年2月1日(日) 旧正マッコ市期間中 10時～14時

場 所：横町ソフニ書店跡地

方 法：調査員による街頭アンケート

- ・仮設こみせ入口で所用を終えた来訪者に声を掛け、アンケートの協力を要請
- ・来訪者に昨年度のコンペ成果のパネルにより経緯を説明し、仮設こみせの概要を伝えながら、アンケート設問を伝え、回答を得た
- ・調査員は、調査票に氏名、通し番号、記入時間を記入

回答数：59通

写真3-3 旧正マッコ市と街頭アンケートの様子



イベント会場として利用されている様子
冬季の活用アイデアについて意見を聞くため、観光PRや案内サインを施した雪よけの蓐を設置した



仮設こみせに隣接する空き店舗前に蓐のデザインを模した棚を設置し、意見を聞いた



アンケートの様子



アンケートの様子

仮設こみせアンケート

記入者：

番号：

性別	1. 男 2. 女
年齢	1. 30歳未満 2. 30～40歳代 3. 50～60歳代 4. 70歳以上
住所	1. 市内（まちなか） 2. 市内（まちなか以外） 3. 津軽地域 4. 青森県内 5. 青森県外
属性	1. 来訪者 2. イベント関係者 3. 地域住民 4. その他

仮設こみせ等の評価

- 問1 黒石市のまちなかのシンボルの1つが「こみせ」であることはご存知ですか
1. よく知っている 2. 少し知っている 3. 知らない
- 問2 この敷地（横町広場）にこみせが設置されたことについてどう思いますか
1. 非常によい 2. 良い 3. あまり良くない 4. どちらともいえない
(理由：)
- 問3 こみせに設置した花やベンチはどう思いますか(理由：)
1. 花が良い 2. ベンチが良い 3. ともに良くない
- 問4 こみせのデザインはどう思いますか(理由：)
1. 木造の仕上げが良い 2. 鉄骨の仕上げが良い 3. どちらでも良い
- 問5 こみせの様式と車の利便性はどう感じますか
1. 全く不便ではない 2. やや不便を感じる 3. 大変に不便である
4. わからない 5. その他 ()

横町でのこみせ再生等の意見

- 問6 今後、横町でこみせを再生することについてどう思いますか
1. 積極的に再生してほしい 2. 可能であれば再生してほしい
3. 再生する必要はない
(理由：)
- 問7 こみせを再生することのメリットはどう思いますか
1. 歴史的なまち並み景観が再生される 2. まちなかの賑わいにつながる
3. 日常生活の利便性が向上する 4. メリットはない
5. その他 ()
- 問8 再生するこみせは、どのような形態が望ましいと思いますか
1. 中町のような伝統的な形態・デザインが良い
2. 伝統的な形態・デザインではなくてよいが、通りとしてある程度は統一したデザインが良い
3. 通りの統一感は必要がなく、こみせと建築物のデザインが調和していれば良い
4. こみせのデザインは敷地ごとにバラバラが良い
5. その他 ()
6. わからない

調査票記入時間： 時 分

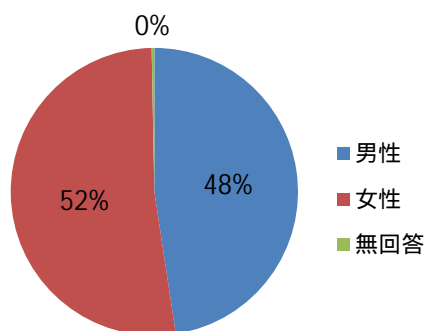
2) アンケートの結果概要

単純集計

1. 回答者の属性

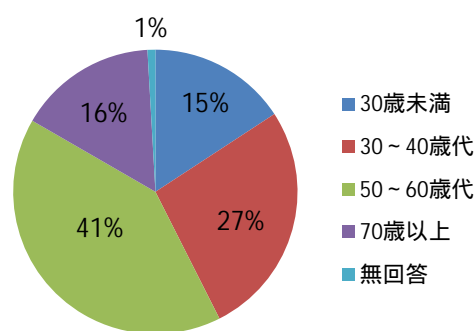
1) 性別	:	1. 男	2. 女			
2) 年齢	:	1. 30歳未満	2. 30~40歳代	3. 50~60歳代	4. 70歳以上	
3) 住所	:	1. 市内(まちなか)	2. 市内(まちなか以外)	3. 津軽地域	4. 青森県内	5. 青森県外
4) 属性	:	1. 来訪者	2. イベント関係者	3. 地域住民	4. その他	

1) 性別 (N=336)



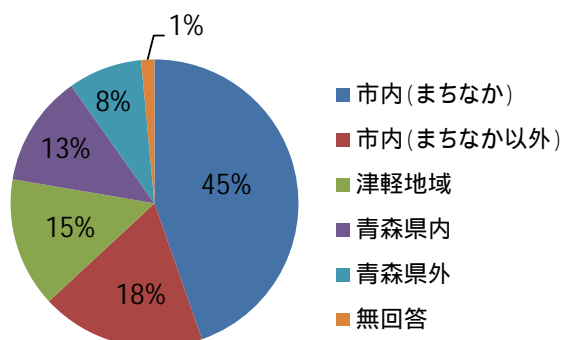
・男性、女性がほぼ半数ずつとなっている。

2) 年齢 (N=336)



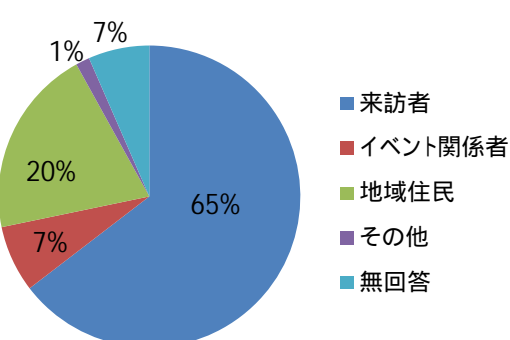
・50歳以上が半数以上(58%)を占めているものの、50歳未満も42%であり、幅広い世代の意見を収集することができた。

3) 住所 (N=336)



・市内(まちなか)が45%と最も多く、次いで市内(まちなか以外)が18%、合わせると約6割(63%)が市内となっている。

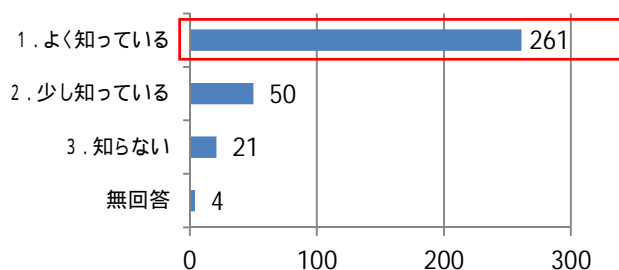
4) 属性 (N=336)



・来訪者が66%と最も多い。
・地域住民は、20%であった。

2. 仮設こみせ等の評価

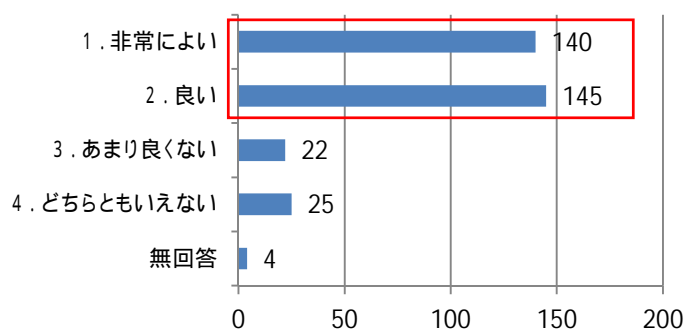
問1 黒石市のまちなかのシンボルの1つが「こみせ」であることはご存知ですか。(N=336)



選択肢項目	回答数	割合
1. よく知っている	261	77.7%
2. 少し知っている	50	14.9%
3. 知らない	21	6.3%
無回答	4	1.2%

・ 8割近くが「1. よく知っている」と回答しており、「2. 少し知っている」と合わせると、9割以上が黒石市のまちなかのシンボルの1つとして「こみせ」を認識している。

問2 この敷地（横町広場）にこみせが設置されたことについてどう思いますか。(N=336)



選択肢項目	回答数	割合
1. 非常によい	140	41.7%
2. 良い	145	43.2%
3. あまり良くない	22	6.5%
4. どちらともいえない	25	7.4%
無回答	4	1.2%

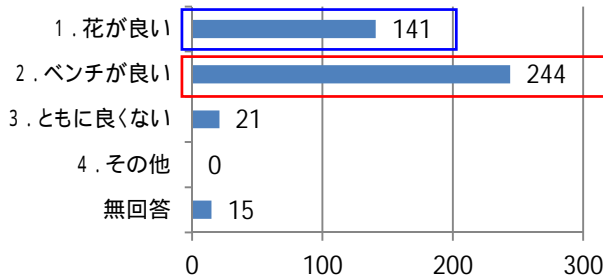
・ 「1. 非常によい」、「2. 良い」がそれぞれ41.7%、43.2%であり、9割近く（約85%）が仮設こみせが設置されたことについて、好ましいと感じている。

回答の理由（抜粋）

回答	主なご意見
1. 非常によい	<ul style="list-style-type: none"> ・ 空き地をうまく利用している ・ 黒石らしさが出る ・ 人が集まるきっかけになる
2. 良い	<ul style="list-style-type: none"> ・ 天候を気にせず休憩できる場所があってよい ・ 横町の特徴の一つとなりうる ・ 砂利は歩きにくいのでコンクリートの方がよいのでは。看板がないとこみせの奥が何かわからない。
3. あまり良くない	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中途半端に感じる ・ つながりがいい。店がない。
4. どちらともいえない	<ul style="list-style-type: none"> ・ ベンチに座ったがこみせだと気付かなかった ・ こみせだと思わなかった

問3 こみせに設置した花やベンチはどう思いますか (N=336)

複数回答可



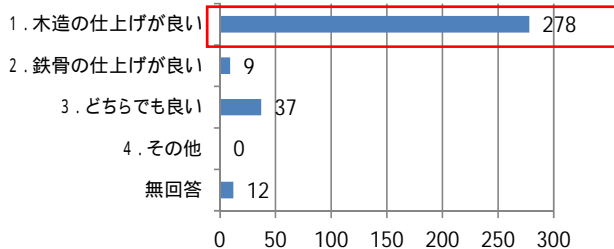
選択肢項目	回答数	割合
1. 花が良い	141	33.5%
2. ベンチが良い	244	58.0%
3. ともに良くない	21	5.0%
4. その他	0	0.0%
無回答	15	3.6%

・「2. ベンチが良い」が58.8%と最も多く、約6割が好ましいと回答している。次いで、「1. 花が良い」が35.6%であった。

回答の理由 (抜粋)

回答	主なご意見
1. 花が良い	<ul style="list-style-type: none"> ・さつなぎにつけたほうが良い ・花自体を飾ることは良いが、もっと大きいものを飾るべき
2. ベンチが良い	<ul style="list-style-type: none"> ・日陰にベンチがあるのはありがたい。利用したい。 ・ベンチや休めるスペースはもっとほしい ・アイデアをいかすことは良い ・花は手入れが大変。ベンチは助かる。
3. ともに良くない	<ul style="list-style-type: none"> ・さつなぎはそのままの方が良い。花をかけるものではない。 ・もっと大々的に設置しないと子供連れのみとは気づかない
4. その他	<ul style="list-style-type: none"> ・砂利が歩きづらい

問4 こみせのデザインはどう思いますか。(N=336)



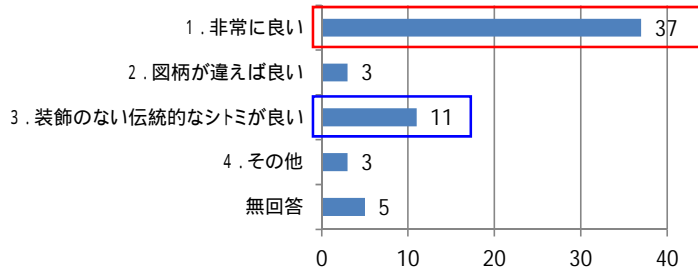
選択肢項目	回答数	割合
1. 木造の仕上げが良い	278	82.7%
2. 鉄骨の仕上げが良い	9	2.7%
3. どちらでも良い	37	11.0%
4. その他	0	0.0%
無回答	12	3.6%

・「1. 木造の仕上げが良い」が82.7%と最も多く、8割以上が好ましいと回答している。
 ・「2. 鉄骨の仕上げが良い」という回答はわずかであったが、「3. どちらでも良い」という回答と合わせると11.0%が鉄骨でも構わないと考えていることがわかる。

回答の理由 (抜粋)

回答	主なご意見
1. 木造の仕上げが良い	<ul style="list-style-type: none"> ・丈夫さも大事だが木造の方が、温かみや柔らかさがある ・なるべく本物に近いものにするべき ・歴史を感じる。趣がある。
2. 鉄骨の仕上げが良い	<ul style="list-style-type: none"> ・雪の影響を考慮すると鉄骨がよい
3. どちらでも良い	<ul style="list-style-type: none"> ・色が統一されているならどちらでもよい ・こみせの特徴が分かればどちらでもよい
4. その他	

問4 - 1 観光PRや案内サインを施した部はどう思いますか。(N=59)
冬期間(旧正マッコ市)のみの設問



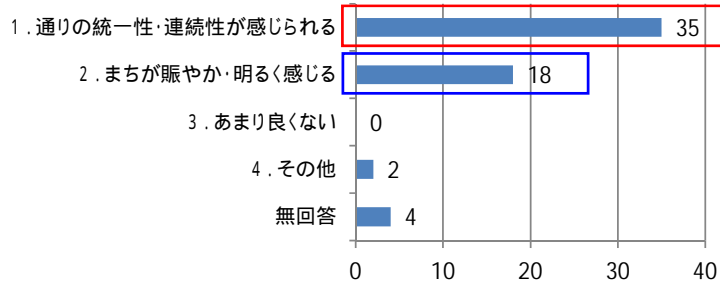
選択肢項目	回答数	割合
1.非常に良い	37	62.7%
2.図柄が違えば良い	3	5.1%
3.装飾のない伝統的なシトミが良い	11	18.6%
4.その他	3	5.1%
無回答	5	8.5%

・「1.非常に良い」が62.7%と最も多く、6割以上が好ましいと回答している。
・「3.装飾のない伝統的な部が良い」という回答も2割近く(18.6%)みられる。

回答の理由(抜粋)

回答	主なご意見
1.非常に良い	
2.図柄が違えば良い	
3.装飾のない伝統的な部が良い	
4.その他	<ul style="list-style-type: none"> ・小学生に絵を募集 ・アピールの仕方を考えるべき

問4 - 2 隣接した空き店舗に設置した部を模した棚はどう思いますか。(N=59)
冬期間(旧正マッコ市)のみの設問



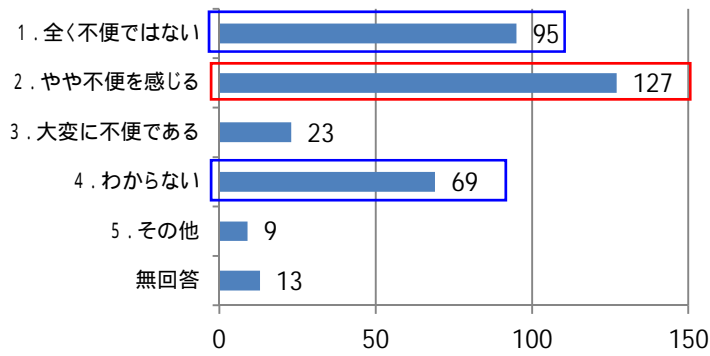
選択肢項目	回答数	割合
1.通りの統一性・連続性が感じられる	35	59.3%
2.まちが賑やか・明るく感じる	18	30.5%
3.あまり良くない	0	0.0%
4.その他	2	3.4%
無回答	4	6.8%

・「1.通りの統一性・連続性が感じられる」が6割近く(59.3%)と最も多く、次いで「2.まちが賑やか・明るく感じる」が3割近く(30.5%)であった。
・「3.あまり良くない」という回答は見られなかった。

回答の理由(抜粋)

回答	主なご意見
1.通りの統一性・連続性が感じられる	
2.まちが賑やか・明るく感じる	
3.あまり良くない	
4.その他	<ul style="list-style-type: none"> ・気づかなかった

問5 こみせの様式と車の利便性はどう感じますか。(N=336)



選択肢項目	回答数	割合
1. 全く不便ではない	95	28.3%
2. やや不便を感じる	127	37.8%
3. 大変に不便である	23	6.8%
4. わからない	69	20.5%
5. その他	9	2.7%
無回答	13	3.9%

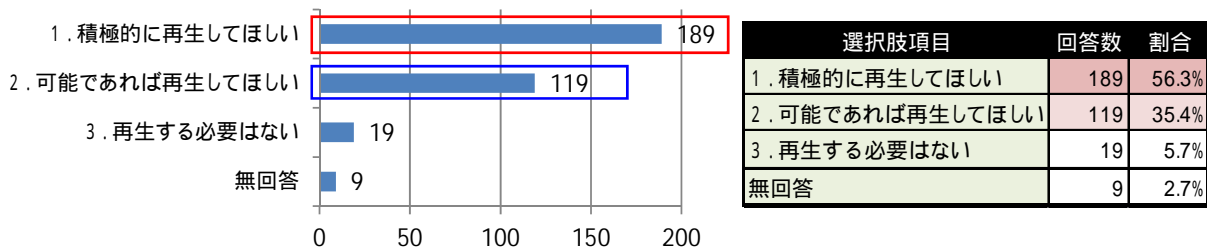
- ・「2. やや不便を感じる」が約4割(37.8%)と最も多く、次いで「1. 全く不便ではない」が約3割(28.3%)であった。
- ・当日は徒歩で訪れた方も多く、「4. わからない」という回答も約2割(20.5%)見られた。

回答の理由(抜粋)

回答	主なご意見
1. 全く不便ではない	<ul style="list-style-type: none"> ・普段も歩きなので特に不便は感じない ・車所有者がこみせに対応して、車所有者なりの利用方法を考えるべき ・高さを変えたり、空き地を利用することはよい
2. やや不便を感じる	<ul style="list-style-type: none"> ・イベントでここに来るため、どうしても駐車場には困る
3. 大変に不便である	<ul style="list-style-type: none"> ・駐車場がない。バスも通っていないので行くのも大変。 ・駐車場の場所がわかりづらい
4. わからない	<ul style="list-style-type: none"> ・車を運転しないからわからない ・車で買い物に来る人は少ないからわからない
5. その他	<ul style="list-style-type: none"> ・駐車場の確保が問題 ・車は通れないようにした方がよい ・利便性は考えなくてもよい ・車の時代のデザインがあってもよい

3. 横町でのこみせ再生等の意見

問6 今後、横町でこみせを再生することについてどう思いますか。(N=336)



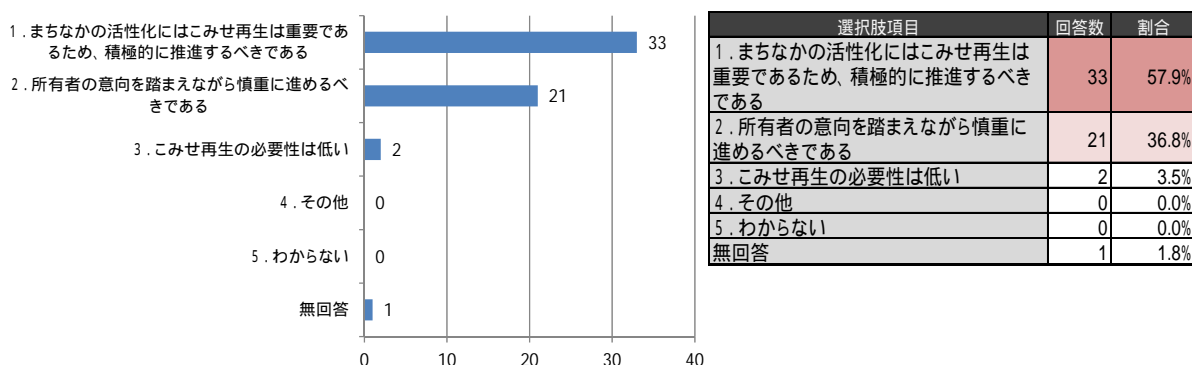
・「1.積極的に再生してほしい」が56.3%と最も多く、次いで「2.可能であれば再生してほしい」が35.4%であった。これらを合計すると、91.7%の方が横町でこみせを再生してほしいと考えていることがわかる。

回答の理由(抜粋)

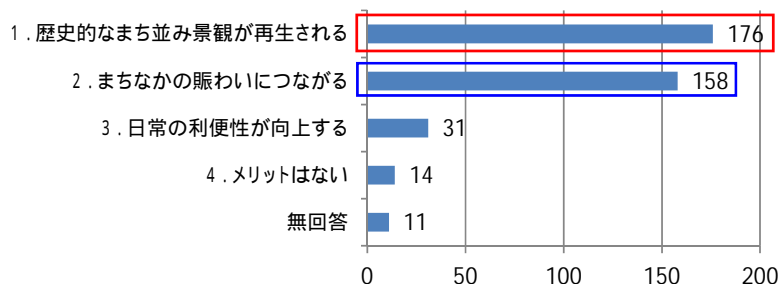
回答	主なご意見
1.積極的に再生してほしい	<ul style="list-style-type: none"> ・黒石らしさを取り戻せる。観光客の呼び込みにも効果的。 ・活気がないので、周辺も含めて盛り上げてほしい ・具体的な計画があるのなら再生することは良いと思う ・仮設をみてもっと横町にこみせが増えたらよいと思った
2.可能であれば再生してほしい	<ul style="list-style-type: none"> ・もっと着手すべきことがある。こみせ再生後にシャッター街を改善してほしい。 ・つながりのあるこみせがよい。市外の友人に紹介できる場所がほしい。
3.再生する必要はない	<ul style="list-style-type: none"> ・こみせより商店街を活性化する取り組みをしてほしい ・中町にあるため、横町には不要

参考：黒石市景観シンポジウム(平成25年1月)において実施したアンケートの類似設問の回答状況

問 今後、松の湯や金平成園の再生を契機に、中町のこみせ再生にあわせ、前町や横町のこみせを再生することについての意向(選択肢から1つ選択 n=57)



問7 こみせを再生することのメリットはどう思いますか。(N=336) 複数回答可



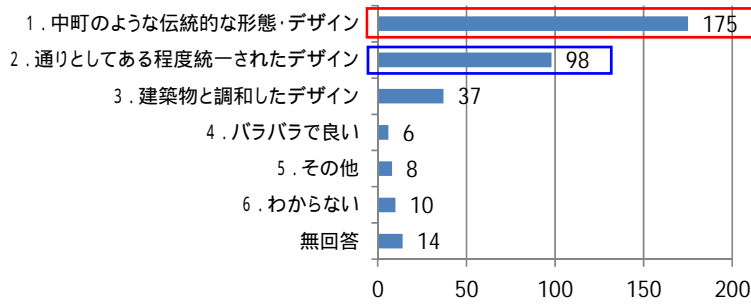
選択肢項目	回答数	割合
1. 歴史的なまち並み景観が再生される	176	45.1%
2. まちなかの賑わいにつながる	158	40.5%
3. 日常の利便性が向上する	31	7.9%
4. メリットはない	14	3.6%
無回答	11	2.8%

- ・「1. 歴史的なまち並み景観が再生される」が45.1%、「2. まちなかの賑わいにつながる」が40.5%とほぼ同数であった。
- ・何らかのメリットがあると考えている人は、93.6%であった。

回答の理由（抜粋）

回答	主なご意見
1. 歴史的なまち並み景観が再生される	<ul style="list-style-type: none"> ・黒石のシンボルになる ・はじめてこみせをみたが、面白い
2. まちなかの賑わいにつながる	<ul style="list-style-type: none"> ・こみせをつくってから若者の出店者などを呼ぶ ・定期的にイベントを実施して、まずは集客してほしい ・時代ごとの様式のコミセを混在させ、変化してきたこみせを見られる通りとする ・イベント時は便利だが普段は使わない。親子連れ向けに何か欲しい ・やるなら全体統一してやってほしい。ぽつぽつと店があってもいい
3. 日常の利便性が向上する	<ul style="list-style-type: none"> ・商店街との連携が大事。連続性がほしい。
4. メリットはない	<ul style="list-style-type: none"> ・こみせ再生だけではメリットはない ・横町には不要、地域住民にとってはメリットはない

問8 再生するこみせは、どのような形態が望ましいと思いますか (N=336) 複数回答可



選択肢項目	回答数	割合
1. 中町のような伝統的な形態・デザイン	175	50.3%
2. 通りとしてある程度統一されたデザイン	98	28.2%
3. 建築物と調和したデザイン	37	10.6%
4. バラバラで良い	6	1.7%
5. その他	8	2.3%
6. わからない	10	2.9%
無回答	14	4.0%

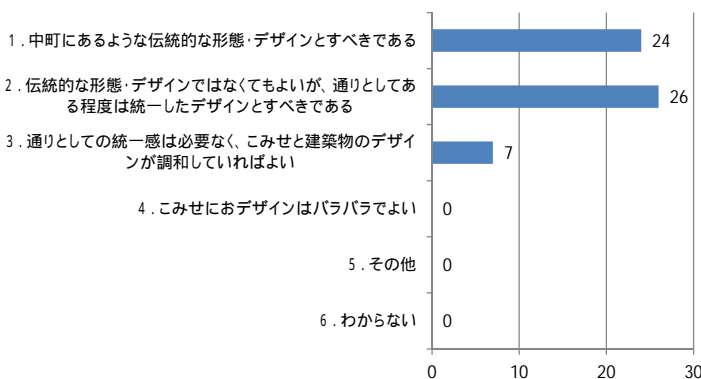
・「1. 中町のような伝統的な形態・デザイン」が50.3%と最も多く、次いで「2. 通りとしてある程度統一されたデザイン」が28.2%であった。
 ・「3. バラバラで良い」という回答は、1.7%であった。

回答の理由 (抜粋)

回答	主なご意見
1. 中町のような伝統的な形態・デザイン	<ul style="list-style-type: none"> ・伝統的なものが基本。ただのアーケードになってしまう。 ・長い距離で統一感が欲しい ・こみせ祭りというからには、横町もこみせをそろえて再生すべき。 ・新旧のこみせの混在に違和感のないようにする必要がある
2. 通りとしてある程度統一されたデザイン	<ul style="list-style-type: none"> ・伝統的なものを真似しても意味がない ・そこまでがっちり合わせなくても統一感があればよい
3. 建築物と調和したデザイン	
4. バラバラでよい	<ul style="list-style-type: none"> ・安い材料費でつなげるのもよいのでは。 ・中町(江戸)前町(昭和初期)横町(昭和40年代)それぞれのこみせがあったはずなので、時代ごとのデザインが見られるようになるとうい
5. その他	<ul style="list-style-type: none"> ・こみせということがわかりやすいデザインが必要 ・人がいないのにやる必要があるのか
6. わからない	<ul style="list-style-type: none"> ・想像しにくい

参考：黒石市景観シンポジウム(平成25年1月)において実施したアンケートの類似設問の回答状況

問 前町・横町で再生するこみせは、どのような形態が望ましいか(選択肢から1つ選択 n=57)



選択肢項目	回答数	割合
1. 中町にあるような伝統的な形態・デザ	24	42.1%
2. 伝統的な形態・デザインではなくてもよいが、通りとしてある程度は統一したデザインとすべきである	26	45.6%
3. 通りとしての統一感は必要なく、こみせと建築物のデザインが調和していればよい	7	12.3%
4. こみせにおデザインはバラバラでよい	0	
5. その他	0	
6. わからない	0	

クロス集計

単純集計に加えて、以下のクロス集計を行い、より詳細な検討を行うための基礎的な材料とする。

() 年齢×問1～問8

各設問と年齢とのクロス集計を行うことで、年齢層による意識の違いや傾向がみられるかを把握する

() 住所×問1～問8

各設問と住所とのクロス集計を行うことで、市内のまちなか、まちなか以外、また市内以外にお住まいの方の意識の違いや傾向がみられるかを把握する

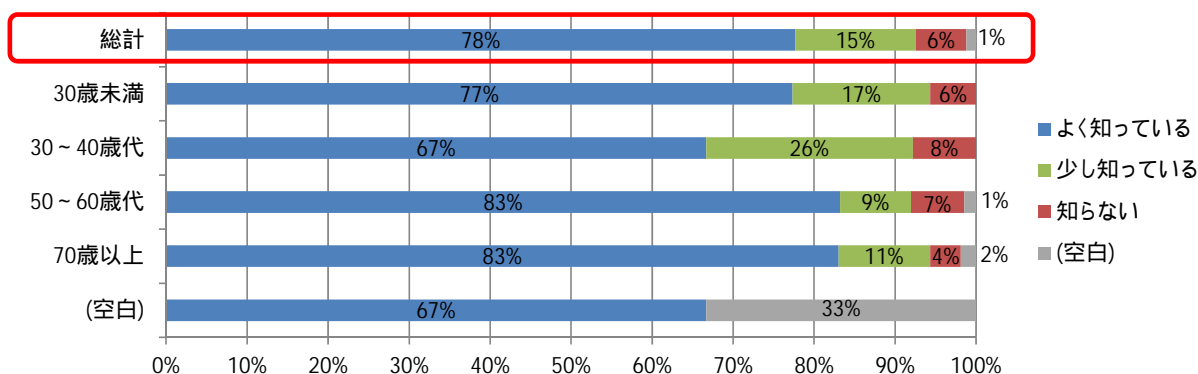
() 属性×問1～問8

各設問と住所とのクロス集計を行うことで、立場や関わり方の違いによる意識の違いや傾向がみられるかを把握する

グラフの数値は、小数点第1位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合がある。

() 年齢×問1～問8

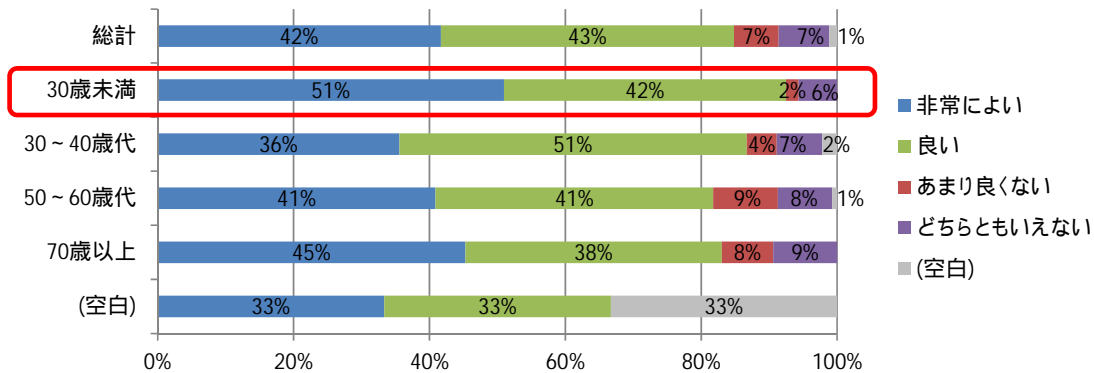
問1 黒石市のまちなかのシンボルの1つが「こみせ」であることはご存知ですか。(N=336)



属性	よく知っている	少し知っている	知らない	(空白)	総計
30歳未満	41	9	3		53
30～40歳代	60	23	7		90
50～60歳代	114	12	9	2	137
70歳以上	44	6	2	1	53
(空白)	2			1	3
総計	261	50	21	4	336

- ・全ての年代において「1.よく知っている」、「2.少し知っている」と合わせると、9割以上が黒石市のシンボルとしてこみせを認識している。
- ・特に50歳代以上は「1.よく知っている」と回答した割合が高くなっている。

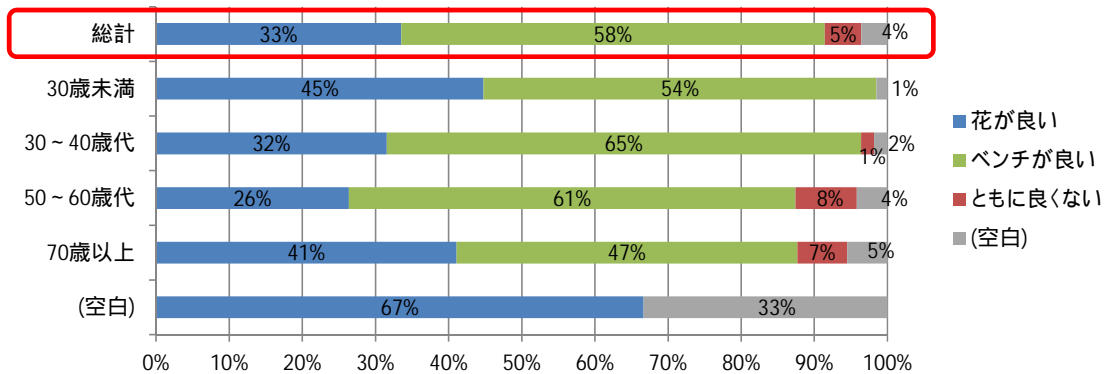
問2 この敷地（横町広場）にこみせが設置されたことについてどう思いますか。（N=336）



属性	非常によい	良い	あまり良くない	どちらともいえない	(空白)	総計
30歳未満	27	22	1	3		53
30～40歳代	32	46	4	6	2	90
50～60歳代	56	56	13	11	1	137
70歳以上	24	20	4	5		53
(空白)	1	1			1	3
総計	140	145	22	25	4	336

・「1. 非常によい」、「2. 良い」を合わせると、50～60歳代、70歳以上は約8割、30～40歳代、30歳未満は約9割が仮設こみせが設置されたことについて、好ましいと感じている。
 ・年代が高齢になるにつれて、「3. あまり良くない」、「4. どちらともいえない」と回答した割合が高くなる傾向がみられる。

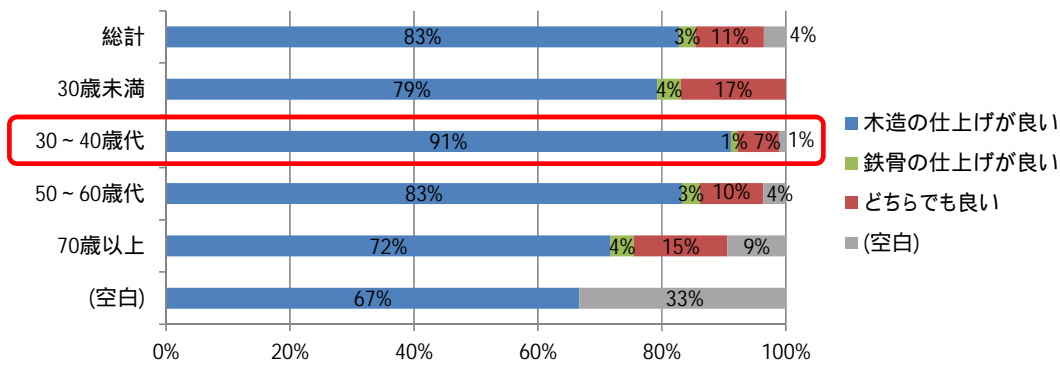
問3 こみせに設置した花やベンチはどう思いますか（N=336） 複数回答可



属性	花が良い	ベンチが良い	ともに良くない	(空白)	総計
30歳未満	30	36		1	67
30～40歳代	35	72	2	2	111
50～60歳代	44	102	14	7	167
70歳以上	30	34	5	4	73
(空白)	2			1	3
総計	141	244	21	15	421

・全体的に「2. ベンチが良い」が最も多く、次いで、「1. 花が良い」という回答が多い傾向にあり、30～40歳代では「2. ベンチが良い」と回答した割合が最も高くなっている。

問4 こみせのデザインはどう思いますか。(N=336)

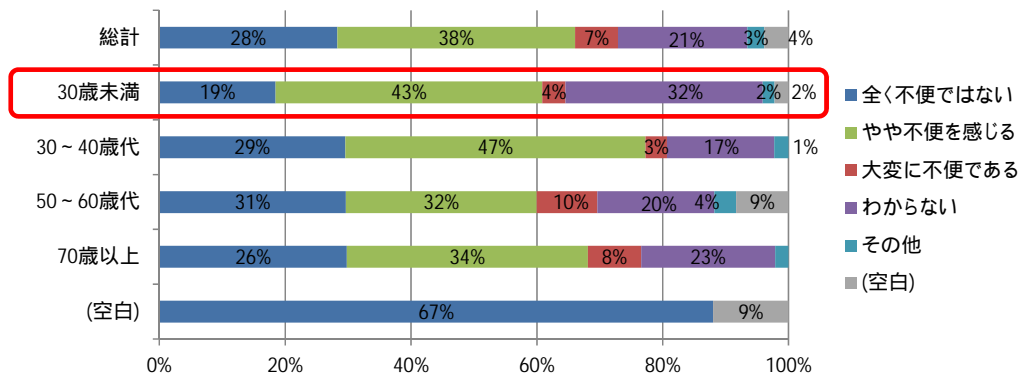


属性	木造の仕上げが良い	鉄骨の仕上げが良い	どちらでも良い	(空白)	総計
30歳未満	42	2	9		53
30～40歳代	82	1	6	1	90
50～60歳代	114	4	14	5	137
70歳以上	38	2	8	5	53
(空白)	2			1	3
総計	278	9	37	12	336

・「1. 木造の仕上げが良い」が最も多く、7割～9割以上が好ましいと回答しており、特に30～40歳代では9割以上が回答している。

・「2. 鉄骨の仕上げがよい」、「3. どちらでもよい」を合わせると、70歳以上では約3割、30歳未満、50～60歳代では約2割、30～40歳代では約1割の方が、木造以外の仕上げでもよいと回答している。

問5 こみせの様式と車の利便性はどう感じますか。(N=336)



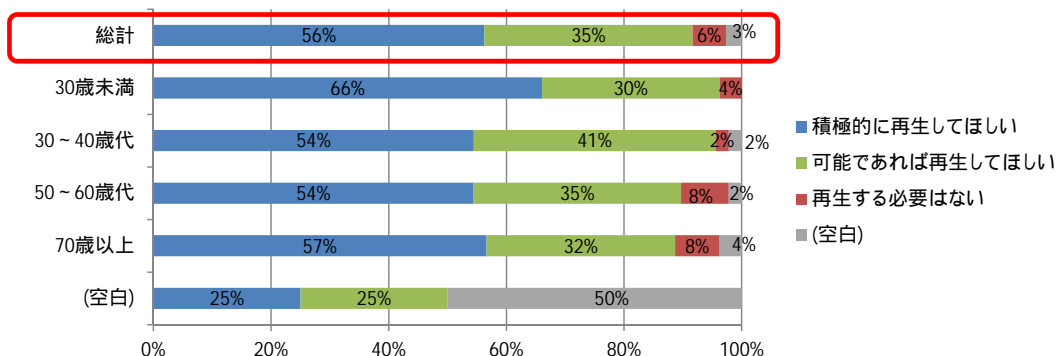
属性	全く不便ではない	やや不便を感じる	大変に不便である	わからない	その他	(空白)	総計
30歳未満	10	23	2	17	1		53
30～40歳代	26	42	3	15	2	2	90
50～60歳代	43	44	14	27	5	4	137
70歳以上	14	18	4	10	1	6	53
(空白)	2					1	3
総計	95	127	23	69	9	13	336

・「1. 全く不便ではない」と回答した人の割合は、30歳未満では最も少なく、その他の世代では約3割となっている

・「2. やや不便を感じる」、「3. 大変に不便である」を合わせると、各年齢層で4割以上が不便であると回答している。

3. 横町でのこみせ再生等の意見

問6 今後、横町でこみせを再生することについてどう思いますか。(N=336)

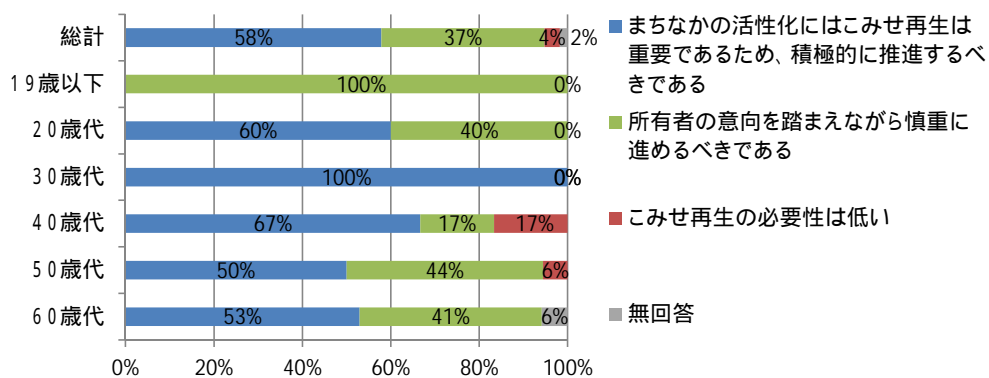


属性	積極的に再生してほしい	可能であれば再生してほしい	再生する必要はない	(空白)	総計
30歳未満	35	16	2		53
30~40歳代	49	37	2	2	90
50~60歳代	74	48	11	3	136
70歳以上	30	17	4	2	53
(空白)	1	1		2	4
総計	189	119	19	9	336

・各年齢層で「1. 積極的に再生してほしい」が最も多く、次いで「2. 可能であれば再生してほしい」が多く、それぞれの回答を合わせると年齢に関係なく約9割が横町でこみせを再生してほしいと回答している。

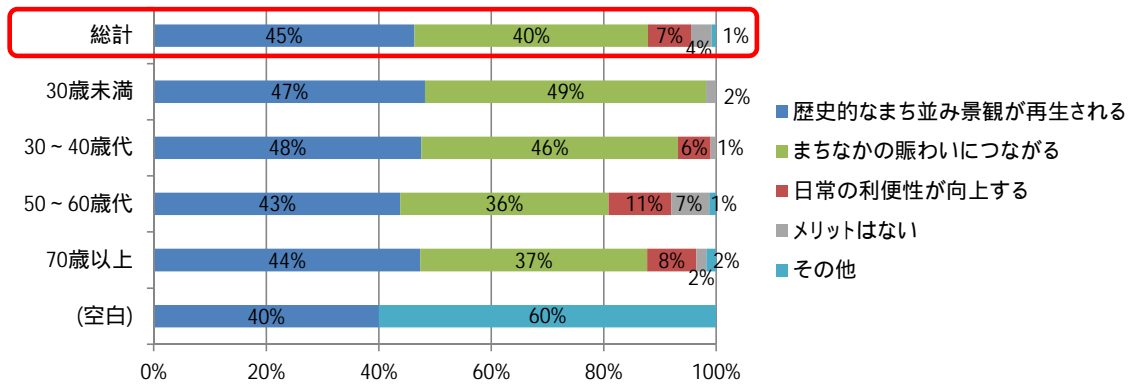
参考：黒石市景観シンポジウム（平成25年1月）において実施したアンケートの類似設問の回答状況

問 今後、松の湯や金平成園の再生を契機に、中町のこみせ再生にあわせ、前町や横町のこみせを再生することについての意向（選択肢から1つ選択 n=57）



属性	まちなかの活性化にはこみせ再生は重要であるため、積極的に推進するべきである	所有者の意向を踏まえながら慎重に進めるべきである	こみせ再生の必要性は低い	無回答	総計
19歳以下			1		1
20歳代		6	4		10
30歳代		5			5
40歳代		4	1	1	6
50歳代		9	8	1	18
60歳代		9	7	1	17
総計		33	21	2	57

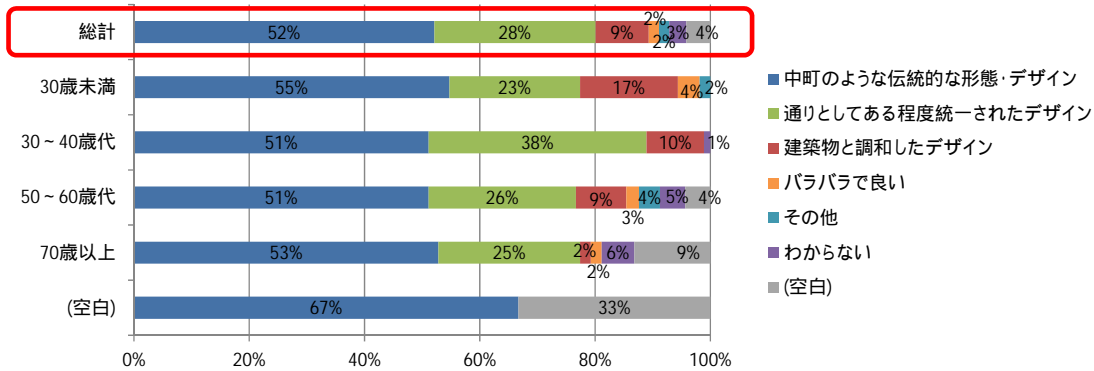
問7 こみせを再生することのメリットはどう思いますか。(N=336) 複数回答可



属性	歴史的なまち並み景観が再生される	まちなかの賑わいにつながる	日常の利便性が向上する	メリットはない	その他	(空白)	総計
30歳未満	27	28	0	1	1	1	57
30~40歳代	49	47	6	1	0	0	103
50~60歳代	71	60	18	11	2	4	166
70歳以上	27	23	5	1	1	5	62
(空白)	2	0	0	0	0	3	5
総計	176	158	29	14	3	13	393

- ・各年齢層で「1. 歴史的なまち並み景観が再生される」、「2. まちなかの賑わいにつながる」がそれぞれほぼ半数となっている。
- ・50~60歳代では、「3. 日常の利便性が向上する」と回答した人の割合が、他の年齢層よりも高くなっている。

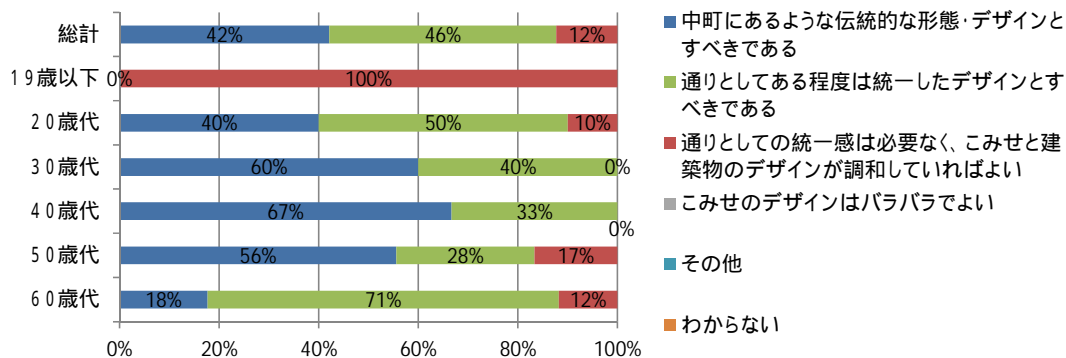
問8 再生するこみせは、どのような形態が望ましいと思いますか (N=336) 複数回答可



属性	中町のような伝統的な形態・デザイン	通りとしてある程度統一されたデザイン	建築物と調和したデザイン	パラバラで良い	その他	わからない	(空白)	総計
30歳未満	24	8	8	2	1			43
30～40歳代	35	27	7			1		70
50～60歳代	63	29	8	3	5	6	4	118
70歳以上	23	12	1			3	4	43
(空白)	2						1	3
総計	147	76	24	5	6	10	9	277

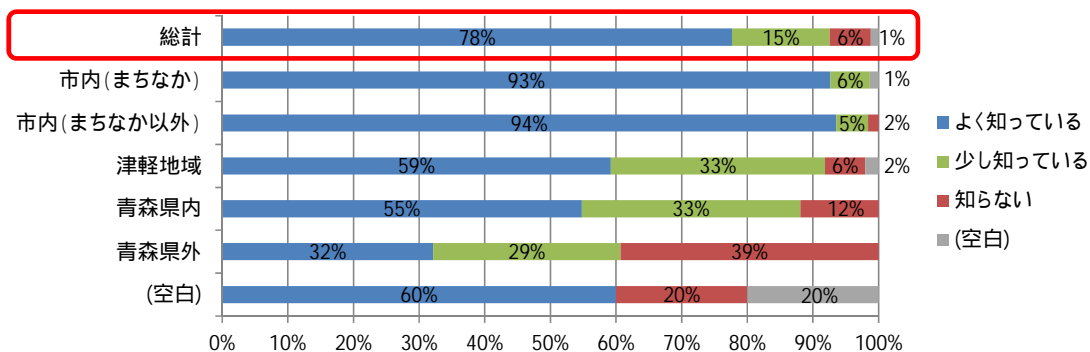
- ・すべての年齢層で「1. 中町のような伝統的な形態・デザイン」が最も多く、5割以上が回答している。
- ・30～40歳代では、「2. 通りとしてある程度統一されたデザイン」という回答が約4割であり、他の年齢層よりも高くなっている。
- ・30歳未満の比較的若い年齢層において「3. 建築物と調和したデザイン」という回答も一定数みられる。

参考：黒石市景観シンポジウム（平成25年1月）において実施したアンケートの類似設問の回答状況
 問 前町・横町で再生するこみせは、どのような形態が望ましいか（選択肢から1つ選択 n=57）



属性	中町にあるような伝統的な形態・デザインとすべきである	通りとしてある程度は統一したデザインとすべきである	通りとしての統一感はいらなく、こみせと建築物のデザインが調和していればよい	こみせのデザインはパラバラでよい	その他	わからない	総計
19歳以下				1			1
20歳代	4	5		1			10
30歳代	3	2					5
40歳代	4	2					6
50歳代	10	5	3				18
60歳代	3	12	2				17
総計	24	26	7				57

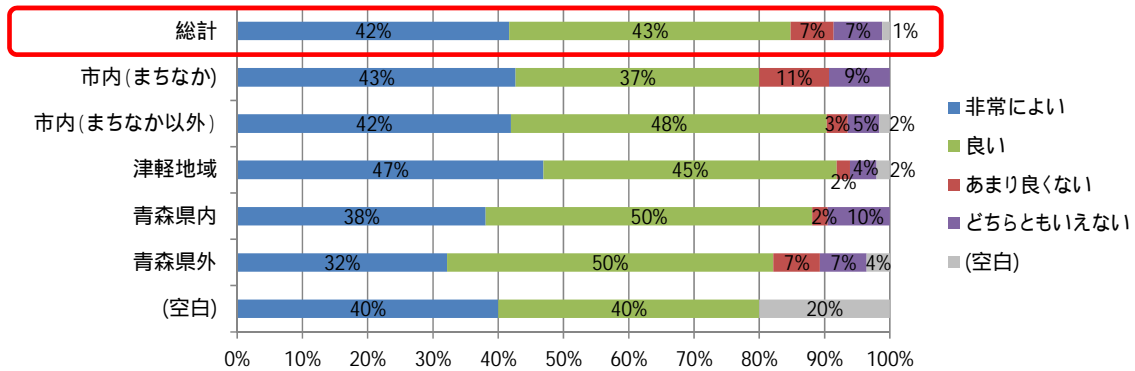
問1 黒石市のまちなかのシンボルの1つが「こみせ」であることはご存知ですか。(N=336)



	よく知っている	少し知っている	知らない	(空白)	総計
市内(まちなか)	139	9		2	150
市内(まちなか以外)	58	3	1		62
津軽地域	29	16	3	1	49
青森県内	23	14	5		42
青森県外	9	8	11		28
(空白)	3		1	1	5
総計	261	50	21	4	336

- ・まちなか、まちなか以外ともに、市内は9割以上が「1. よく知っている」と回答しており、「2. 少し知っている」と合わせると、98%～99%が黒石市のまちなかのシンボルの1つとして「こみせ」を認識している。
- ・「1. よく知っている」、「2. 少し知っている」を合わせると、津軽地域、青森県内は約9割、青森県外は約6割が知っていると回答している。

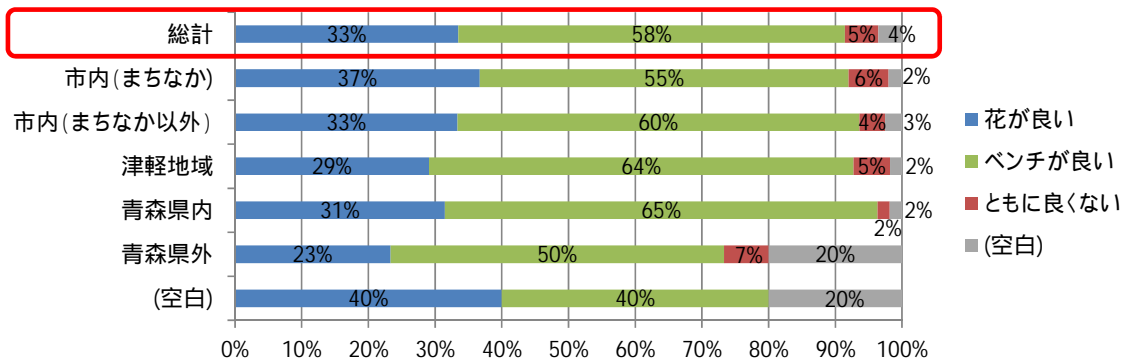
問2 この敷地（横町広場）にこみせが設置されたことについてどう思いますか。（N=336）



住所	非常によい	良い	あまり良くない	どちらともいえない	(空白)	総計
市内(まちなか)	64	56	16	14		150
市内(まちなか以外)	26	30	2	3	1	62
津軽地域	23	22	1	2	1	49
青森県内	16	21	1	4		42
青森県外	9	14	2	2	1	28
(空白)	2	2			1	5
総計	140	145	22	25	4	336

・「1.非常によい」、「2.良い」を合わせると、市内(まちなか) 青森県外は約8割、市内(まちなか以外) 津軽地域、青森県内は約9割が仮設こみせが設置されたことについて、好ましいと感じている。

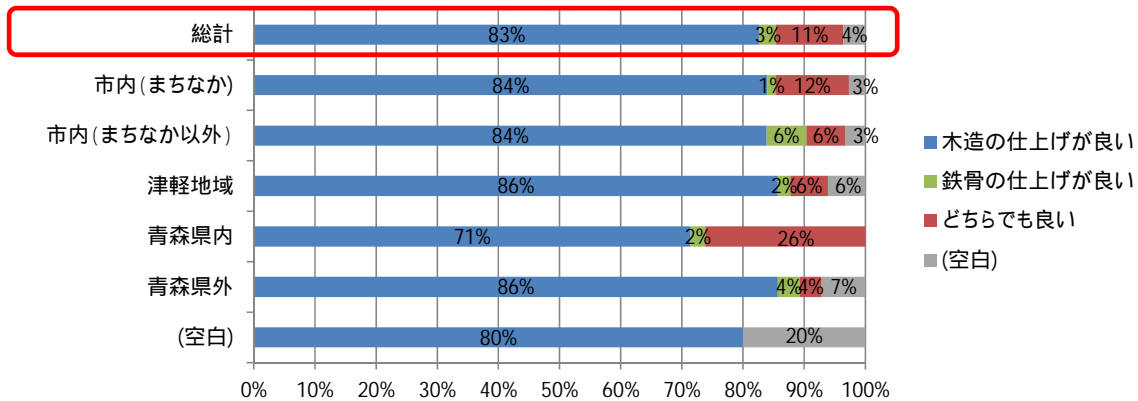
問3 こみせに設置した花やベンチはどう思いますか（N=336） 複数回答可



住所	花が良い	ベンチが良い	ともに良くない	(空白)	総計
市内(まちなか)	73	110	12	4	199
市内(まちなか以外)	26	47	3	2	78
津軽地域	16	35	3	1	55
青森県内	17	35	1	1	54
青森県外	7	15	2	6	30
(空白)	2	2		1	5
総計	141	244	21	15	421

・全体的に「2.ベンチが良い」が最も多く、次いで、「1.花が良い」という回答が多い傾向がみられる。

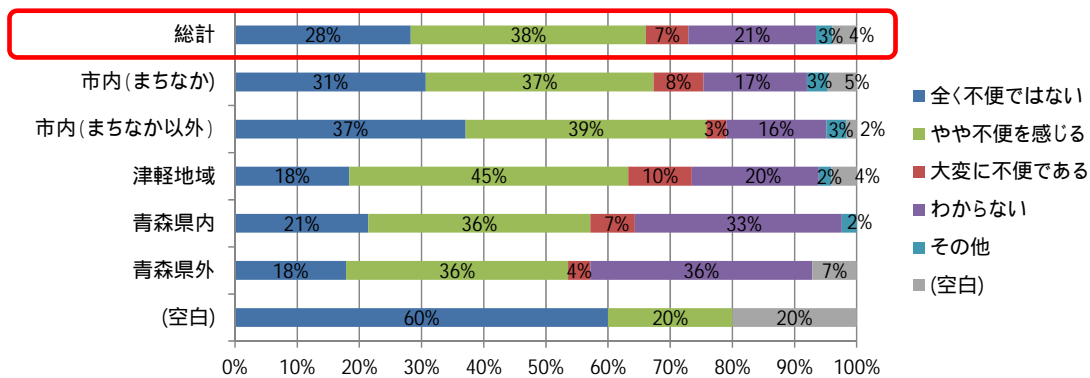
問4 こみせのデザインはどう思いますか。(N=336)



住所	木造の仕上げが良い	鉄骨の仕上げが良い	どちらでも良い	(空白)	総計
市内(まちなか)	126	2	18	4	150
市内(まちなか以外)	52	4	4	2	62
津軽地域	42	1	3	3	49
青森県内	30	1	11		42
青森県外	24	1	1	2	28
(空白)	4			1	5
総計	278	9	37	12	336

・「1. 木造の仕上げが良い」が最も多く、7割～9割以上が好ましいと回答している。
 ・「2. 鉄骨の仕上げがよい」、「3. どちらでもよい」を合わせると、青森県内では約3割、市内(まちなか) 市内(まちなか以外)では約2割の方が、木造以外の仕上げでもよいと回答している。

問5 こみせの様式と車の利便性はどう感じますか。(N=336)

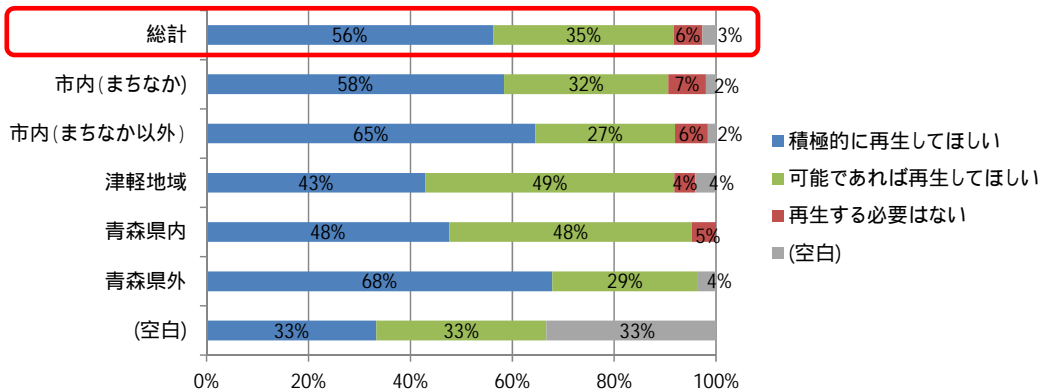


住所	全く不便ではない	やや不便を感じる	大変に不便である	わからない	その他	(空白)	総計
市内(まちなか)	46	55	12	25	5	7	150
市内(まちなか以外)	23	24	2	10	2	1	62
津軽地域	9	22	5	10	1	2	49
青森県内	9	15	3	14	1		42
青森県外	5	10	1	10		2	28
(空白)	3	1				1	5
総計	95	127	23	69	9	13	336

・市内では約3割、市内以外では約2割が「1. 全く不便ではない」と回答しており、市内以外よりも市内の方が不便を感じている人は少ない傾向がみられる。
 ・また、市内以外の方や、当日徒歩で訪れた方は、「4. わからない」という回答も多くなっている。

3. 横町でのこみせ再生等の意見

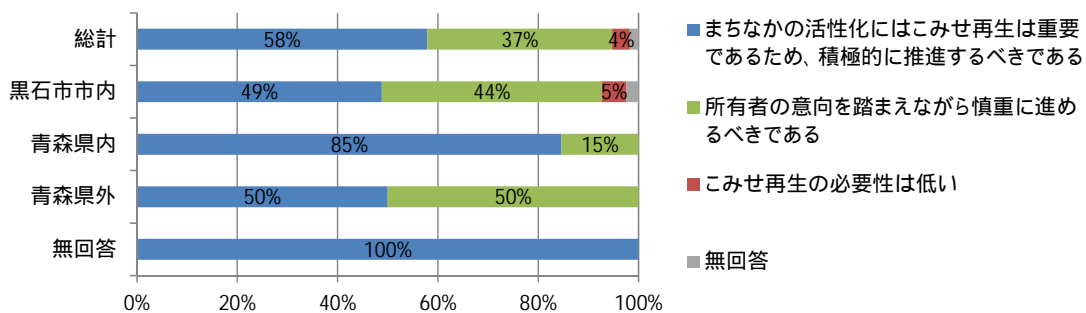
問6 今後、横町でこみせを再生することについてどう思いますか。(N=336)



住所	積極的に再生してほしい	可能であれば再生してほしい	再生する必要はない	(空白)	総計
市内(まちなか)	87	48	11	3	149
市内(まちなか以外)	40	17	4	1	62
津軽地域	21	24	2	2	49
青森県内	20	20	2		42
青森県外	19	8		1	28
(空白)	2	2		2	6
総計	189	119	19	9	336

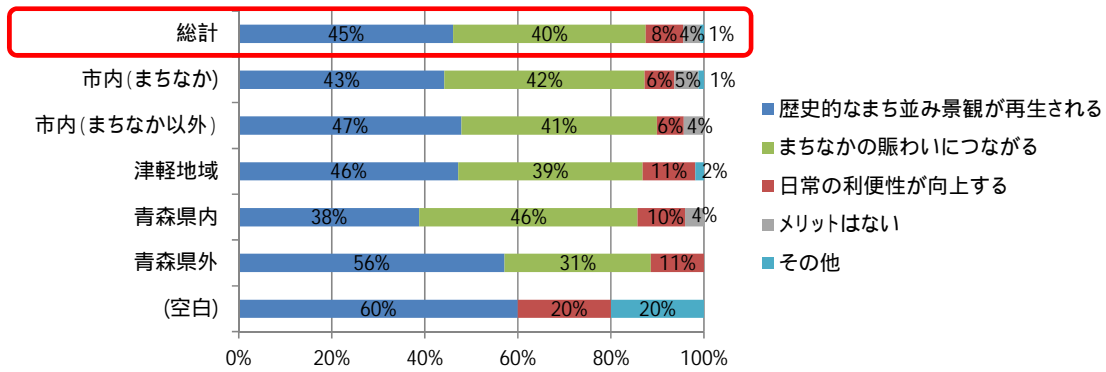
- ・市内(まちなか、まちなか以外) 青森県外では「1. 積極的に再生してほしい」が最も多く、約6~7割が回答している。市内以外(津軽地域、青森県内)の地域では、「2. 可能であれば再生してほしい」が最も多くなっている。
- ・「1. 積極的に再生してほしい」、「2. 可能であれば再生してほしい」を合わせると約9割が横町でこみせを再生してほしいと回答している。

参考：黒石市景観シンポジウム(平成25年1月)において実施したアンケートの類似設問の回答状況
 問 今後、松の湯や金平成園の再生を契機に、中町のこみせ再生にあわせ、前町や横町のこみせを再生することについての意向(選択肢から1つ選択 n=57)



	まちなかの活性化にはこみせ再生は重要であるため、積極的に推進するべきである	所有者の意向を踏まえながら慎重に進めるべきである	こみせ再生の必要性は低い	無回答	総計
黒石市市内	20	18	2	1	41
青森県内	11	2			13
青森県外	1	1			2
無回答	1				1
総計	33	21	2	1	57

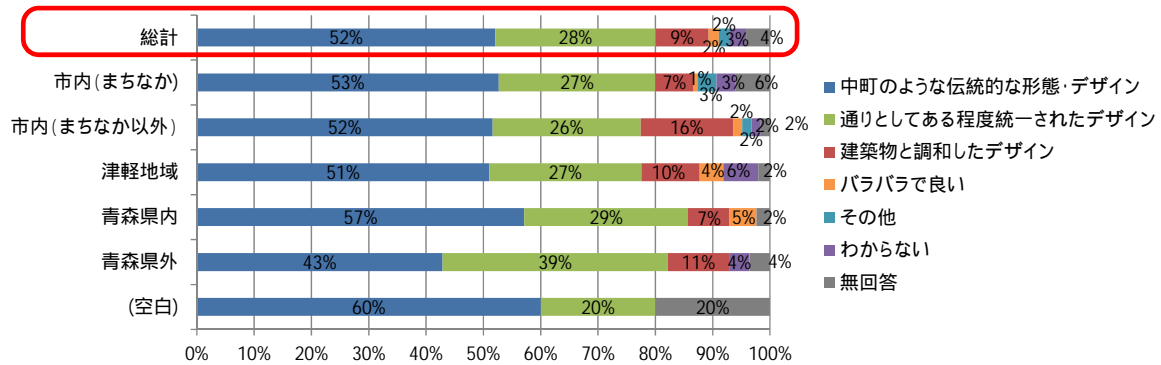
問7 こみせを再生することのメリットはどう思いますか。(N=336) 複数回答可



住所	歴史的なまち並み景観が再生される	まちなかの賑わいにつながる	日常の利便性が向上する	メリットはない	その他	(空白)	総計
市内(まちなか)	76	74	11	9	2	6	178
市内(まちなか以外)	33	29	4	3		1	70
津軽地域	25	21	6		1	1	54
青森県内	19	23	5	2		1	50
青森県外	20	11	4			1	36
(空白)	3	0	1			1	5
総計	176	158	31	14	3	11	393

・各地域で「1. 歴史的なまち並み景観が再生される」、「2. まちなかの賑わいにつながる」がそれぞれほぼ半数となっており、青森県内では「2. まちなかの賑わいにつながる」が5割近くになっている。

問8 再生するこみせは、どのような形態が望ましいと思いますか (N=336) 複数回答可

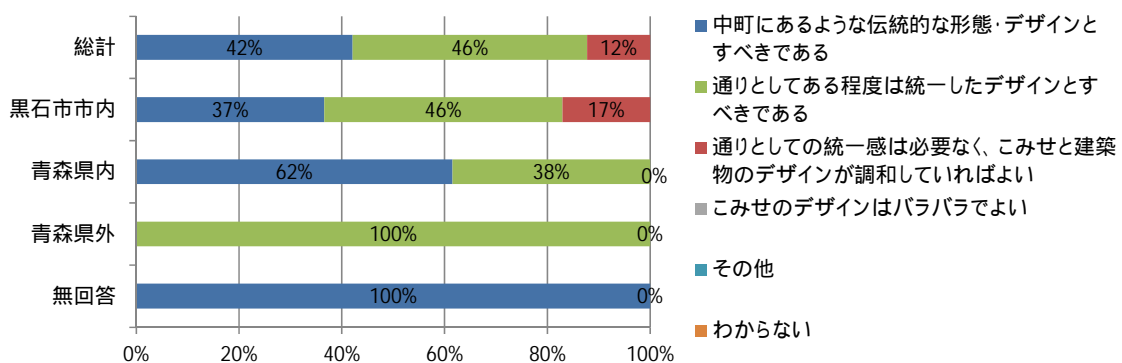


住所	中町のような伝統的な形態・デザイン	通りとしてある程度統一されたデザイン	建築物と調和したデザイン	バラバラで良い	その他	わからない	無回答	総計
市内(まちなか)	79	41	10	1	5	5	9	150
市内(まちなか以外)	32	16	10	1	1	1	1	62
津軽地域	25	13	5	2		3	1	49
青森県内	24	12	3	2			1	42
青森県外	12	11	3			1	1	28
(空白)	3	1					1	5
総計	175	94	31	6	6	10	14	336

- ・ほぼすべての地域で5～6割が「1. 中町のような伝統的な形態・デザイン」が望ましいと回答しており、次いで「2. 通りとしてある程度統一されたデザイン」が2～3割となっている。
- ・青森県外では、「1. 中町のような伝統的な形態・デザイン」、「2. 通りとしてある程度統一されたデザイン」がそれぞれ4割近い回答となっている。

参考：黒石市景観シンポジウム（平成25年1月）において実施したアンケートの類似設問の回答状況

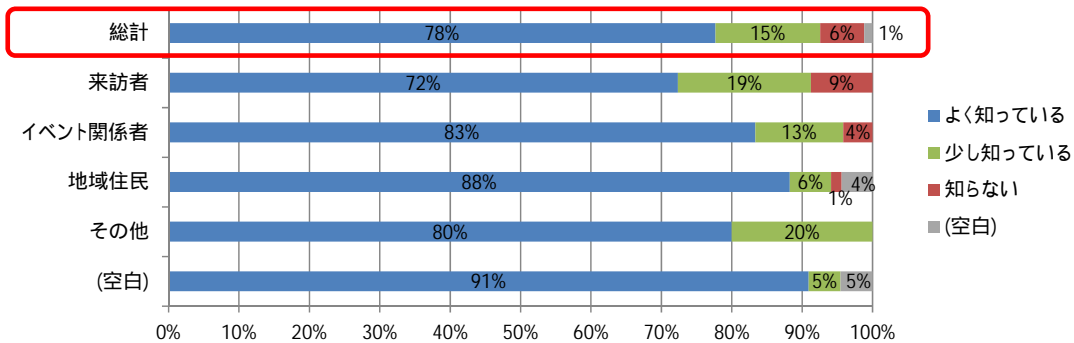
問 前町・横町で再生するこみせは、どのような形態が望ましいか（選択肢から1つ選択 n=57）



住所	中町にあるような伝統的な形態・デザインとすべきである	通りとしてある程度は統一したデザインとすべきである	通りとしての統一感はいらなくても、こみせと建築物のデザインが調和していればよい	こみせのデザインはバラバラでよい	その他	わからない	総計
黒石市市内	15	19	7				41
青森県内	8	5					13
青森県外		2					2
無回答	1						1
総計	24	26	7				57

() 属性×問1～問8

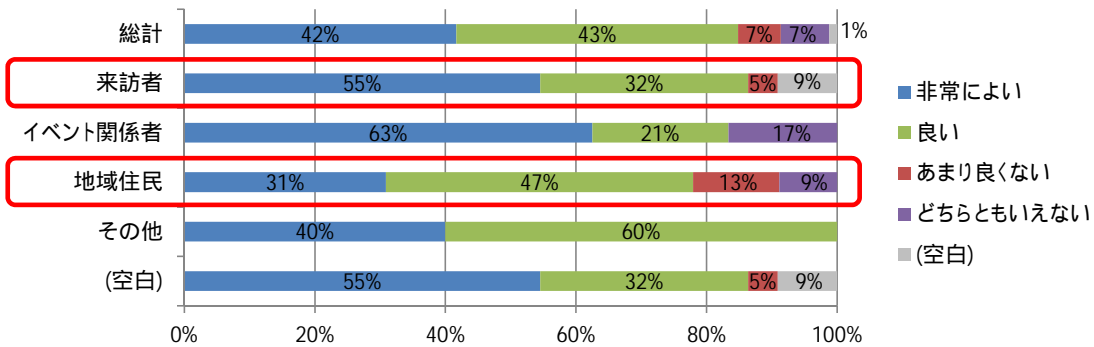
問1 黒石市のまちなかのシンボルの1つが「こみせ」であることはご存知ですか。(N=336)



属性	よく知っている	少し知っている	知らない	(空白)	総計
来訪者	157	41	19		217
イベント関係者	20	3	1		24
地域住民	60	4	1	3	68
その他	4	1			5
(空白)	20	1		1	22
総計	261	50	21	4	336

・「1. よく知っている」、「2. 少し知っている」を合わせると、すべての属性において9割以上が知っていると回答している。
 ・特に地域住民では88%が「1. よく知っている」と回答しており、他の属性よりも割合が高くなっている。

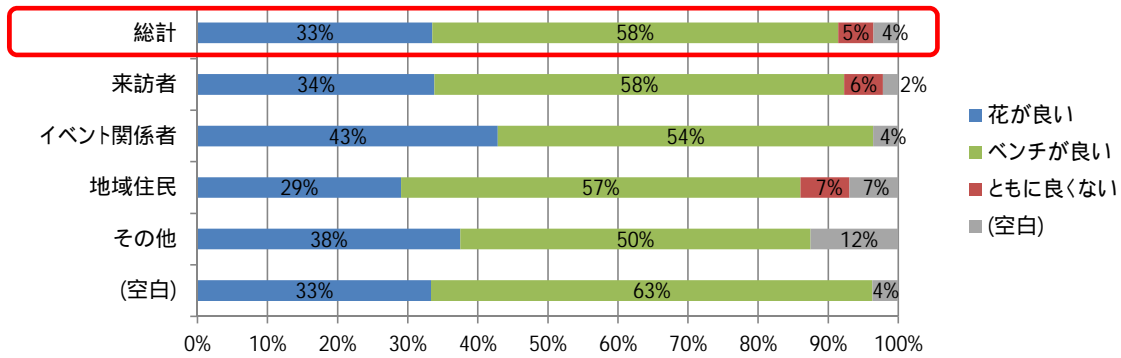
問2 この敷地（横町広場）にこみせが設置されたことについてどう思いますか。(N=336)



属性	非常によい	良い	あまり良くない	どちらともいえない	(空白)	総計
来訪者	90	98	12	15	2	217
イベント関係者	15	5		4		24
地域住民	21	32	9	6		68
その他	2	3				5
(空白)	12	7	1		2	22
総計	140	145	22	25	4	336

・「1. 非常によい」、「2. 良い」を合わせると、地域住民は約8割、他の属性では約8～9割が仮設こみせが設置されたことについて、好ましいと回答している。
 ・地域住民の回答状況を見ると、「1. 非常によい」と感じている人は31%であり、来訪者やイベント関係者と比較すると少ない。また、「3. あまり良くない」という回答も13%みられる。

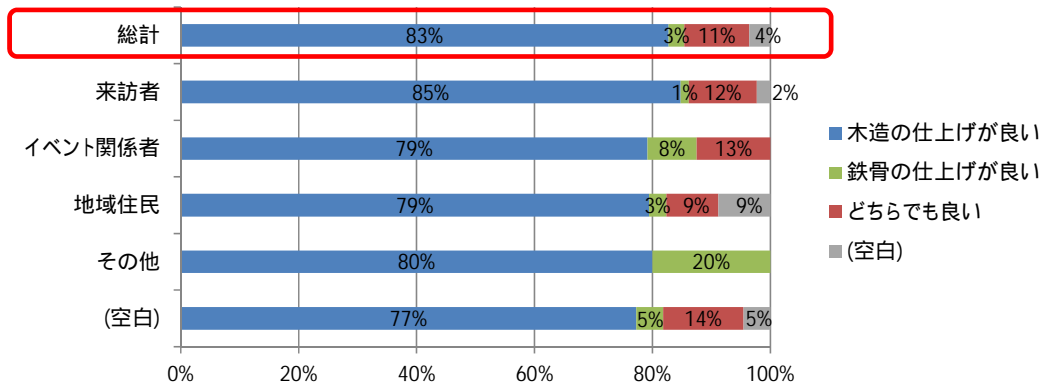
問3 こみせに設置した花やベンチはどう思いますか (N=336) 複数回答可



属性	花が良い	ベンチが良い	ともに良くない	(空白)	総計
来訪者	92	159	15	6	272
イベント関係者	12	15	1	0	28
地域住民	25	49	6	6	86
その他	3	4	0	1	8
(空白)	9	17	0	1	27
総計	141	244	21	15	421

・各属性で、「2.ベンチが良い」という回答が最も多く、次いで「1.花が良い」が多くなっている。

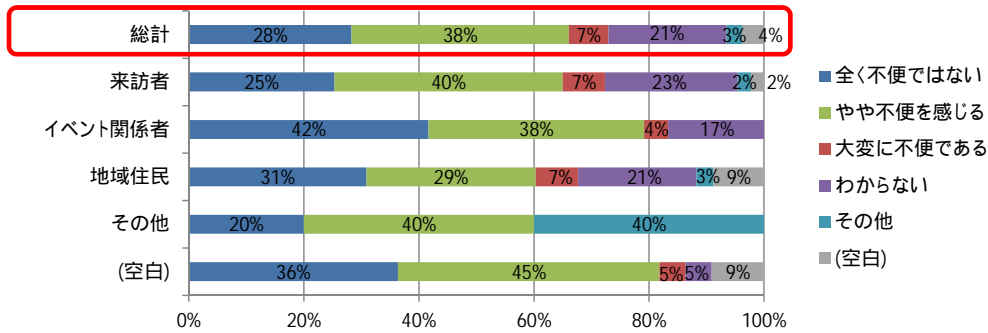
問4 こみせのデザインはどう思いますか。(N=336)



属性	全く不便ではない	やや不便を感じる	大変に不便である	わからない	その他	(空白)	総計
来訪者	55	86	16	50	5	5	217
イベント関係者	10	9	1	4	0	0	24
地域住民	21	20	5	14	2	6	68
その他	1	2	0	0	2	0	5
(空白)	8	10	1	1	0	2	22
総計	95	127	23	69	9	13	336

・「1.木造の仕上げが良い」が最も多く、各属性で8割近くが好ましいと回答している。
 ・「2.鉄骨の仕上げがよい」、「3.どちらでもよい」を合わせると、各属性で約2割の方が、木造以外の仕上げでもよいと回答している。

問5 こみせの様式と車の利便性はどう感じますか。(N=336)

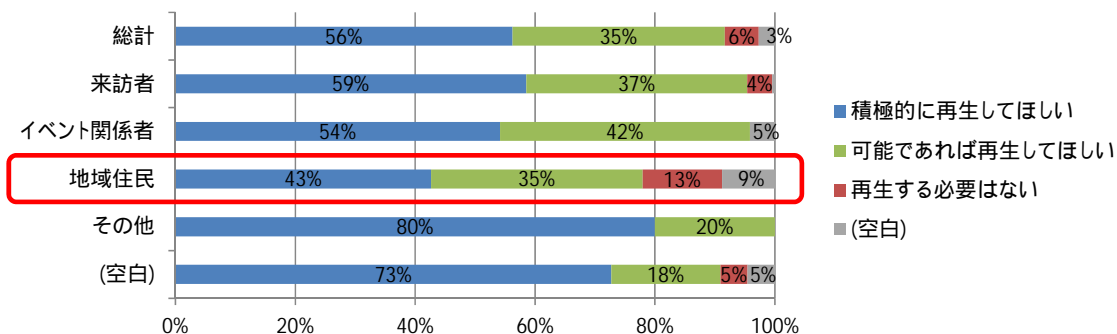


属性	全く不便ではない	やや不便を感じる	大変に不便である	わからない	その他	(空白)	総計
来訪者	55	86	16	50	5	5	217
イベント関係者	10	9	1	4			24
地域住民	21	20	5	14	2	6	68
その他	1	2			2		5
(空白)	8	10	1	1		2	22
総計	95	127	23	69	9	13	336

- ・ イベント関係者では約4割、来訪者、地域住民では約3割近くが「1. 全く不便ではない」と回答している。
- ・ 「2. やや不便である」、「3. 大変に不便である」を合わせると各属性で約4～5割が不便であると回答している。
- ・ 当日徒歩で訪れた方も多く、「4. わからない」という回答も多くみられる。

3. 横町でのこみせ再生等の意見

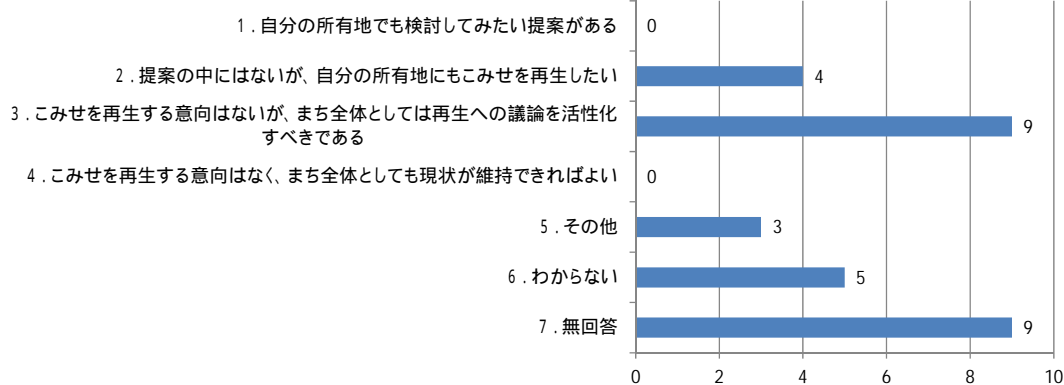
問6 今後、横町でこみせを再生することについてどう思いますか。(N=336)



属性	積極的に再生してほしい	可能であれば再生してほしい	再生する必要はない	(空白)	総計
来訪者	127	80	9	1	217
イベント関係者	13	10		1	24
地域住民	29	24	9	6	68
その他	4	1			5
(空白)	16	4	1	1	22
総計	189	119	19	9	336

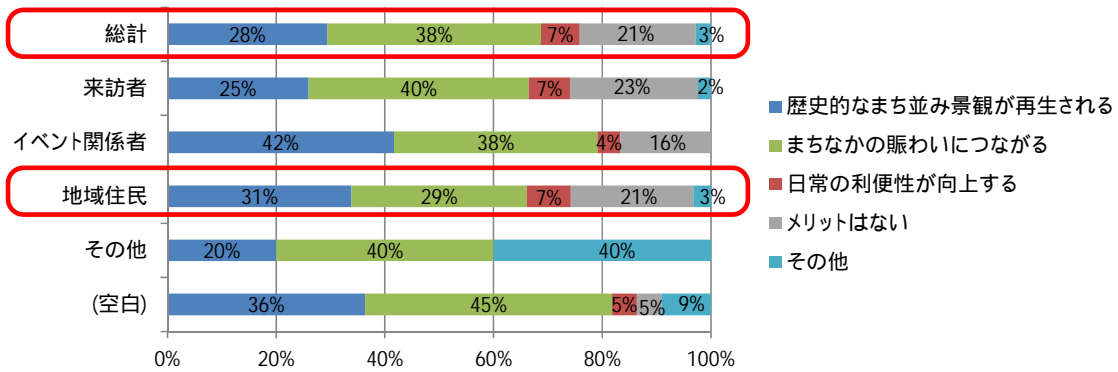
- ・各属性で「1. 積極的に再生してほしい」が最も多く、次いで「2. 可能であれば再生してほしい」が多くなっている。地域住民では、ややその割合が低くなり、「3. 再生する必要はない」という回答も13%みられる。
- ・「1. 積極的に再生してほしい」、「2. 可能であれば再生してほしい」を合わせると、来訪者、イベント関係者では9割以上、地域住民では約8割が横町でこみせを再生してほしいと回答している。

参考：こみせ所有者等（中町、前街、横町）へのヒアリング（平成25年度実施）の類似設問の回答状況
問 こみせ再生の意向（該当するもの1つ選択 n=30）



選択肢項目	回答数	割合
自分の所有地でも検討してみたい提案がある	0	0.00%
提案の中にはないが、自分の所有地にもこみせを再生したい	4	13.30%
こみせを再生する意向はないが、まち全体としては再生への議論を活性化すべきである	9	30.00%
こみせを再生する意向はなく、まち全体としても現状が維持できればよい	0	0.00%
その他	3	10.00%
わからない	5	16.70%
無回答	9	30.00%
合計	30	100.00%

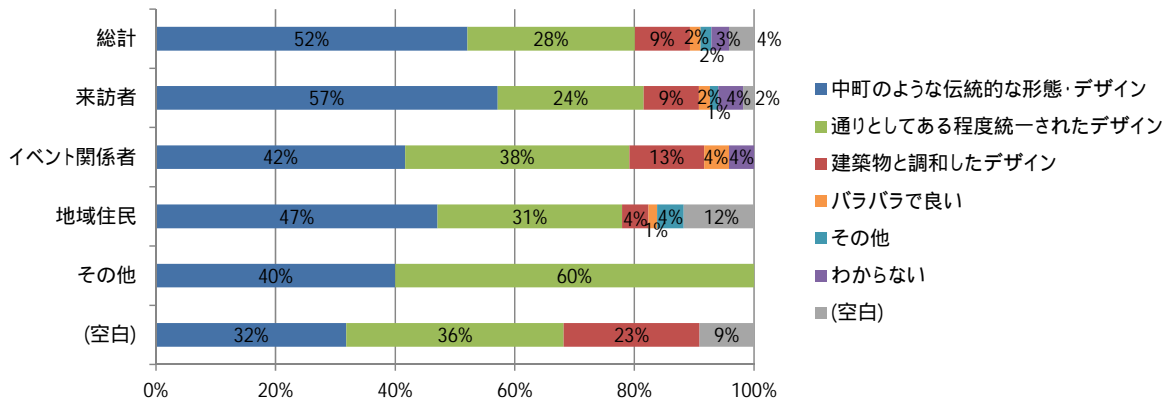
問7 こみせを再生することのメリットはどう思いますか。(N=336) 複数回答可



属性	歴史的なまち並み景観が再生される	まちなかの賑わいにつながる	日常の利便性が向上する	メリットはない	その他	総計
来訪者	95	95	13	7	1	211
イベント関係者	7	14	5			26
地域住民	27	18	8	7	3	63
その他	4	3	2		2	11
(空白)	8	7				15
総計	141	137	28	14	6	326

・イベント関係者、地域住民では、「1. 歴史的なまち並み景観が再生される」、「2. まちなかの賑わいにつながる」がそれぞれほぼ半数となっており、来訪者では「2. まちなかの賑わいにつながる」が4割と最も多くなっている。

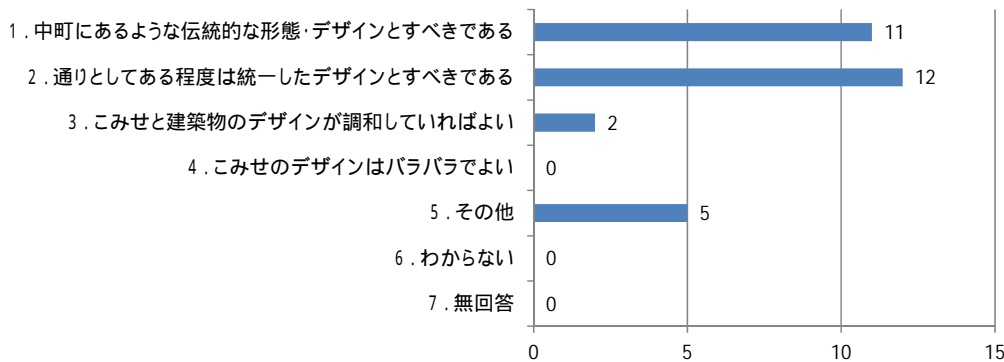
問8 再生するこみせは、どのような形態が望ましいと思いますか (N=336) 複数回答可



属性	中町のような伝統的な形態・デザイン	通りとしてある程度統一されたデザイン	建築物と調和したデザイン	バラバラで良い	その他	わからない	(空白)	総計
来訪者	124	53	20	4	3	9	4	217
イベント関係者	10	9	3	1	1	1	8	24
地域住民	32	21	3	1	3	1	4	68
その他	2	3	0	0	0	0	0	5
(空白)	7	8	5	0	0	0	2	22
総計	175	94	31	6	6	10	14	336

- ・「1. 中町のような伝統的な形態・デザイン」が最も多く、次いで「2. 通りとしてある程度統一されたデザイン」が多くなっている。
- ・特に来訪者では「1. 中町のような伝統的な形態・デザイン」が6割近くを占めている。

参考：こみせ所有者等（中町、前街、横町）へのヒアリング（平成25年度実施）の類似設問の回答状況
問 前町・横町で再生するこみせの形態・デザインについて（該当するもの1つ選択 n=30）



選択肢項目	回答数	割合
中町にあるような伝統的な形態・デザインとすべきである	11	36.7%
伝統的な形態・デザインでなくてよいが、通りとしてある程度は統一したデザインとすべきである	12	40.0%
通りとしての統一感が必要がなく、こみせと建築物のデザインが調和していればよい	2	6.7%
こみせのデザインはバラバラでよい	0	0.0%
その他	5	16.7%
わからない	0	0.0%
無回答	0	0.0%
合計	30	100.0%

3. モデル計画の課題抽出及びその汎用性の検討

1) モデル計画の評価と課題について

アンケート結果や横町の商業者・居住者へのヒアリング結果より、モデル計画の評価と課題を次のとおり整理する。

こみせの再生について

- ・「こみせ再生のメリットが少ない」や「こみせの再生だけでは、横町の活性化にはならない」などの意見もあったが、「積極的にこみせを再生してほしい」や、こみせの再生により、「歴史的なまち並み」や「まちなかの賑わい」の再生に期待する意見が多数を占めた
- ・今後、こみせの再生にあわせ、横町の活性化方策の検討、実施を行うことが課題である

平面計画について

- ・仮設こみせの設置は、肯定的な意見や設置を評価する意見が多く聞かれた
- ・しかし、「こみせは、商店・家屋に付帯しているものであり、店舗に面した形でないといけない。仮設こみせは、入口＝門であって「こみせ」ではない」などという意見も見られた。
- ・さらに、「こみせの奥の利用が重要であり、こみせ部分だけでは良いとはいえない」という意見もあり、「当初の計画(コンペ案のブースがある計画)を実施する、ねぶたを置く、朝市を開催する、駐車場として利用する等のアイデアも寄せられた
- ・今後、敷地全体を利用し、「生きたこみせ」として再生する方策の検討が課題である

立面計画

- ・敷地内部に自動車が出入りするための空間(幅約4m、高さ約3.3mの出入り口)を確保したことに、特段の不満は感じられなかった。

形態・意匠計画

- ・中町からの空間的なつながりも含め、「木造」による仕上げが圧倒的に支持され、「中町のような形態が望ましい」との意見が多かった
- ・少数ではあるが、「積雪への対応(強度の問題)のため鉄骨が望ましい」や「木造にこだわらず、色彩等による統一感を重視」する意見も見られた
- ・さらに、「横町にあったデザインがある(昭和レトロ等)」など、まち並みとしてデザインが統一されていれば良い、との意見も見られた

その他

- ・ベンチや花に対する評価が高く、特に、「ベンチで休憩する人をたくさん見た」や「季節の花を飾る」ことへの期待の声も寄せられた
- ・「近接したバス停を仮設こみせに移動し、バス利用者の利便性の向上」という意見もあった
- ・さらに、「LEDの行燈を付けるなどにより、夜間の滞在が期待できる」という、夜間景観の演出によるにぎわいの創出へのアイデアも寄せられた

2) モデル計画の汎用性

モデル計画は、コスト面の都合等により、通りに面する部分のみこみせを設置したが、今後、空き地のモデル計画として汎用させるためには、次のような検討が必要である。

敷地全体の利用を検討する

- ・通りに面したこみせを整備するだけでは、「こみせ」としての認知が十分ではないばかりではなく、空き地所有者のこみせ再生メリットにはつながらないと考えられる
- ・そのため、イベントの開催を含めた空き地での収益をあげることや、横町の商店街の利便性向上を図るための利用について検討を行う必要がある

自動車利用の可否をより具体的に検証する

- ・商業者や居住者からは、自家用車又は来客用の駐車スペースの確保の必要性に関する意見があった
- ・今後、実際に荷捌きの自動車の寄り付けなどを検証し、平面・立面計画に反映させる必要がある

また、今後、横町においてこみせを増やし、つないでいくためには、次の事項についても検討が必要との意見も聞かれた。

- ・こみせを付けるのは商売との関係が深い。まずは、商売がきちんとしていなければいけない。
- ・こみせをつけるにしても、商売につながらなければいけない。
- ・空き店舗の活用や地域外からの起業者の受け入れ
- ・ソフトを重視し、各店舗の個性を出し、横町で多様性や魅力を高める取り組みの実施
- ・こみせを設置（修復・修景）の費用負担のあり方の検討
- ・各店舗への来客用やまちなかの来訪者の駐車スペースの確保や案内サイン等の再整備

第4章 伝統的空間の連続性確保による波及効果の検討

1. 歩行者の増減等のヒアリングの実施

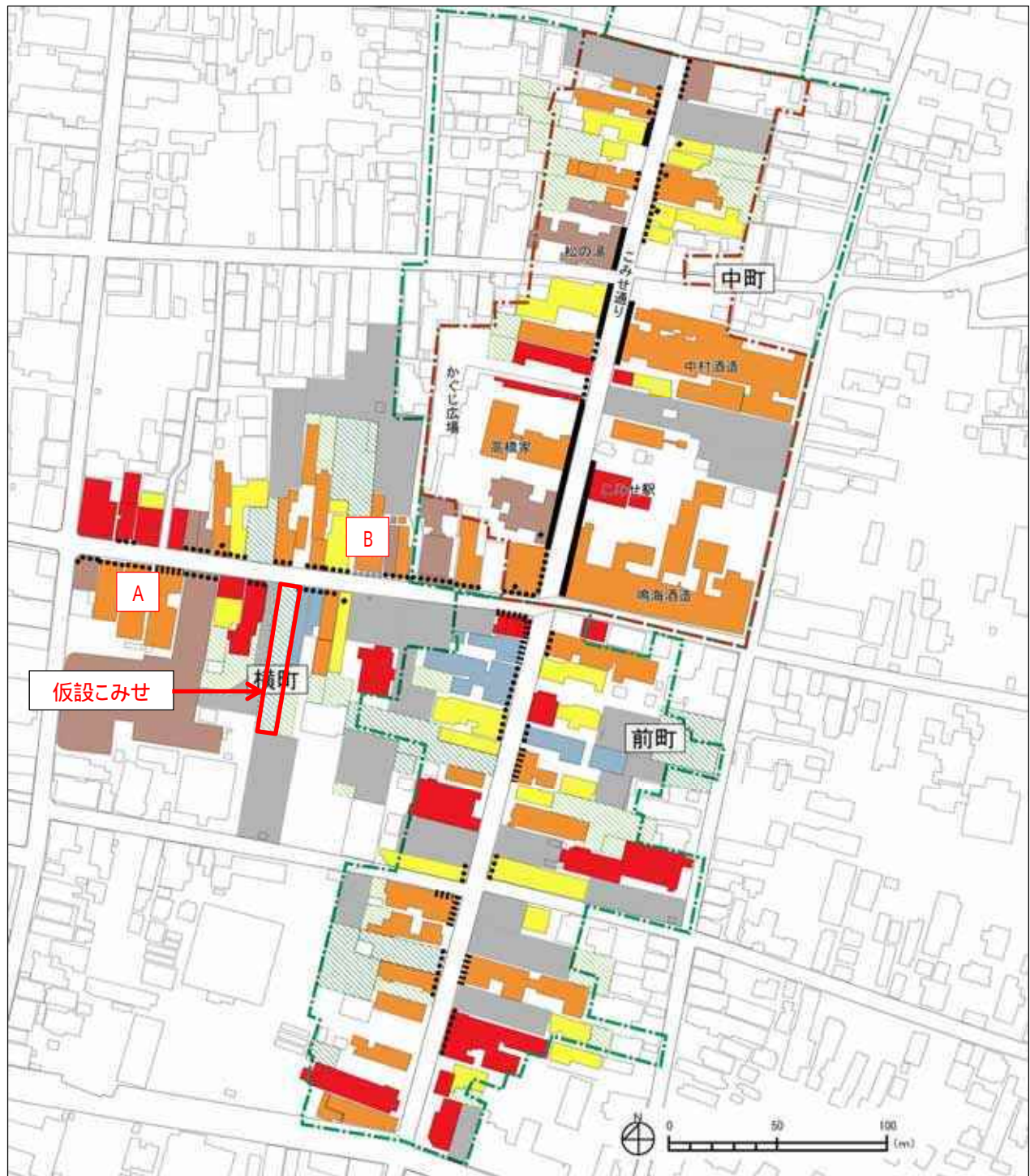
歩行者増減に関するヒアリングは、仮設こみせの東西にあり、日常的に来訪者の動向に配慮している店主を対象とする。具体的には、黒石小さなまちかど博物館に認定されている「Kボッコ(株) (次頁図中のA)」と「ノーブル (次頁図中のB)」の2名の店主を対象として、毎月1回のヒアリングを実施した。その結果は、次のとおりであった。

また、12月8～9日に実施した横町商業者・居住者のヒアリング結果から、歩行者の増減等については次のような意見があった。

表4-1 歩行者の増減などについて

対象	ヒアリング結果概要
Kボッコ(株)とノーブルのヒアリング	<ul style="list-style-type: none">・ 仮設こみせの設置前後において、歩行者量には変化がなかった・ イベント時以外では、仮設こみせの土地が有効に利用されていない。まちなかの来客や来訪者用の駐車場として活用すれば、利用者の利便性の向上やにぎわいの再生につながると考えられる・ バス利用者が待ち時間を利用して、仮設こみせのベンチで待っている姿をよく見かけた
横町商業者・居住者へのヒアリング	<ul style="list-style-type: none">・ バス利用者が待ち時間を利用して、仮設こみせのベンチで待っている姿を見かけた。・ こみせとベンチは、夏の日差しや雨がしのげるし休息が取れるので、日常生活上も便利である。特に、高齢者にとっては大変ありがたい。・ 来客者から仮設こみせのことを質問されることが多い。・ 道の駅のように空き地で朝市の開催などがあれば、日常生活者の利便性の向上にもつながるし、賑わいにもつながるのではないかと・ 歩行者の安全性や利便性の向上にはつなげるためには、(所有者・設置者が) 除雪対策もしっかり行う必要がある

図 4-1 仮設こみせとヒアリング対象者の位置地



凡 例			
地区指定	こみせの形態	かぐじの用途	建物用途
中町重要伝統的建造物群保存地区	伝統的	庭・畑	専用住宅
歴史的景観形成地区	非伝統的（木造）	空き地	併用住宅
	非伝統的（S造）	駐車場	店舗・事務所
	その他（庇）		空き家
	その他		用途不明※
	屋内駐車スペース		※空き店舗だが、住宅として利用されているか不明な建物

表4-2 Kポッコ(株)(A)のヒアリング結果

項目		月	10月	11月	12月	1月
1. 前年同月と比較して歩行者の増減はどのように感じましたか	増加した					
	やや増加した					
	変化はない					○
	やや減少した					
	減少した					
	【要因】	なし	なし	なし	なし	
2. 来店された方で、仮設こみせに関する話題はありましたか	話題は出なかった					
	話題が出た					
	【内容】	建設目的は？	建設主体は？	なし	なし	
3. その他		なし	なし	なし		鄙を入れたことで雰囲気が良くなった

表4-3 ノーブル(B)のヒアリング結果

項目		月	10月	11月	12月	1月
1. 前年同月と比較して歩行者の増減はどのように感じましたか	増加した					
	やや増加した					
	変化はない					
	やや減少した					
	減少した					
	【要因】	なし	なし	なし	なし	なし
2. 来店された方で、仮設こみせに関する話題はありましたか	話題は出なかった					
	話題が出た					
	【内容】	なし	何か奥に建てるのか？	なし	なし	
3. その他		イベントがあれば話題になるかもしれないが、バス停の雨宿りくらいにしか考えられない。	イベント状況、周辺の行事・ポスターなどの活用	壊さないならバス停にしては。駐車できないスペースは無駄だと思う。		観光用の駐車場として最適の場所ではないか

2. 歩行者の動線確保につながる波及効果の検討

ヒアリングの結果から、仮設こみせに対しては、一定の評価はえられたものの、歩行者の動線確保には、必ずしも結びついていないことが解った。ここでは、その要因と歩行者動線の確保につながる波及効果について検討する。

仮設こみせの設置期間が短い

仮設こみせは、こみせ祭り等の大きなイベントの開催時をねらって設置し、多くの市民や来訪者の目に触れる機会を試みたが、2月までの設置期間が約半年であるため、広く市民の認知を得るには至っていないと考えられる。

仮設こみせの敷地全体が利用されていない

仮設こみせは、通りに面した部分のみ設置し、イベント開催時以外は利用がほとんど行われておらず、日常的な集客を得るには至らなかった。

空き店舗が点在するなどにより、歩行者動線の連続性の確保が困難であった

商店街の来客は、目的の店舗前に自動車をとめて買い物を行う、というスタイルが定着している。横町では、空き店舗が点在しており、来客者が「商店街を歩いて買い物をする」という行動には、なかなか結びつかないという現状がある。

これらより、今後は、中期的な期間、仮設こみせの敷地奥の空き地において、地域の住民や商店街、まちづくり活動団体等による多面的かつ実験的な利用、空き店舗の活用、来客用の駐車場の確保などの取組を連携し、集客とにぎわいづくりを進め、歩いて楽しめるまちづくりを進める必要がある。

3. 設置の効果とにぎわい創出につながる社会実験等の実施

1) 仮設こみせの設置効果

歩行者増減に関するヒアリング及び横町商業者・居住者のヒアリング結果より、仮設こみせの設置に関して日常的な話題となっていることが解った。また、これらにおいて、設置の効果は次の2点に整理することができる。

【仮設こみせの設置に関する評価】

- ・こみせとベンチは、夏の日差しや雨がしのげるし、休憩が取れるので、日常生活上も便利である。特に、高齢者にとっては大変ありがたい。
- ・バス利用者が待ち時間を利用して、仮設こみせのベンチで待っている姿を見かけた。

2) にぎわい創出につながる社会実験等の実施

仮設こみせの設置は、日常的には歩行者の増加には直接結びつかなかったものの、イベント開催時においては、多くの住民や来訪者により、にぎわいが生まれた。

また、仮設こみせの設置を契機に、横町のにぎわいの創出を図るために、仮設こみせの「前面の利用」、「壁面の利用」及び「奥の敷地利用」の3点の利用が想定できる。また、仮設こみせに隣接した敷地を利用した、空間的な連続性を確保することも可能である。

このため、日常的な歩行者の増加やイベント時の集客効果を図るため、次のような社会実験の取組を進めた。

蔀と案内サインの設置

冬期間、仮設こみせの歩行者スペースは雪で覆われ、ベンチの利用や歩行者空間としての利用が困難となることから、伝統的なこみせに見られる「蔀」を設置した。また、黒石市の伝統行事や名所を図案化し、蔀に取り付けた。さらに、来訪者向けとして、中町への案内サインも設置した。

照明の設置

夜間の歩行者への安全性の確保の観点から、仮設こみせの壁面に照明を取り付けた。

隣接地への蔀の設置

仮設こみせの隣接地は、非伝統的なこみせが設置されているが、空き店舗であるため前面に車止めのチェーンが設置されていることから、空間的な連続性を妨げていた。そのため、隣接地の所有者に同意を得て、自立型の蔀を設置した。隣接地の蔀には、仮設こみせと同様に伝統行事や名所を図案化するとともに、仮設こみせのアンケートにより「花飾り」が評価されていたことから、花などのプランターが置けるような構造とした。

3) 蔀の設置に関する評価

蔀を設置した後に開催された旧正マッコ市でのアンケート結果（p46参照）では、蔀の設置について、次の意見が見られた。

これらから、今後も、継続的に社会実験を行い、市民の意向把握を進めながら、必要に応じて、デザインの見直しや空き店舗における賑わいの創出のための設置拡大等について、検討を深めていくことが望まれる。

【蔀の設置に関する評価】

- ・仮設こみせに、観光PRや案内サインを施した蔀は一定の評価が得られた（約63%が「非常に良い」と回答）が、装飾の伝統的なデザインを好む声も少なくない（約19%）
- ・隣接した空き店舗に設置した蔀は、否定的な意見はほぼなく、通りの統一感や連続性（約60%）、明るい雰囲気づくりに寄与している（約30%）などが評価された

写真 4-1 部と案内サインの設置の様子



伝統的なこみせに設置された部



仮設こみせに設置された部



部に描かれた名所と案内サイン



部に描かれた名所



仮設こみせに設置した照明



壁面はイベント案内版も設置できる



隣接地に設置された自立型の部



自立型の部は花のプランターが置ける

第5章 伝統的空間維持のための利用方策実施効果の 検証及び地域の将来のあり方検討

1. 地域の将来のあり方に関する検討会の開催

アンケートの結果や横町の商業者・居住者のヒアリング結果を踏まえ、学識経験者、地域住民、まちづくり活動団体等による「こみせ再生検討会」を開催し、今後のこみせ再生やまちかなの活性化等について議論を行った。こみせ再生検討会の概要は次のとおりである。

こみせ再生検討会の開催概要

日 時 平成 27 年 1 月 12 日 (日) 14 ~ 16 時

場 所 黒石市産業会館 4 階会議室

出席者 学識経験者 (2 名)

青森県建築士会等 (2 名)

地域住民・活動団体等 (10 名)

黒石市都市建築課他 (6 名)

議 題

1. これまでの検討経緯
 - 1) 仮設こみせの設計概要について
 - 2) アンケート結果
 - 3) 横町商業者・居住者ヒアリング結果概要
2. 今後の横町の取り組みの方向性について
 - 1) 横町の位置づけや期待
 - 2) 今後の横町の方向性とその取り組みについて
3. 意見交換

写真 5-1 検討会の様子



こみせ再生検討会の様子



まちづくり活動団体が発言する様子

2. モデル計画の推進意向や課題の把握

1) 仮設こみせに対する評価

- ・これまでのように主屋と一体になっていなくても、新しい時代のスタイルのこみせを考えていく必要があり、仮設こみせは、ひとつのモデルの可能性がある。
- ・こみせを横につなぐことは、観光的にも意味がある。このような取り組みを継続してほしい。
- ・最初から、こみせを横につなぐのは難しいので、コンペの提案にあったように、仮設こみせの敷地の奥の利用を進め、こみせの再生モデルを構築していくことも重要ではないか。

2) こみせ再生の課題等の把握

空き店舗等の活用によるにぎわいの創出

- ・横町では、空き店舗が増えており、現在20店舗が営業している。
- ・空き店舗のうち、5店は軽い改善、2～3店は大きな改善をすることで、店舗として貸せる状況になりそう。
- ・5店舗は長期的に貸してくれる可能性があるため、市の支援も得ながら、空き店舗の活用に取り組む必要がある。
- ・NPO 法人横町十文字まちそだて会では、にぎわい創出に取組み、黒石の良さを感じてもらい機会創出のためのまち歩きツアー等の開催や、店舗改装、その他各種イベントに携わっているため、空き店舗解消においてもプロデュースする役割を担っていくことが期待できる。
- ・市の支援は、借りる人を主眼としているので、大家さんが貸しやすくなる状況（メリット）がつけられると、支援制度がもっと生きてくるのではないか
- ・市の支援で手が届かない部分としては、空き店舗を改善する時に生じるごみの処分などがある。このような部分まで支援できると良いと思う

こみせ再生のための費用負担の検討

- ・こみせの再生に必要な費用の負担については、市と地域の双方が覚悟をもって、協働で進めることが望ましい
- ・たとえば、国土交通省の街並み環境整備事業の適用（所有者負担1/3、最大10年）も可能性が有ると思うが、地域内の合意形成も重要である

回遊ルートの向上等、来客用の駐車スペースの確保

- ・街中を歩いて楽しんでもらうためにも、まちなか全体での回遊性に関する計画づくりが必要であり、観光用の大型バスも含めた駐車場の整備が重要だと思う。
- ・来訪客がもう少し長く滞在できるようにするためにも、こみせを横につなぐことの意義は大きい
- ・黒石駅を起点とした観光客には、中町までの距離があるが、その途中にある面白い資源をつないだルートの開発するなどにより、多くの回遊ルートを設定できるとよい

写真 5-2 検討会の成果



こみせ再生検討会 意見まとめ

横町への期待

- ・ソフトとハード、セットで実施（こみせはハードだが、使い方が重要）
- ・地権者の意図を尊重することがまずは大事
- ・連動して横にこみせをつなぐ
- ・大手にないこだわりの店

こみせの再生モデル

新しいスタイルのこみせ

- ・新しい時代のスタイルのこみせを考えていく必要がある
- ・仮設こみせは、ひとつのモデルでは。
- ・これまでのように主屋と一体になっていなくても、こみせを横につなぐことは観光的にも意味がある。

活用の仕組みづくり

- ・黒石にとってのこみせの公共性を共有し、税等の減免等
- ・市が仲介して、空き地活用の活動団体支援（例：神戸）

仮設こみせの活用

- ・まずは関心を持ってもらうことが大事
仮設こみせのある場所を人が集まれる場所にして、知名度を上げていく。
- ・市としては、今後活用アイデアをみんなで考えて実践していきたい。

空き店舗活用

空き店舗を活用していきたい

- ・空き店舗が増えている
- ・ひとつひとつ空き店舗を埋めていく
- ・新しくお店をする人が増えてほしい

横町の空き店舗の状況

- ・横町 20 店舗が営業
- ・空き店舗：5 店（軽い改善） 2～3 店（大きな改善） 2～3 店（土地売買）
5 店舗は長期的に貸してくれそう

横町十文字まちそだて会の取組み

- ・店の魅力が人を呼ぶ まち育て会でプロデュースする
- ・出店意向の改善の取組み
- ・まち歩きツアーの実施

空き店舗活用の補助の仕組みなど

- 黒石市中心商店街空き店舗対策事業補助金
 - ・条件：まちの賑わいに寄与する店舗・業種、日中営業をすること、年 2 件上限
 - ・店舗賃借料：月 5 万円を上限
 - ・店舗改装費：1 件当たり 100 万円を上限

その他

- ・大家が貸しやすくなるメリットがあるとよい
- ・店をすると商店会に加入しなければならず、商店会費の負担がネックになる場合もある
- ・市が仲介して活動団体を支援する（例：ごみの廃棄、処分コストの支援）

費用コスト

こみせを維持する経費の問題

- ・何らかの補助ができないか、これから新しく造るこみせに対する補助も必要

市と地域の協働

- ・市と地域の協働、ある程度の覚悟が必要
国土交通省の街並み環境整備事業
所有者負担 1 / 3、最大 10 年

回遊性・駐車場

全体での計画づくりが必要

- ・周辺も含めた全体での計画づくり
(駐車場も含めて)
- ・駐車場(観光の大型バス)
- ・駐車場にとめて、こみせを歩いて店まで来てもらう

主体(市民・就学者・就労者・観光客)

- ・まずは市民・就学者・就労者など、市民の方にどう足を運んでもらうか
- ・市民の利便性、集まれる場所、活用できる場所づくり
- ・地元の高校生は学校と駅の往復で、まちなかに来たことがない

回遊性を高めるために・・・

こみせを横につなぐ

- ・来訪客がもう少し長く滞在できるように
- ・空き地や駐車場も含めて、こみせが横につながっているのはわかりやすい

駅から格となるエリアをつなぐ 目的地までを面白く

- ・駅からこみせ通りまでは歩ける距離ではあるが、駅から歩いてくる人は少ない
- ・途中に魅力がない
- ・今ある面白い資源をつないだルートの提案など(駅裏~寺~まちなか)
百万遍のお地蔵さま、甲徳兵衛町の通りから岩木山への眺望 など
- ・元町は、こみせが比較的多く残っている
江戸時代以前からの町であり、歴史的にも大事な町であるので、回遊ルートに含めて考えていきたい

その他

住環境と商業

- ・住まい環境、住み続ける仕掛け、ソフト(例:生活ニーズ、福祉)
- ・必要なものをニーズに合わせて組み立てていく

進め方

- ・一気にではなく1つ1つ進めていく
- ・地元の機運を高めながら進めていく

3. 将来のあり方の整理

横町には、次のような位置づけや役割があると考えられ、これらについて、行政と住民、商店街等の関係機関などの間で、将来のまちづくりの方向性の検討・共有を図ることが必要であると考えられる。

まちなかの回遊性の向上及び市の活性化には、重要な場所である。

- ・平成27年度に、松の湯交流館と金平成園の開設が予定されており、横町は、これらを結ぶ回遊ルート上にある
- ・景観計画に基づく「景観づくり推進地区」の位置づけがなされる予定であり、今後の活性化を図る上で重要な場所の1つである。
- ・中心市街地の核となっている地域で、伝統的建造物群保存地区に隣接した商業地であることから、今後も市の商業活動の中心地としての役割を持つ。

商業地としての今後の性格付けの明確化が必要

- ・専門店への特化や市民の台所（生鮮3品中心）
- ・年配の方は、近くにお店が欲しいと期待している。地元の住民に親しまれる商店街を目指すべき。観光地化するのは良くない（横町ヒアリング結果）。
- ・各店舗の個性を出し、横町の通りで多様性や魅力を高めることが大切。
- ・かぐじ広場に遊具があると、子どもがもっと遊びに来ると思う（子供を呼べるように）。

仮設こみせの設置は、来訪者の増加等には結びついていないが、この取り組みを契機として、空き地の活用やこみせの再生、横町の活性化につなげていく

また、今後の横町における取組として、次に示す内容が挙げられる。

来年度以降の取組みメニュー例

【ソフト】

仮設こみせの有効活用

- ・ 仮設こみせの奥の敷地の多面的な利用によるにぎわいの創出の検討
- ・ 仮設こみせの前面や壁面を利用した広告物の設置等による、こみせ再生費用の捻出の検討
- ・ 仮設こみせの周知や普及啓発

まちづくり団体等の育成

- ・ まち歩きツアーの継続的な実施による、地域の魅力の再認識の機会創出
- ・ 各商店の店舗改装の提案、実践

空き店舗等の活用

- ・ 市の支援・助成による新たな起業者の確保
- ・ 優良な商店の支店の誘致
- ・ 空き店舗の活用モデルプランの検討
(所有者が居住しながらも、店舗部分を貸せるリフォーム・プラン)

【ハード】

こみせの再生モデルの構築

- ・ 仮設こみせを活用した多面的な利用(空き地活用モデルの構築)
- ・ こみせのセルフビルド(既存こみせの修景モデルの構築)
- ・ 建替えモデルの構築(既存こみせの建て替え、空き地での新築)

回遊ルートの向上等、来客用の駐車スペースの確保

- ・ 回遊ルートの構築と整備及び広報が必要
- ・ 今後のまちなか活性化の起爆剤としての街区の検討
- ・ 回遊性の向上を図るための市民や観光客などの来訪者用の駐車場と案内サインの整備

こみせ再生のための費用負担の検討

- ・ 補助事業の活用(経済産業省の補助、街並み環境整備事業等)
- ・ 市による補助(景観づくり推進地区の指定とこみせ再生支援)

第6章 とりまとめ

本調査のとりまとめとして、仮設こみせの評価と来年度以降の取組について、次のとおり整理する。

1) 仮設こみせの評価

把握できたこと

仮設こみせが設置されたことに対する評価は、「非常に良い」、「良い」の合計が85%と高い評価が得られた。また、夏の日差しと雨をしのげるなど、日常生活の利便性向上を評価する声も聞かれた。さらに、ベンチの評価が高く(58%)、イベント時の利用に加えバスを待つ人の利用も見られた。なお、2月に実施したアンケートでは、藪の設置は約63%が評価していた。

課題

ヒアリングの結果から、仮設こみせの設置期間が短いこと、仮設こみせの敷地全体が利用されていないことなどにより、歩行者の動線確保には、必ずしも結びついていないことが解った。

今後の取組の方向性

今後は、こみせ再生を取り巻く様々な課題を踏まえ、次の掲げるような取組を進めることが必要である。

表 6-1 こみせ再生の課題と今後の取組み

課題	今後の取組み
こみせの老朽化と喪失 <ul style="list-style-type: none"> ・既存こみせは老朽化が進んでいるが、修復手法に問題があり修復に至らない ・空き地が増加し、こみせを持たない店舗も見られる ・車の出入りや荷捌きに不便であるため設置意欲が高まらない 	こみせ再生モデルの構築 <ul style="list-style-type: none"> ・既存こみせの修景・建替モデルの構築 ・仮設こみせによる空き地活用モデルの構築 ・こみせデザインの検討
建て替えにくい <ul style="list-style-type: none"> ・伝建区域外のため助成制度がない ・木造の伝統的なこみせを持ちたいが、法律の規制で難しい 	費用負担の検討 <ul style="list-style-type: none"> ・補助事業の活用、市の支援 ・防火地域の見直し
こみせの利用者が減少 <ul style="list-style-type: none"> ・店舗間も車で移動している ・中心市街地に行きにくい(一方通行や駐車場不足) ・こみせを通じて周遊する環境が整っていない 	楽しく歩ける環境づくり <ul style="list-style-type: none"> ・回遊ルートの構築 ・駐車場の確保、案内サインなど

2) 来年度以降の取組み

来年度以降は、歴史的文化的資産や地域資源の発掘と活用、黒石らしい景観形成や人材の育成など、多面的なテーマを総合的に取組み、こみせを活かした市街地の活性化に取り組む必要がある。

図 6-1 来年度以降の取組み

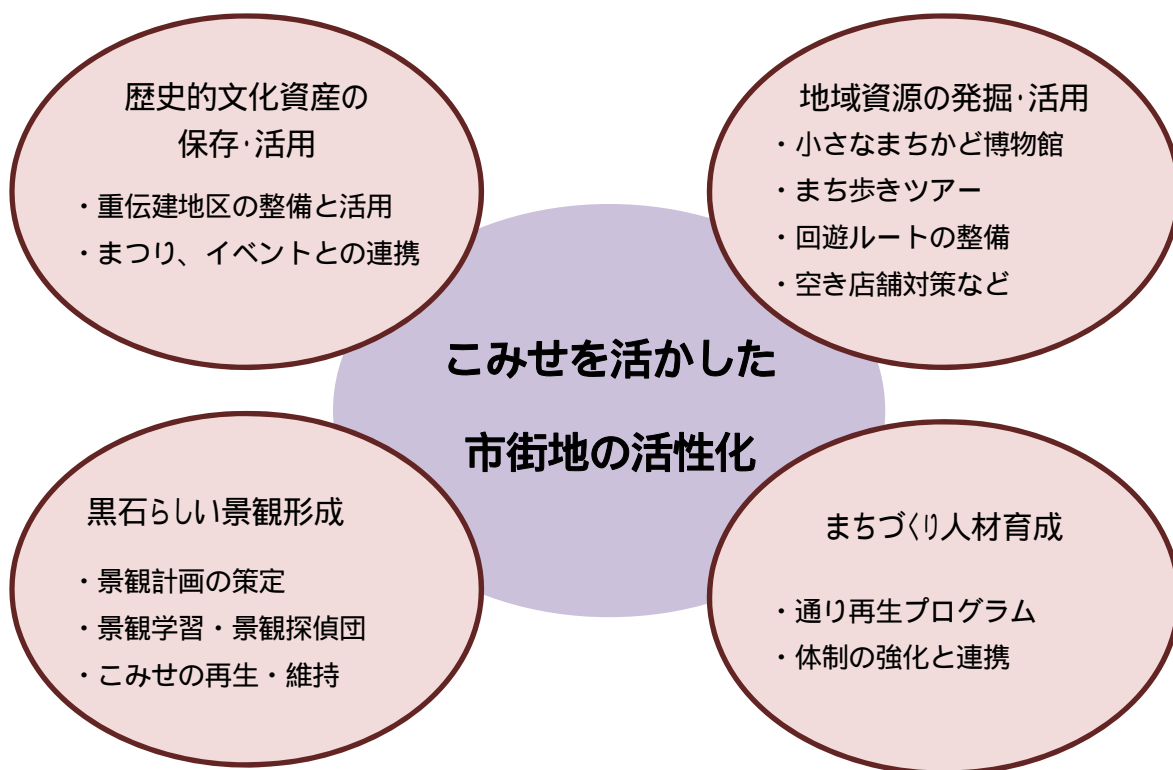


写真 6-1 まち歩きツアーの様子



伝統的歩行者空間(こみせ)維持のための利用方策の実践及びその波及効果検証等調査

＜調査概要＞

■調査実施地域：青森県黒石市

■調査実施者：黒石市

・「こみせ」と呼ばれる庇状の屋根を持った歩行者通路の連続性が途切れている箇所において、空地を活用するためのファサードとしてこみせを試験的に設置し、その外観評価と歩行者の動線確保につながる波及効果について検証する調査を地域住民や来訪者へのアンケート・ヒアリング等を通じて実施した。

・この検証の結果、試験的に設置したこみせ(仮設こみせ)の一定の外観評価は得られたものの、地域住民にこみせ再生を促すにはなんらかの動機づけが必要であること、こみせの再生だけでは歩行者の動線確保につながる波及効果を生みだせないことがわかり、にぎわい創出等の取り組みと連携することが重要であるとわかった。



■仮設のこみせ設置前の空き地

■空き地に設置された仮設のこみせ

＜調査内容＞

■空地活用につながる仮設こみせ設置

・H25年度コンペの優秀5作品から採用

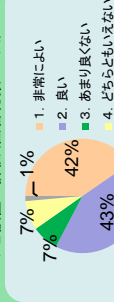


■設計のポイント

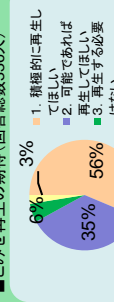
- 平面計画
- 仮設こみせは、通りに面してのみ設置。
- 自動車の出入口の機能を確保。
- 形態・意匠計画
- 伝統的様式を継承し、柱の間隔は1間
- 柱の構造を鉄骨造とし、一部に木を巻き付け。
- その他
- 正面に花飾りを設け、こみせ内にベンチを2つ設置。

■アンケート・ヒアリングの実施

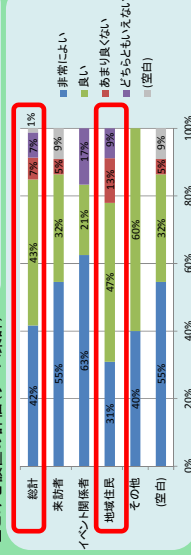
■こみせ設置の評価(回答総数336人)



■こみせ再生の期待(回答総数336人)



■こみせ設置の評価(クロス集計)



・地域におけるこみせ設置の評価は、全体よりやや低い
 ・仮設こみせだけではメリットが少ない、こみせを再生するだけでは、活性化につながる見えない

■波及効果の検証と社会実験

・歩行者量の変化なし
 ・ベンチ等の高い評価

・仮設こみせの多面的な利用促進ににぎわい創出
 ・こみせをつなげる社会実験(部と照明の設置等)



■にぎわい創出の社会実験

■今後の課題と展望

【ソフト面】
 ・仮設こみせ等の活用によるにぎわい創出
 やまち歩きツアー

【ハード面】
 ・こみせ再生モデルや
 楽しく歩ける環境づくり(駐車場、回遊ルート)




■まち歩きツアー実施

連携

■こみせ再生モデルの検討

■ 参考資料



こみせ再生検討会

2015年1月12日
(黒石市都市建築課)

INDEX

【これまでの取組の報告】

- 1) 仮設こみせの設計概要について
- 2) アンケート結果
- 3) 横町商業者・居住者ヒアリング結果概要

【検討事項】

- 4) 横町の取組の方向性について

「雪国のえんがわ”こみせん”」計画

- ・いまあるものを十分に活用した提案である
- ・さつなぎの活用方法などのアイデアが面白い

み 303047 くらげる すわり場を提供する

1 議員式ベンチ

吹き込む雪を防ぐための議員「しとみ」に意匠を施したものを、こみせの柱が間隔にあるところには好きな場所にこの議員式ベンチを取り付けることができる。また、このベンチは覆いのしとみと同じ機能を持ちながらも、裏返して設置すれば、道路側、こみせ側どちらの方向にも座面をつくることができる。また、折りたんで収納できる構造にすることで、必要時に適宜する場を提供することができる。日常のシーンでも非日常のシーンでも活躍が期待できる。

▽道路側、こみせ側のどちらに向けてもすわり場が設定できる。

「雪国のえんがわ”こみせん”の事例」

がったり（福井県小浜市） ばんこ（宮崎県日向市）

2 床座

こみせ空間にタタミやゴザで床に座れる場所をつくる。タタミやゴザは自由に敷くことができるので、売店に合わせて座場所を自分で設定できる。こみせがよい。例えば店先にくらげるように床座をつくる。黒石の名物を味わう場がたちまち完成する。

▽こみせ床座で味わえる地のモノ（例）
中村酒造・瑞穂酒造 → 清酒
お茶屋・お山餅店 → 菓子
etc.

せ 303047 文化的な活動を楽しめる 空間を演出する

1 さつなぎ飾り

かつては馬の手籠をつなぐための縄だったが、自動車交通が発達した現在は全く使われていない。しかし、モノを用いる手籠船を持つと發来と様々なシーン演出ができる。

さつなぎのタナ さつなぎの飾り さつなぎのれん

2 雪見しとみ

しとみは取り外しできる議員であり、こみせの柱にはセガが備わっている。ほそつきでありさえすれば自由に新しい議員をこみせに装着でき、創意工夫の演出を可能にする。議員の上下方向への可動性を利用して、「雪見しとみ」ならぬ「雪見しとみ」をつくる。

雪見しとみを取り外すための釘を付ける

3 固定資産税

伝建地区外のみみせ部
分の土地にかかる固定
資産税を減らす。

4 ふるさと納税

こみせの保全・再生・
活用用途を定めて、
ふるさと納税を市に納
められる。

5 黒石やきそば

黒石やきそば1食につ
き10円を寄付する。
(参考：月島路地ビー
ルー1本につき10円)

6 さつなぎのれん

イベント時にさつなぎ
を利用して、のれんを
設置し、その広告費出
割を寄付する。

こみせファンド 補助・助成

まちづくり活動・こみせの保全修理/再生

Co-みせ -多様な主体によるセルフ・リノベーションで、ゆっくり甦る「こみせ」-

- ・こみせの独立した作り方として評価できる
- ・リアリティはあるが、だれがどこから始めるかがポイント

Co-みせ 一多様な主体によるセルフ・リノベーションで、ゆっくり甦る「こみせ」-02

Co 見世 Co Musée Commu 瀬

こみせの顔 かくじの会所 回復させるせせらぎ

対象地区
横町は、伝統的な「こみせ」が多く残る街角。中野とは対照的に、残念ながらもその「こみせ」風量は、おもむき欠ける。また通り両側では間口60mほどの空地が広がっている。横町の、かくじ広場への入り口のある付近について「こみせ」風量の回復を提案する。

Co 見世 <セルフ・リノベーション>
通り北側の「非伝統的こみせ」については、街の人やまちづくりNPO、地元大学など多様な主体が垣根なし「セルフ・リノベーション」で、軒すずくつくりと継続的に、新「こみせ」のある街並みの整備を進めることを提案する。

Co Musée <行む端>
空地が続く通りに沿って、伝統的な形式、素材を参照した新しい「こみせ」を、やはりセルフビルドで漸進的に延伸させていく。対して伝建地区内は「こみせ」をベースにした、かくじの会所（温室）を設け、道に「行む端」として活用する。

Commu 瀬 <めぐる流れ>
じゅんがら広場、かくじ広場から続く湧水のせせらぎは、街を潤す人々の通るべきである。既存の広場からかくじの会所へせせらぎを導き、せき（配管）に繋ぐことで街を「めぐる流れ」を準備する。

観光的な生活」からのまちづくり
セルフビルドは、具体的には「こみせ」の軒天飾りを外すことから始める。伝統的な「こみせ」と比較すると、横町の「こみせ」の佇まいを損ねている観光的な「こみせ」の軒天飾りには、無条件に得られた「こみせ」の軒天井の取壊しがあるように見える。手戻し期間のながるセルフ・リノベーションは、住民主体の、コストを抑えながら継続的なまちづくりのイベントであり、住民の街へ思いを深め、日々の生活を豊かに楽しみ、記憶の風量に思いをはせる。「観光的な生活」からのまちづくり提案である。

かぐじガーデンからはじまる「こみせ再生」

- ・何もないところ(空地)の提案として良い
- ・黒石にとって大事な場所であり、こみせとかぐじを一体的に考え、通路の提案もよい

黒石市「こみせ」再生事業実行
【黒石駅前・和むわの「こみせ」の再生によるネットワーク再生】 1202-8

■かぐじガーデンから始まる「こみせ」再生

1. コンセプト

かぐじを造り

「こみせ」の再生は、黒石市街の中心部を軸とし、駅前・和むわの「こみせ」の再生によるネットワーク再生を目指す。かぐじガーデンは、黒石市街の中心部を軸とし、駅前・和むわの「こみせ」の再生によるネットワーク再生を目指す。

こみせを創る

2. こみせの再生とかぐじガーデンを持つ住まいの再構築

●まちなかネットワークの再生
○街区ネットワークは、黒石駅、中町、金甲成等の主要な施設を結ぶまちなかネットワークの再生にも寄与します。

●街区ネットワークを支える小路
○小路・横丁は、歩行者用の通路の他、地域コミュニティの形成、日照・通風の確保、災害時の避難路や防火帯等の機能を有します。

●隣家・周辺とのコミュニティをつなぐ「かぐじガーデン」
○まちなかで長らく育んできた住まい方である「こみせ（セミプライベート）」と隣家・周辺とのコミュニティをつなぐ「かぐじガーデン（セミプライベート）」を基本的な空間構成とし、現代的な生活様式にあった都市型住宅や店舗の形成を推進します。

かんがえられている「かぐじガーデン」のイメージは、隣家・周辺とのコミュニティをつなぐ「かぐじガーデン（セミプライベート）」を基本的な空間構成とし、現代的な生活様式にあった都市型住宅や店舗の形成を推進します。

通りを多く人に快適な空間を確保し、商店と人をつなぐことができるといふ。

黒石市「こみせ」再生事業実行
【黒石駅前・和むわの「こみせ」の再生によるネットワーク再生】

かぐじへ繋がる「もうひとつのこみせ通り」

- ・青空駐車場や空き地の使い方として良い
- ・地産地消をベースとし、利益をこみせ再生に還元するサイクルができれば・・・

かぐじへ繋がる「もうひとつのこみせ通り」

『コンセプト』 通曉する 無人販売所

通曉する無人販売所をよく見かけますが、車を止めて買う人はあまりいません。
もし、これらの無人販売所が、通曉していたらどうでしょう？
何気に入ると様々な物があふれる、通曉したくなりますか？
通曉したものがあふれる、通曉したものをあふれる。
そして、それを一人で管理が出来、経費もあまり掛からないとしたら、
この建物は、通曉するこみせの魅力を配る。
敷地内のこみせは、「一階×半階」のブースになっています。
このブースを地域の人にレンタルする事により、管理・運営をします。
(2階のシステムフロア参照)

管理は、一人で管理し、お昼や夕方、夕市を備えるときは、それぞれがブースのバックヤードで対応します。
小さな空室ですが、売り手は趣向を凝らした販売・展示方法で、他との差別化を打ち出すことができます。それにより独自性を持った店舗となりそれぞれが長期運営出来る事を目標とした施設です。

(販売方法例) 焼きリンゴのレシピ提供・アップルパイのセット販売・りんご箱に給付りんごを一箱入れ当りにする等 各自が運営実行)

外観パース

配置図 5=1/200

「もうひとつのこみせ通り」 No.01

住民の方の実現性等の認識を把握

- 提案者による説明会の開催、景観フォーラムの実施等を通じて、住民のみなさんの実現性等の認識を把握した。



把握できたこと

- 今後のこみせの再生や活用、景観まちづくりへの期待の高まりが感じられた。
 - ・コンペの提案は素晴らしい。実現してほしい
- 横町では、空き地や空き店舗を活用しながら、こみせ再生を進める意識が強い。
 - ・観光客の対流時間を長くし、お金を落とす場所をつくり、経済的に潤うことが必要である。

課題

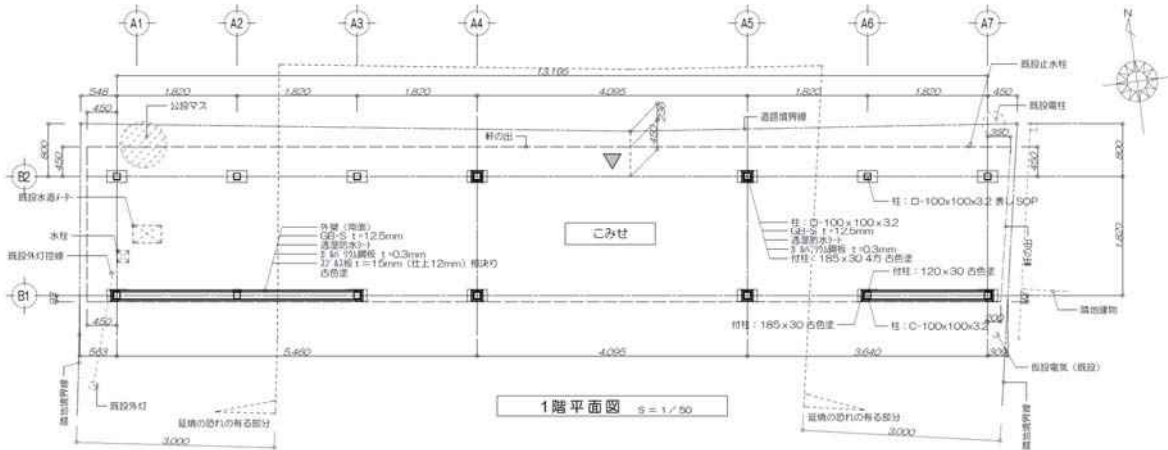
- 来客や自家用の自動車利用とのすり合わせを
考えてほしいという意見が強い
 - ・技術的な解決の検討が必要
 - ・まちなかでの駐車場の確保の検討
- 今後、市民や外部の機運をより高めながら、
こみせ所有者等のこみせ再生や活用、景観ま
ちづくりへの参加意欲の向上が必要である。

2. 仮設こみせの設計概要



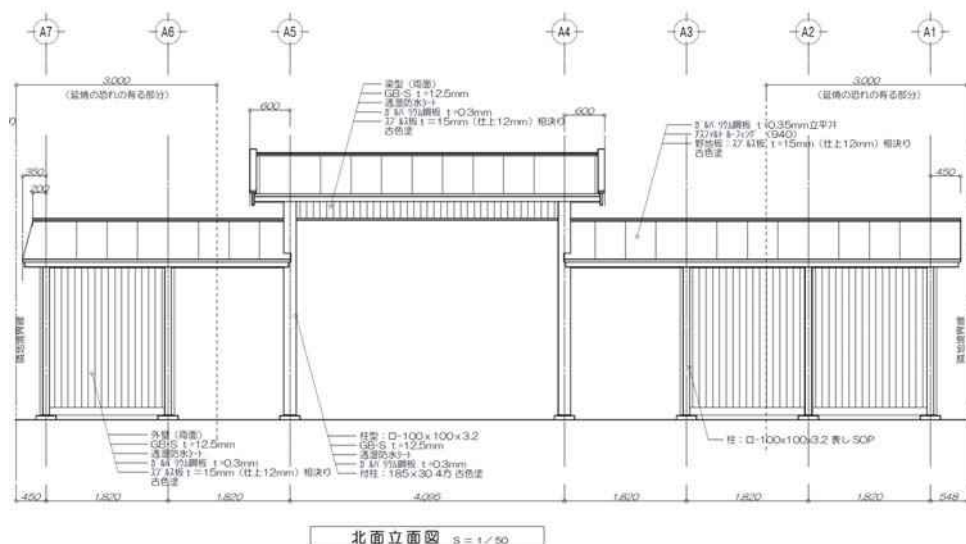
○平面計画 (面積 24・01 m² (約6.6坪))

- ・通りに面してこみせを設置した (幅1.8m)。



○立面計画

- ・自動車の荷捌きや出入口を確保するため、中町にあるこみせの土台をなくした。
(自動車の出入口は幅約4 m、高さ約3.3m)



○形態・意匠計画

- ・ 伝統的様式を継承した形態・デザインを採用し、柱の間隔は1間（1,820cm）とした。
- ・ 柱は鉄骨造とし、一部の柱に木を巻き付けた。
- ・ ベンチを2基設置し、花飾りを施した



2. アンケート結果概要

アンケートの実施について

	日時	方法など	回答数
こみせ祭り	10月13日(土)、14日(日)	・調査員による街頭アンケート ・イベント来訪者を対象に実施	228通
きのご祭り	10月12日(日)	・調査員による街頭アンケート ・イベント来訪者を対象に実施	9通
景観フォーラムまち歩き	11月9日(日)	・調査員による街頭アンケート ・まち歩き参加者を対象に実施	15通
地元地権者への個別訪問	12月8日(月)、9日(火) ※ご不在の方は、別途訪問	・調査員による個別訪問によるアンケート(ヒアリング含む) ・横町の地元住民(地権者)を対象に実施	25通
合計			277通

アンケート調査の項目

■ アンケート項目

■ 回答者の属性

- ①性別 ②年齢 ③住所 ④属性

■ 仮設こみせ等の評価

- 問1 こみせの認知度
問2 仮設こみせの設置について
問3 仮設こみせに設置した花やベンチ
問4 こみせのデザインについて
問5 こみせの様式と車の関係

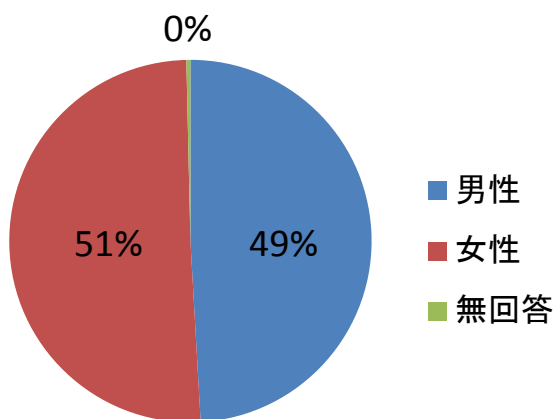
■ 横町でのこみせ再生等の意見

- 問6 今後の横町でのこみせ再生
問7 こみせを再生するメリット
問8 再生するこみせの形態

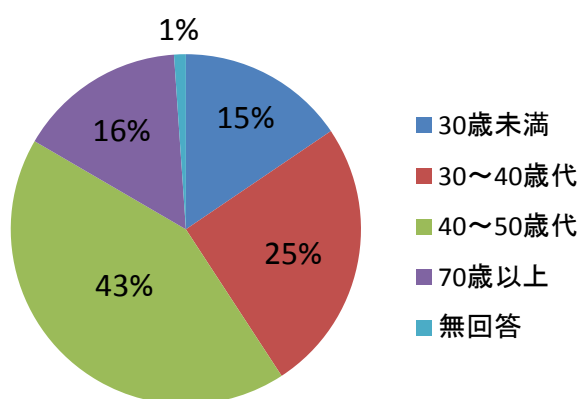
アンケートの結果概要

1. 回答者の属性

1) 性別



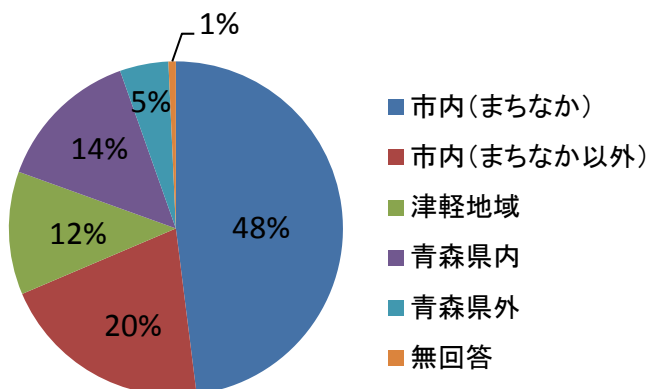
2) 年齢



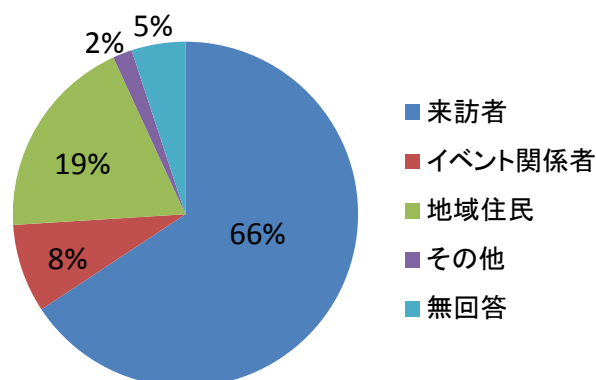
アンケートの結果概要

1. 回答者の属性

3) 住所



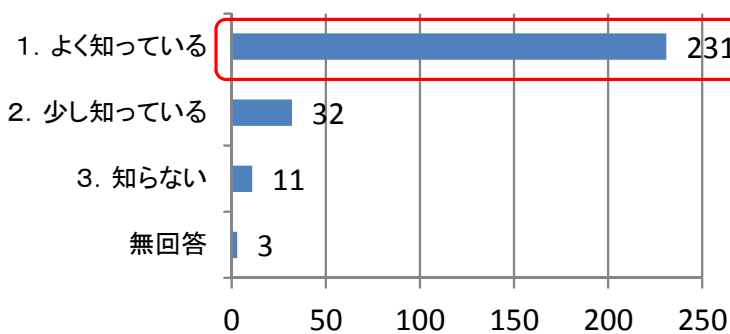
4) 属性



アンケートの結果概要

2. 仮設こみせの評価

問1 黒石市のまちなかのシンボルの1つが「こみせ」であることはご存知ですか



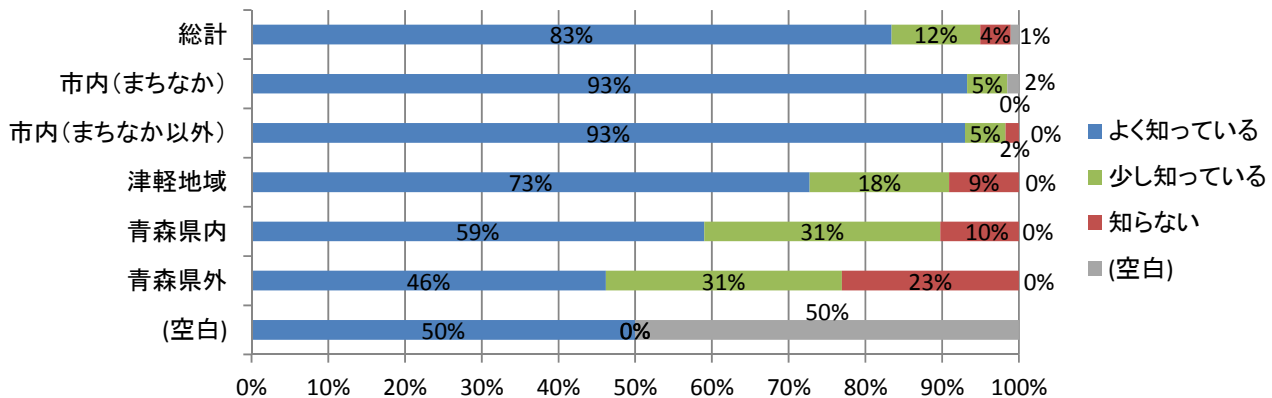
選択肢項目	回答数	割合
1. よく知っている	231	84.0%
2. 少し知っている	32	11.0%
3. 知らない	11	4.6%
無回答	3	0.4%

アンケートの結果概要

2. 仮設こみせの評価

問1 黒石市のまちなかのシンボルの1つが「こみせ」であることはご存知ですか

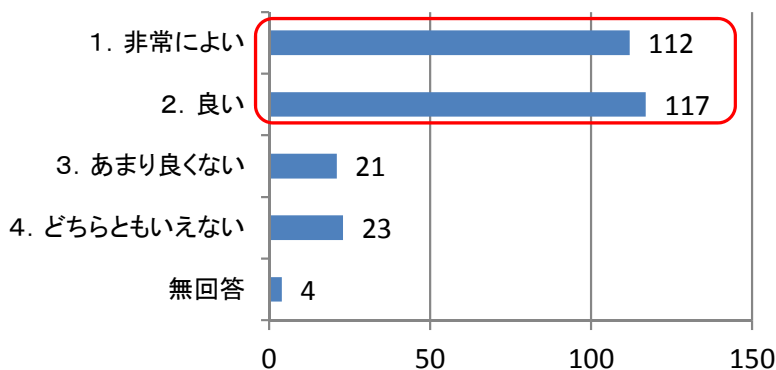
[参考：住所とのクロス集計]



アンケートの結果概要

2. 仮設こみせの評価

問2 この敷地（横町広場）にこみせが設置されたことについてどう思いますか



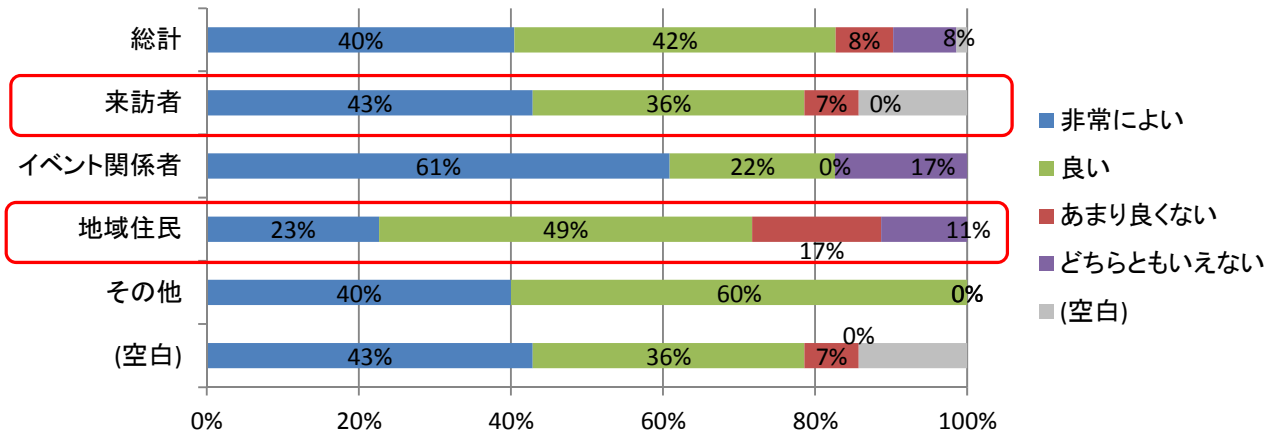
選択肢項目	回答数	割合
1. 非常によい	112	43.0%
2. 良い	117	42.2%
3. あまり良くない	21	5.9%
4. どちらともいえない	23	7.2%
無回答	4	1.7%

アンケートの結果概要

2. 仮設こみせの評価

問2 この敷地（横町広場）にこみせが設置されたことについてどう思いますか

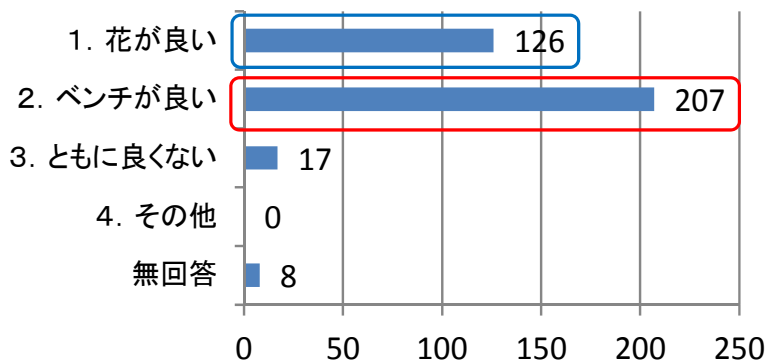
[参考：属性とのクロス集計]



アンケートの結果概要

2. 仮設こみせの評価

問3 こみせに設置した花やベンチはどう思いますか（複数回答可）



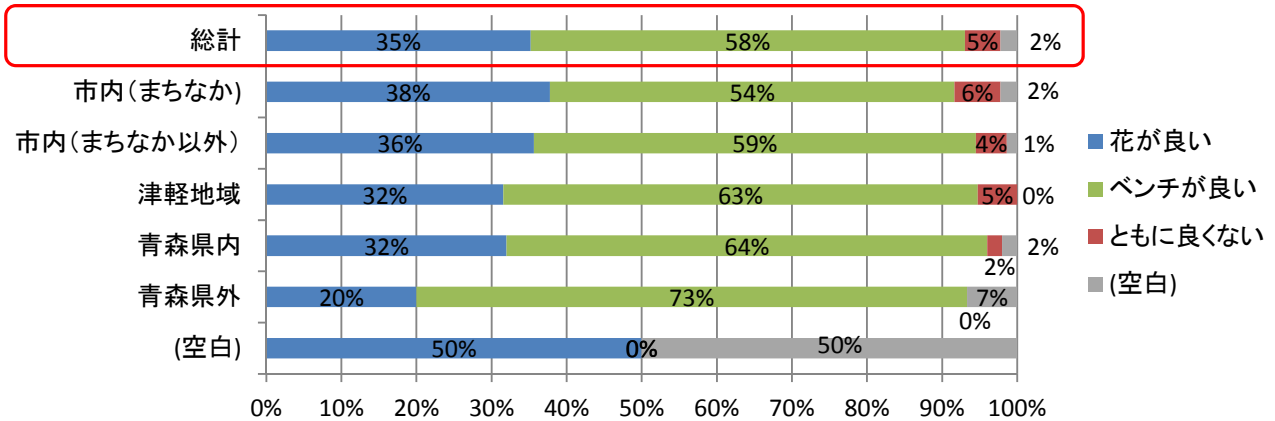
選択肢項目	回答数	割合
1. 花が良い	126	35.6%
2. ベンチが良い	207	58.8%
3. とともに良くない	17	3.9%
4. その他	0	0.0%
無回答	8	1.6%

アンケートの結果概要

2. 仮設こみせの評価

問3 こみせに設置した花やベンチはどう思いますか (複数回答可)

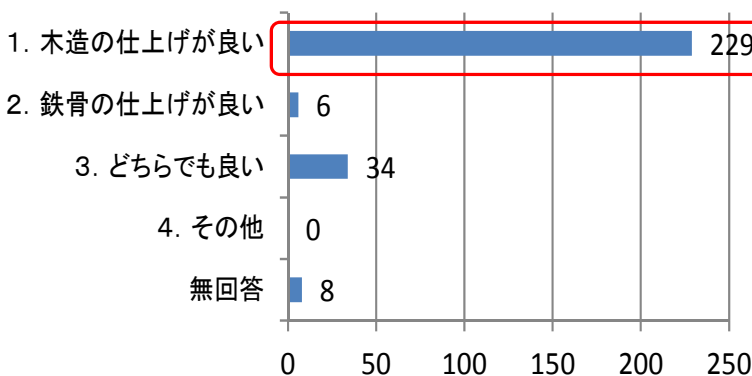
[参考：住所とのクロス集計]



アンケートの結果概要

2. 仮設こみせの評価

問4 こみせのデザインはどう思いますか



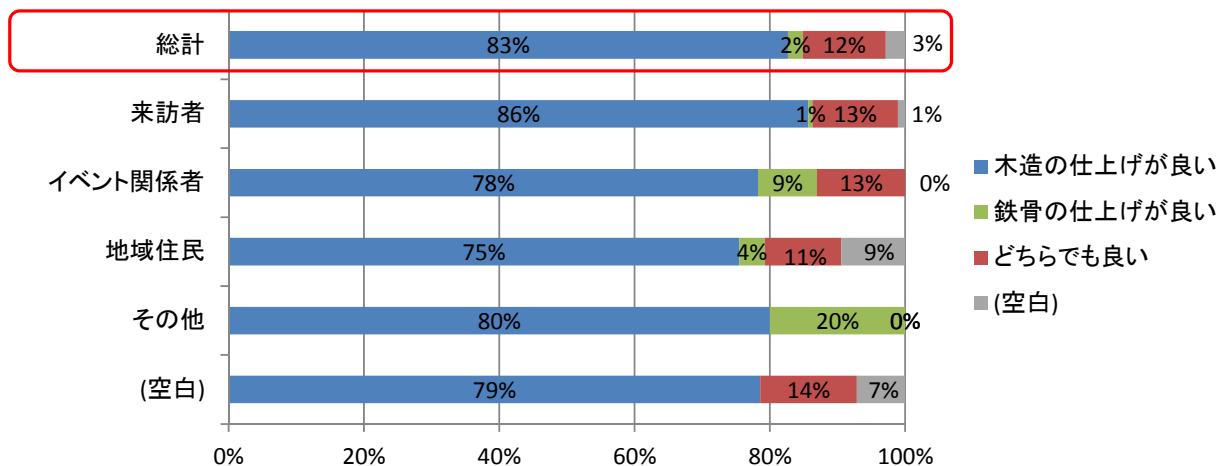
選択肢項目	回答数	割合
1. 木造の仕上げが良い	229	84.0%
2. 鉄骨の仕上げが良い	6	1.7%
3. どちらでも良い	34	12.7%
4. その他	0	0.0%
無回答	8	1.7%

アンケートの結果概要

2. 仮設こみせの評価

問4 こみせのデザインはどう思いますか

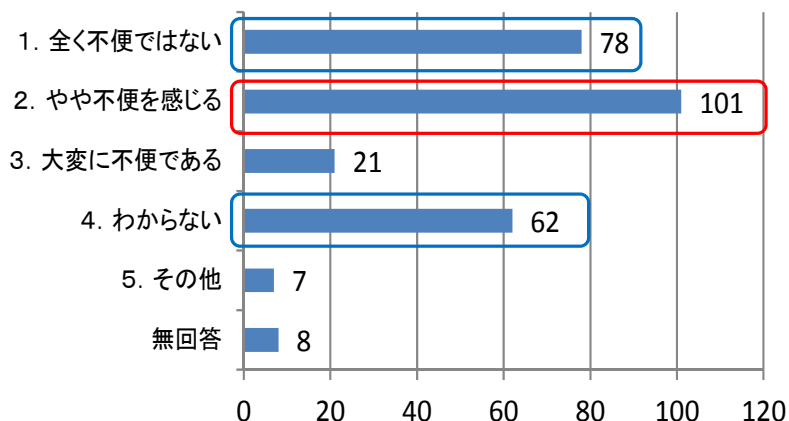
[参考：属性とのクロス集計]



アンケートの結果概要

2. 仮設こみせの評価

問5 こみせの様式と車の利便性はどう感じますか

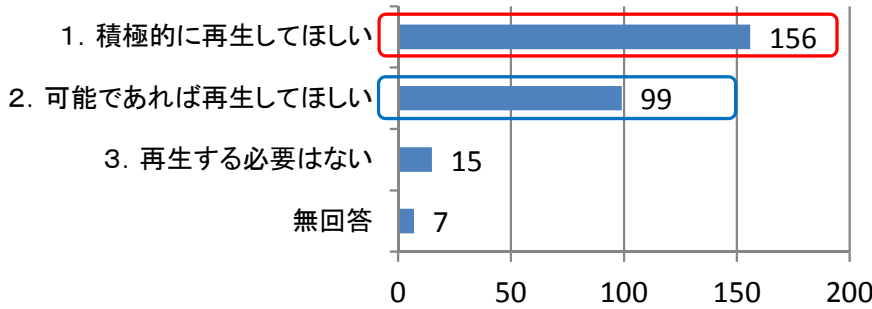


選択肢項目	回答数	割合
1. 全く不便ではない	78	27.4%
2. やや不便を感じる	101	38.4%
3. 大変に不便である	21	7.2%
4. わからない	62	22.4%
5. その他	7	2.5%
無回答	8	2.1%

アンケートの結果概要

3. 横町でのこみせ再生等の意見

問6 今後、横町でこみせを再生することについてどう思いますか

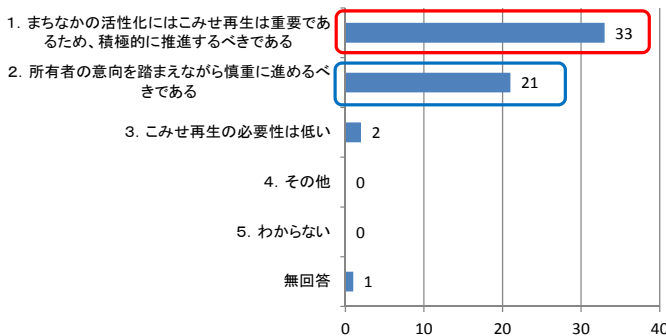


選択肢項目	回答数	割合
1. 積極的に再生してほしい	156	61.2%
2. 可能であれば再生してほしい	99	32.9%
3. 再生する必要はない	15	4.6%
無回答	7	1.3%

アンケートの結果概要

参考：黒石市景観シンポジウム
(平成25年1月) アンケートより

問 今後、松の湯や金平成園の再生を契機に、中町のこみせ再生にあわせ、前町や横町のこみせを再生することの意向 (57人回答)



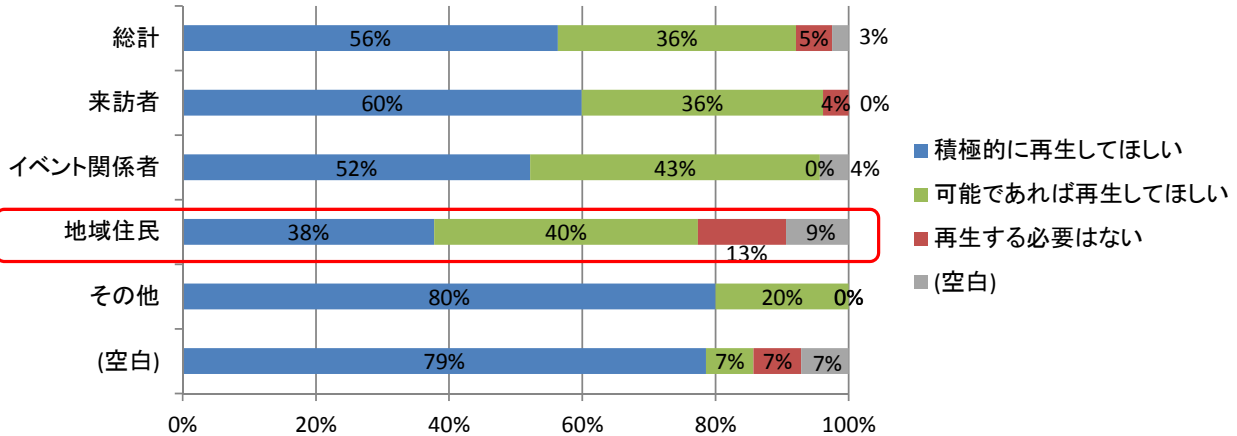
選択肢項目	回答数	割合
1. まちなかの活性化にはこみせ再生は重要であるため、積極的に推進するべきである	33	57.9%
2. 所有者の意向を踏まえながら慎重に進めるべきである	21	36.8%
3. こみせ再生の必要性は低い	2	3.5%
4. その他	0	0.0%
5. わからない	0	0.0%
無回答	1	1.8%

アンケートの結果概要

3. 横町でのこみせ再生等の意見

問6 今後、横町でこみせを再生することについてどう思いますか

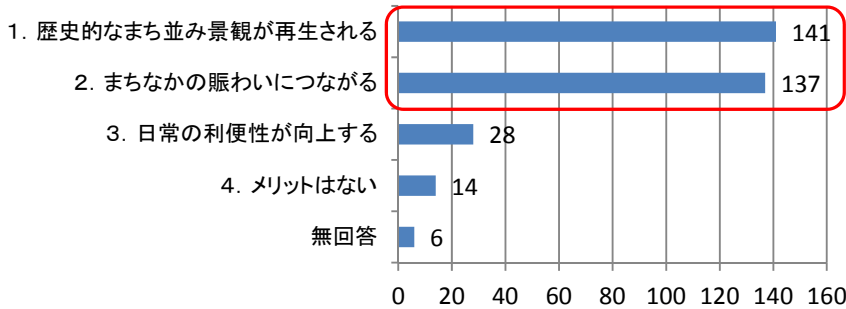
[参考：属性とのクロス集計]



アンケートの結果概要

3. 横町でのこみせ再生等の意見

問7 こみせを再生することのメリットはど
う思いますか（複数回答可）



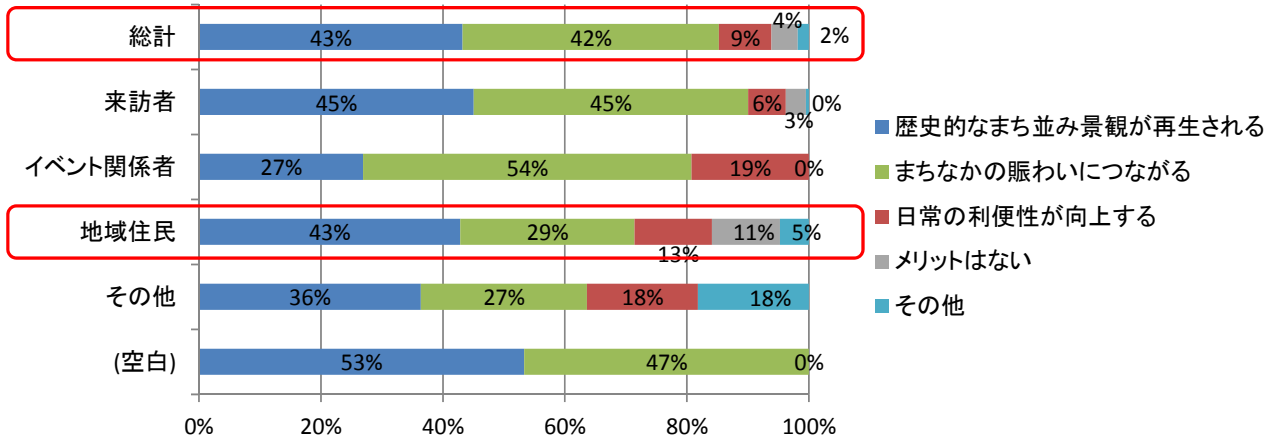
選択肢項目	回答数	割合
1. 歴史的なまち並み景観が再生される	141	43.6%
2. まちなかの賑わいにつながる	137	44.3%
3. 日常の利便性が向上する	28	7.0%
4. メリットはない	14	4.0%
無回答	6	1.1%

アンケートの結果概要

3. 横町でのこみせ再生等の意見

問7 こみせを再生することのメリットはどのようなものか（複数回答可）

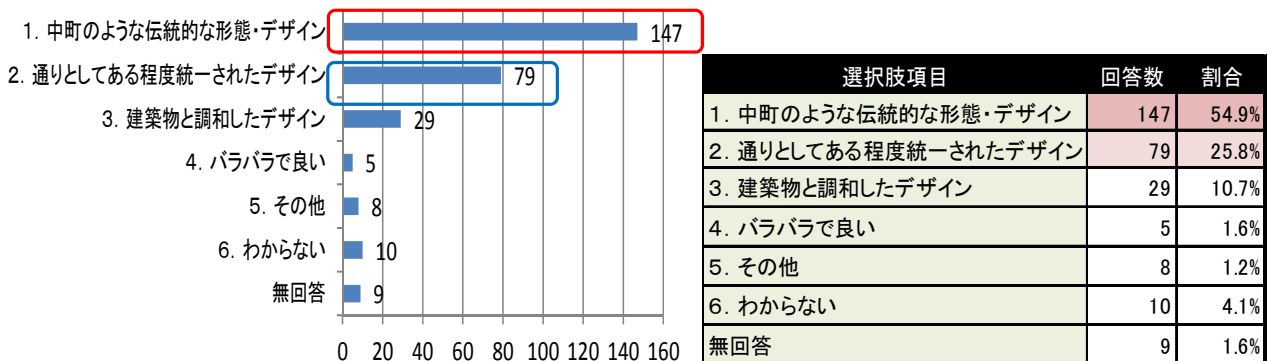
[参考：属性とのクロス集計]



アンケートの結果概要

3. 横町でのこみせ再生等の意見

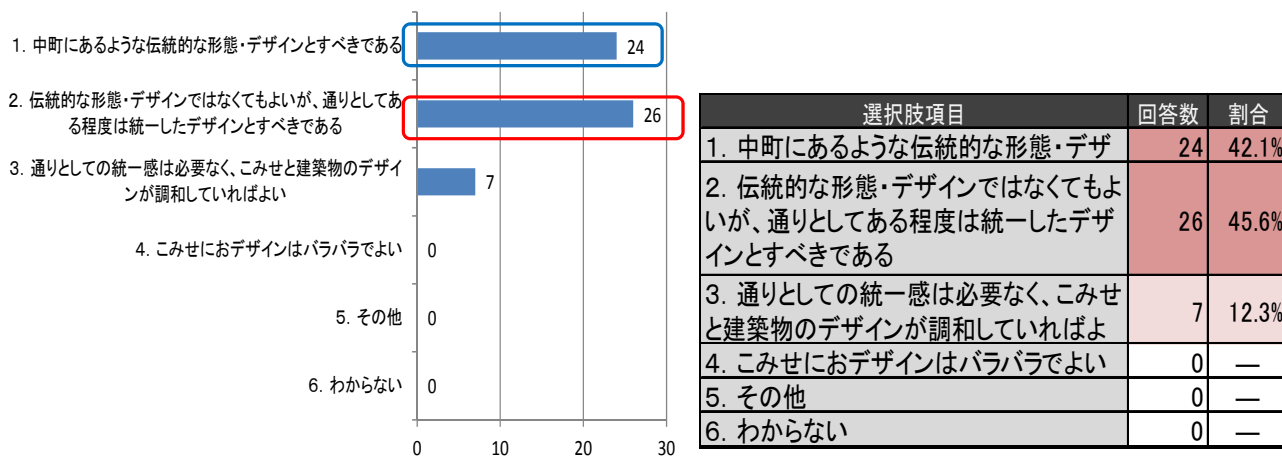
問8 再生するこみせは、どのような形態が望ましいと思いますか



アンケートの結果概要

参考：黒石市景観シンポジウム
(平成25年1月) アンケートより

問 前町・横町で再生するこみせは、どのような形態が望ましいか (n=57)



3. 横町商業者・居住者ヒアリング結果概要

1. 仮設こみせについて（評価）

①一定の評価ができる

- ・ベンチや花が良い。ベンチで休憩する人をたくさん見た
- ・こみせ奥の利用が重要（コンペのブース、ねぶたを置く、朝市の開催、駐車場利用等）
- ・仮設こみせを起点として、金平成園と松の湯交流館をつなぎたい
- ・バス停を移動させるとベンチの意味が増す

1. 仮設こみせについて（評価）

②評価できない、しにくい

- ・こみせの設置だけでは、横町の活性化にはならない。メリットを感じない。
- ・コンペ案は良いと思うが、こみせ部分だけでは良いとはいえない。
- ・こみせは、商店・家屋に付帯しているものであり、店舗に面した形でないといけない。仮設こみせは、入口＝門であって「こみせ」ではない。

2. 横町におけるこみせの再生について

①こみせの再生意図がある

- ・中町からのつながりをつくりたい

②こみせのデザインについて

- ・やはり統一感のある、景観的にもしっかりした「いいもの」にしたい
- ・お金があれば中町のようなデザインが良い。

2. 横町におけるこみせの再生について

③再生する必要はない、設置できない

- ・設置費用の負担や来客用の駐車スペースの確保が課題
- ・以前からこみせ設置の話題はあるが、実現できていない。空き店舗も増えているし、時期的にもう遅いのではないか

3. 今後の横町での活性化等について

- ・ 人を増やし、店を増やし、こみせを再生する
- ・ 地元住民に親しまれる商店街を目指すべき
- ・ 空き店舗の活用や外からの起業者の受け入れ
- ・ 横町・前町は、市・住民にとって重要な場所であるので、景観的にも、商売としても成功する例を実現して、町に活力を与えてほしい

4. その他

- ・ 金平成園と松の湯交流館の再生が活性化の1つの契機となり、横町で人の動きが活発になるように期待したい
- ・ 回遊性の向上には、中心市街地の来客・来訪者用の駐車場の整備と案内サインが必要
(市役所の駐車場は遠いし、わかりにくい)
- ・ かぐじ広場に遊具があると、子どもがもっと遊びに来ると思う。

横町の取り組みの方向性について

1. 横町の位置づけや期待

①まちなかの回遊性の向上や市の活性化に重要な場所である

- ・ 松の湯交流館と金平成園を結ぶ回遊ルート上
- ・ 中心市街地の核となっている地域で、伝統的建造物群保存地区に隣接した商業活動の中心地としての役割
- ・ 景観計画に基づく「景観づくり推進地区」(予定)



1. 横町の位置づけや期待

②今後、商業地の性格付けの明確化

- ・ 専門店への特化や市民の台所（生鮮3品中心）
- ・ 年配の方は、近くにお店が欲しいと期待している。地元住民に親しまれる商店街を目指すべき。観光地化するのは良くない。
- ・ 各店舗の個性を出し、横町の通りで多様性や魅力を高めることが大切。

1. 横町の位置づけや期待

③空き地の活用、こみせの再生、横町の活性化につなげることを期待

- ・ベンチで休憩する人をたくさん見た
- ・バス停を移動させると、ベンチの意味が増す
- ・季節の花を飾るなどが必要
- ・こみせ奥の利用が重要

2. 今後の横町の方角性とその取り組み（案）

①空き店舗等の活用によるにぎわいの創出

- ・市の支援・助成による新たな起業者の確保
- ・優良な商店の支店の誘致
- ・空き店舗の活用モデルプランの検討
(所有者が居住しながらも、店舗部分を貸せる
リフォーム・プラン)

2. 今後の横町の方角性とその取り組み（案）

②こみせの再生モデルの構築

- ・ 仮設こみせ（空き地）の活用モデルの構築
- ・ 既存こみせの修景モデルの構築
- ・ 既存こみせの建て替えモデルの構築
- ・ こみせのデザインの検討
→ 防火地域の見直し、自動車利用等

2. 今後の横町の方角性とその取り組み（案）

③こみせ再生のための費用負担の検討

- ・ 補助事業の活用
→ 経済産業省の補助、街並み環境整備事業等
- ・ 市による補助
→ 景観づくり推進地区の指定とこみせ再生支援

2. 今後の横町の方角性とその取り組み (案)

④回遊性の向上、来客用の駐車場の確保

- ・ 回遊ルート の構築と整備及び広報が必要
- ・ 回遊性の向上には、観光客などの来訪者用の駐車場と案内サインが必要

今後のまちなか活性化の起爆剤として、横町の南側街区の利用検討

